

令和5年度
(2023年度)

学生の葉

シラバス (授業要綱)

1年次

学籍番号

氏名

福岡医療短期大学

歯科衛生学科

建学の精神

歯科衛生学に関する専門の学術を教授研究し、教養と良識を備えた有能な歯科衛生士を養成し、保健福祉に貢献すると共に、歯科衛生学の進展に寄与する

教育の理念

本学は、「教育基本法及び学校教育法の精神に基づき、歯科衛生士に必要な専門の知識と技術を教授研究し、教養と良識を備え、口腔医学に基づいた歯科医療を実践できる有能な人材を育成するとともに、もって医療、保健、福祉に寄与する」（学則第1条）ことを使命とする。

近年、医療・保健・福祉を取り巻く環境の変貌は著しく、それらの高度化・専門化が進行している。これに伴い、歯科医療チームの一員としての歯科衛生士の役割はますます重要視されるとともに、指導的役割を果たすことのできる優秀な人材の育成が強く求められている。これらの社会的要請に応えるために、幅広い知識と高度な技術を兼ね備えた歯科衛生士の養成を目指す。

入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

本学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める人材を育成するために、次に掲げる「知識・理解・技能」や「思考力・判断力・表現力」及び「態度・主体性」を備えた人を求めます。

- 1 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識・理解や実技を行う能力を有している。（知識・理解・技能）
- 2 物事を多面的かつ論理的に考えることができる。（思考力・判断力）
- 3 自分の考えを的確に表現し伝えることができる。（表現力）
- 4 対話を通して、相互理解に努めようとする態度を有している。（態度）
- 5 口腔保健に深い関心を持ち、社会に積極的に貢献する意欲がある。（主体性）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

本学科では、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に掲げた目標を達成するために、医療人としての自覚と倫理観を持ち、生涯を通じた口腔の健康管理、要介護者および高齢者や障がい者への専門的口腔ケア（口腔介護）を実践できる歯科衛生士の養成を目的にカリキュラムを編成しています。1年次から3年次へと体系的・順序性を考慮して「基礎分野」、「専門基礎分野」、「専門分野」、「選択必修分野」にわけて、カリキュラムを編成し、講義、実習を適切に組み合わせた授業を開講しています。カリキュラムの体系を示すために、科目間の関連、学修の段階や順序等を表した番号をふるナンバリングを行い、カリキュラムの構造をわかりやすくシラバスに明示しています。

（教育内容）

- 1 「基礎分野」（知識・理解、態度・主体性）
生命科学および情報処理の理解を深め、豊かな感性や教養を持った歯科衛生士の育成を目指します。また、グローバルな対人コミュニケーション能力を身につけた人材を育成します。
- 2 「専門基礎分野」（知識・理解、態度）
高度化および専門化する口腔医学に対応するために、歯科衛生士として必要な基礎医学を系統立てて理解した人材を育成します。また、疾病の予防と回復過程の知識を身につけ、歯や口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組みを理解し、地域における関係諸機関等との連携ができる能力を持つ人材を育成します。
- 3 「専門分野」（知識・理解・技能、思考力・判断力・表現力、態度・主体性）
生涯を通じた継続的な口腔保健管理を理解し、疾病やライフステージ別の予防法や予防システムの構築を学ぶとともに、生活環境や全身状態が多様な個人および集団に対して、専門的立場から歯科保健指導を実践する能力を身につけた歯科衛生士を育成します。また、「歯科医療チームの一員として歯科医師の診療の補助ができる歯科衛生士」、「福岡歯科大学医科歯科総合病院での臨床実習を通して、医療人としての自覚と倫理観を備え、専門性を発揮できる歯科衛生士」、「キャンパス内外の介護保険施設等での臨地実習では多職種と連携し、要介護高齢者や障がい者の口腔介護を実践できる歯科衛生士」、「口腔および全身介護の実践で必要となる生活介護や身体介護を修得し、超高齢社会に対応した知識・技能を身につけた歯科衛生士」の育成を目指します。
- 4 「選択必修分野」（知識・理解、表現力、態度・主体性）
すべてのライフステージにおける口腔保健管理のサポートに必要な豊かな人間性と職業倫理観や、生涯にわたって学修を継続する意欲を持ち、また、アジアに視点をのこした幅広いコミュニケーション能力を身につけ、国際的にも活躍できる歯科衛生士の育成を目指します。

（教育方法）

- 1 主体的に学ぶ力を高めるために、アクティブ・ラーニングを取り入れた教育方法を実践します。（思考力・判断力、態度・主体性）
- 2 教育効果を上げるために、シラバスに学修内容や準備学修の項目を設け、ホームワークやレポートは整合性や連続性を図ると共に、形成的評価のための学期中のフィードバックを行います。（知識・理解）
- 3 目標・記録・評価の総合的ツールであるポートフォリオを3年間かけて作成し、自己の学生生活を自分

自身で管理し、「ふりかえり」を行います。(態度・主体性)

- 4 国家試験に必要な専門的知識の修得確認のために外部テスト(歯科衛生士模擬試験)を導入し、結果のモニタリングを行い、自己学修の推進を図ります。また、模擬試験や国家試験対策のための時間を設定し、2年次から段階を追った学修プログラムを実施します。(知識・理解)
- 5 臨床・臨地実習は、指導教員および実習指導者から助言を受けながら知識や技能を深め、また、小グループでのグループ学修により他者の意見も聞き、考えを広げ、専門知識を活用した問題発見や問題解決の方法の修得を図ります。(知識・理解・技能、思考力・判断力・表現力、態度・主体性)

(教育評価)

- 1 履修した各講義や実習科目においては、シラバスに明記された評価方法に従い、学期末毎の学修到達度の評価を行います。不合格の者には再試験を課し、その合格を求めます。
- 2 各年次において、修得すべき全単位を取得した場合を進級とします。
- 3 3年次臨床・臨地実習の期間に、身に付けるべき能力の修得について評価します。臨床・臨地実習試験の不合格の者には再試験を課し、その合格を求めます。
- 4 3年次期末に、それまでの専門基礎分野および専門分野の修得を確認する「卒業試験」を行います。不合格の者には再試験を課し、その合格を求めます。

卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

本学科では、建学の精神を基本理念とし、下記(I)の目指すべき人物像に向けて、本学の学位プログラムの課程を修め、すべての単位取得を充たした上で、医療・保健・福祉を取り巻く環境の変化に対応した専門知識・技術を修得し、下記(II)の能力を身につけた者に卒業認定を行います。

I 目指すべき人物像

豊かな教養と人間性を持ち、口腔保健の専門性を発揮するとともに、多職種と協働、連携し、歯科衛生士のリーダーとして活躍できる人物。

II 修得すべき能力

(知識・理解)

- 1 歯科衛生士として豊かな教養と人間性を持ち、基本的な医療・保健・福祉の知識を体系的に理解し、多様な対象者を支援することができる。

(思考力・判断力)

- 2 多様な情報や知識を論理的に分析、考察することができる。
- 3 科学的思考力を持ち、口腔保健活動における問題を発見・解決することができる。

(態度・主体性)

- 4 医療人としての自覚と倫理観を備えている。
- 5 口腔の健康管理に関心を持ち、生涯にわたって学修を継続することができる。
- 6 自己管理能力や主体性を発揮し、社会や他者のために責任ある行動をとることができる。
- 7 国際交流にも視点をおいた多様な対象者に対して幅広いコミュニケーションを図ることができる。

(技能、表現力)

- 8 根拠や理論に基づいた口腔保健管理のための知識や技能を活用し、対象者の生活の質(QOL)の向上を図ることができる。

別表 I 歯科衛生学科 (1・2年生)

科目		科目番号	時間数	単位	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	
基礎分野	科学的思考の基盤	生物概論 I	DH011001	30	1	30					
		情報処理概論 I	DH011002	18	1		18				
		情報処理概論 II	DH021003	18	1			18			
		情報処理実習 I	DH011004	42	1		42				
		情報処理実習 II	DH021005	42	1			42			
	人間と社会生活の理解	経済学	DH021011	30	1			30			
		英語 I	DH011012	60	2	30	30				
		英語 II	DH021013	30	1			30			
		キャリアデザイン	DH021014	20	1				20		
		健康生理学 I	DH011015	30	1	30					
		健康生理学 II	DH011016	30	1		30				
		解剖学	DH011101	30	2	30					
専門基礎分野	人体の構造と機能	全身疾患の病態・生理学	DH021102	30	2			30			
		歯・口腔の構造と機能	口腔組織学	DH011111	30	2	30				
			口腔解剖学	DH011112	30	1		30			
			口腔生理学	DH011113	30	2	30				
	疾病の成り立ちと回復の促進	口腔生化学	DH011114	30	2		30				
		口腔病理学	DH011121	30	2		30				
		口腔微生物学	DH011122	30	2	30					
	歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み	歯科薬理学	DH011123	30	2		30				
		口腔衛生学 I	DH011131	30	2	30					
		口腔衛生学 II	DH011132	30	2		30				
		歯科衛生統計	DH031133	18	1					18	
		衛生学・公衆衛生学	DH021134	30	2			30			
専門分野	歯科衛生士概論	衛生行政	DH031135	18	1					18	
		社会福祉	DH031136	18	1					18	
	臨床歯科医学	歯科衛生士概論	DH011201	30	1	30					
		看護学総論	DH021202	30	1				30		
		歯科臨床概論	DH011211	30	1	30					
		歯科保存修復・歯内治療学	DH011212	30	1		30				
		歯周病治療学	DH021213	30	1			30			
		歯科補綴学	DH011214	30	1		30				
		口腔外科学	DH011215	30	1		30				
		小児歯科	DH011216	30	1		30				
		矯正歯科	DH011217	30	1		30				
		高齢者・障害者歯科学	DH021218	30	1			30			
歯科予防処置論	歯科麻酔学・歯科放射線学	DH021219	30	1				30			
	歯科予防処置論(講義) I	DH011221	20	1	20						
	歯科予防処置論(講義) II	DH021222	18	1				18			
	歯科予防処置実習 I	DH011223	40	1	40						
	歯科予防処置実習 II	DH011224	40	1		40					
	歯科予防処置実習 III	DH021225	40	1			40				
	歯科予防処置実習 IV	DH021226	80	2			80				
	歯科予防処置実習 V	DH021227	40	1				40			
歯科保健指導論	歯科保健指導論(講義) I	DH021231	20	1			20				
	歯科保健指導論(講義) II	DH021232	18	1				18			
	栄養学	DH021233	30	1			30				
	食育	DH021234	24	1				24			
	歯科保健指導実習 I	DH011235	30	1	30						
	歯科保健指導実習 II	DH011236	30	1		30					
	歯科保健指導実習 III	DH021237	30	1			30				
	歯科保健指導実習 IV	DH021238	30	1				30			
歯科診療補助論	歯科診療補助論(講義) I	DH011241	20	1	20						
	歯科診療補助論(講義) II	DH021242	24	1				24			
	歯科材料学	DH011243	30	1	30						
	歯科診療補助実習 I	DH011244	40	1	40						
	歯科診療補助実習 II	DH011245	40	1		40					
	歯科診療補助実習 III	DH021246	40	1			40				
	歯科診療補助実習 IV	DH021247	40	1				40			
口腔・全身介護論	介護研修 I	DH021251	30	1			30				
	介護研修 II	DH021252	48	2				48			
	口腔・全身介護論	DH021253	24	1				24			
臨床・臨地実習	口腔・全身介護技術	DH021254	32	1				32			
	臨床実習(含口腔介護施設実習)	DH031261	900	20					450		
総括	口腔保健テーマ別講義	DH031271	60	2					60		
	卒業研究	DH031272	50	2					50		
必修合計			2962	101	480	530	510	378	504	560	
選択必修分野	コミュニケーションスキル*	DH022301	30	2				30			
	接遇**	DH022302	30	2				30			
	中国語***	DH022303	30	2				30			
	韓国語***	DH022304	30	2				30			
	物理学****	DH012305	18	1	18						
	化学****	DH012306	18	1	18						
	心理学****	DH022307	30	2			30				
倫理学****	DH022308	30	2			30					
選択合計			108	7	18	0	30	60	0	0	
総計			3070	108	498	530	540	438	504	560	

講義15時間～30時間を1単位、実習30時間～45時間を1単位とする。
 *コミュニケーションスキルまたは接遇を選択 **中国語または韓国語を選択
 物理学または化学を選択 *心理学または倫理学を選択

福岡医療短期大学試験、 成績の評価及び進級に関する規則

(平27.4.1適用)

(試験)

- 第1条 試験は定期試験、追試験、再試験及び卒業試験とする。ただし、必要に応じ随時に試験を行うことがある。
- 2 定期試験は、学期末又は学年末に各授業科目について行う。
 - 3 追試験は、病気その他やむを得ない事由により定期試験を受けることができなかつた者に対し当該試験科目について行う。
 - 4 再試験は、定期試験において不合格となつた試験科目のある者（当該試験科目について）及び卒業試験に不合格となつた者に対し、必要がある場合行う。
 - 5 卒業試験は、学則第13条に定める別表Ⅰ、Ⅱの教育課程を履修した者に対して行う。

(試験方法)

- 第2条 試験は、筆記又は口頭による質疑応答又は実習、実技の審査によるほか、レポート、論文の審査又は平常の成績をもって替えることができる。

(受験資格)

- 第3条 次の各号の一に該当する者は試験を受けることができない。ただし、相当の事由がある場合は、仮に試験を受けさせることができる。

- (1) 各授業科目について、出席日数が授業時間数の3分の2に達しない者及び実習については5分の4に満たない者
- (2) 学則第33条の規定により現に懲戒（停学）処分中の者
- (3) 学生納付金及び追試験又は再試験の場合における受験料を未納の者
- (4) その他短大学長の指定した者

(受験者心得)

- 第4条 受験者は次の各号に定める事項を遵守しなければならない。

- (1) 試験開始後20分経過した後は試験場に入る（受験する）ことを認められないこと及び試験開始後30分までは退場を認められないこと。
- (2) 試験場においては、必ず学生証（追・再試験の場合は追・再試験受験票、以下本号において同じ）を机上に提示すること（当日学生証を忘れた者は、あらかじめ事務室で臨時学生証の交付を受けること）。
- (3) 試験場においては、指定の場所に着席すること。
- (4) 試験場においては、指定ある場合を除きノート、教科書、参考書等を身辺に置かないこと。
- (5) 試験場においては、監督者の指示に従うこと。
- (6) 答案用紙は白紙でも学籍番号、氏名を明記し、提出すること。
- (7) 試験に関する掲示に注意すること。
- (8) 追・再試験を受けようとする者は、短大学長の許可を受け、受験料を納付し追・再試験受験票の交付を受けること。

(試験中の不正行為)

第5条 試験中不正行為を認めるときは、監督員は直ちに答案を没収し、退場を命ずるとともに試験終了後速やかに短大学長に報告しなければならない。

2 不正行為を行った者に対しては、当該学期の全受験科目の評価を無効とし、かつ、学則第33条の規定により懲戒処分を行うものとする。

(成績の評価)

第6条 試験の成績は、優・良・可・不可の評語をもって表わし、可以上を合格とする。ただし、再試験においては可又は不可とし、卒業試験においては合又は否とする。

(進級及び留級)

第7条 学則第16条の規定により、当該学年において修得すべき全授業科目に合格した場合は進級とし、不合格の科目がある場合は、短大学長が進級又は留級を決定する。

(留級者)

第8条 留級者は原則として当該学年において修得すべき全授業科目のうち特に免除された科目のほかの授業に出席し、試験を受けなければならない。

福岡医療短期大学試験、 成績の評価に関する細則

(平31.4.1適用)

試験、成績の評価等の取り扱いについて

1 試験の成績における評語の点数区分等

試験の成績における各評語の点数区分は次のとおりとする。

なお、「優、良、可、不可」はそれぞれ「A、B、C、D」で表すこともできる。

(1) 定期試験等

優	(A)	100点～80点
良	(B)	79点～70点
可	(C)	69点～60点
不可	(D)	59点～0点

(2) 卒業試験等

合	100点～70点
否	69点～0点

2 追・再試験の採点方法

(1) 追試験

点数は最高100点とする。

(2) 再試験

点数は最高60点とする。ただし、卒業試験の再試験は最高70点とする。

3 再試験欠席者の成績評価

(1) 再試験欠席者の成績(学年成績)の評価は、通常、定期試験の成績をもって代えるものとするが、これによることなく、担当教員が必要に応じてその他の方法により評価を行うことができる。

(2) 再試験の成績報告書において欠席の旨表示された者については、定期試験の成績をもってその学年成績とする。

福岡医療短期大学 GPA に関する実施要項

(令5.4.1適用)

(目的)

第1条 この要項は、福岡医療短期大学（以下「本学」という。）におけるグレード・ポイント・アベレージ（履修科目の成績の平均値。以下「GPA」という。）に関し必要な事項を定め、教育課程における学修到達度を客観的に評価することにより、大学教育の質を保証するとともに、学修支援等に資することを目的とする。

(評価等)

第2条 学生が履修した授業科目のグレード・ポイント（評価により与えられる数値。以下「GP」という。）は、次表のとおりとする。

区分	グレード	1単位あたりのGP	成績評価基準	学修成果の達成度
合格	S	4	100点～90点	基準を大きく超えて優秀である
	A	3	89点～80点	基準を超えて優秀である
	B	2	79点～70点	望ましい基準に達している
	C	1.5	69点～60点	単位を認める基準に達している
	C*	1	再試験合格60点	単位を認める最低限の基準には達している
不合格	D	0	59点～0点	基準を下回っている

(GPAの算定)

第3条 各学期のGPA（以下「学期GPA」という。）及び累積のGPA（以下「累積GPA」という。）は、次の式により計算するものとし、その数に小数点以下第一位未満の端数があるときは、小数点以下第三位の値を四捨五入するものとする。

学期GPA =

$$\frac{\text{当該学期の履修科目のGP} \times \text{当該科目の単位数}}{\text{当該学期の履修登録した科目の総単位数}}$$

累積GPA =

$$\frac{\text{全学期の履修科目のGP} \times \text{当該科目の単位数}}{\text{修得した科目の総単位数}}$$

(対象授業科目等)

第4条 本学で進級あるいは卒業により認定されたすべての授業科目をGPAの対象授業科目とする。

2 前項の規定にかかわらず、次の場合は、GPAの対象外科目とする。

- (1) 選択科目で必要単位数を超えて取得した科目
- (2) 編入学または転入学等の単位認定科目
- (3) 本学入学前に修得した単位認定科目
- (4) その他教授会で認めたGPA算出除外科目

(GPAの公表)

第5条 GPAは、成績配付時に学生へ公表する。

(GPAの活用)

第6条 学期GPAは、次のとおり活用するものとする。

- (1) 1つの学期（1 Semester）のGPAが1.5未満となった場合は、学生本人を呼び出し、学年担任による注意と指導を行う。
- (2) GPA 1.5未満が2学期（2 Semester）連続した場合は、学生本人及び保証人（父母又はこれに準ずる者）に対して学科長と学年担任による面談を実施し、学年担任と助言教員等が継続的な学修支援等を行う。
- (3) GPA 1.5未満が3学期（3 Semester）連続した場合は、学生本人及び保証人（父母又はこれに準ずる者）に対して学科長と学年担任による面談を実施し、退学するか、就学を継続するか意思確認を行う。就学意思がある場合には、学年担任及び助言教員等が継続的な学修支援・生活指導等を行う。なお、面談に応じない、または面談の結果、学修意欲の改善が著しく困難と判断された場合は、退学勧告を行うことができる。

2 累積GPAは、次のとおり活用するものとする。

- (1) 学生の主体的な学修を促進するための指標
 - (2) 学生の学業成績を総合的に判断する指標
 - (3) 特別奨学生や奨学金等の算定基礎資料
 - (4) 学生の推薦や就職活動等にかかる資料
- (その他)

第7条 この要項に定めるもののほか、GPAの取扱いに関し必要な事項は、学務・FD委員会が別に定める。

福岡医療短期大学出欠の確認に関する細則

(平25.4.1適用)

- 1 福岡医療短期大学出欠の確認に関する細則は、次のとおりとする。
- 2 出席の確認は各授業開始時に行う。
- 3 出席確認時にあらかじめ決められた座席に着席していない者は欠席とする。
- 4 授業担当者が正当な理由がないと判断した授業途中の退室は欠席とする。
- 5 授業中の携帯電話の使用は禁止する。使用した者はその授業を欠席とし、退室を命じる。
- 6 法令、天災その他本人の責によらない場合には、速やかに届け出ること。

シラバス（授業要綱）

科目ナンバリングのコード配分規則（歯科衛生学科：科目群）

（例）DH011001 『8桁』の科目番号

DH 01 1 001 ⇒ 『生物学』

	学部	学年水準	履修区分	通し番号
（例）	DH （歯科衛生学科）	01 （第1年次）	1 （必修）	001 （先頭の科目）
詳細	別表1	別表2	別表3	別表4

別表1〔学科〕

識別文字	学科名等	英語標記
DH	歯科衛生学科	Dental Hygiene
HP	専攻科	Dental Hygiene Postgraduate Course

別表2〔学年水準〕

番号	付加情報	番号	付加情報
00	導入レベル	21	専攻1年
01	1年		
02	2年		
03	3年		

別表3〔履修区分〕

番号	付加情報
0	なし
1	必修
2	選択必修

別表4-1〔通し番号〕歯科衛生学科

番号	科目分野	科目群
001~100	基礎分野	科学的思考の基盤 001~ 人間と社会生活の理解 011~
101~200	専門基礎分野	人体の構造と機能 101~ 歯・口腔の構造と機能 111~ 疾病の成り立ちと回復の促進 121~
201~300	専門分野	歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み 131~ 歯科衛生士概論 201~ 臨床歯科医学 211~ 歯科予防処置論 221~ 歯科保健指導論 231~ 歯科診療補助論 241~ 口腔・全身介護論 251~ 臨床・臨地実習 261~ 総括 271~
301~400	選択必修分野	301~

別表4-2〔通し番号〕専攻科口腔保健衛生学専攻

番号	科目分野
001~100	専攻外科目
101~200	関連科目
201~300	専門科目

歯科衛生学科

Department of Dental Hygiene

■学習・教育目標

近年、医療・保健・福祉を取り巻く環境の変貌は著しく、それらの高度化・専門化が進行している。これに伴い、歯科医療チームの一員としての歯科衛生士の役割はますます重要視されるとともに、指導的役割を果たすことのできる優秀な人材の育成と高齢社会に対応した歯科衛生士が強く求められている。また本学は、キャンパス内に福岡歯科大学および同大学医科歯科総合病院、介護老人保健施設、介護老人福祉施設を擁する福岡学園のグループ校であり、医療・保健・福祉教育に絶好の環境にある。これらの施設での臨床・臨地実習を通じて、医療人としての自覚と倫理観を持ち、地域歯科保健のリーダーとなり、また「口腔・全身介護」を実践できる歯科衛生士の養成を目標とする。

科目領域の学習・教育目標

歯
科
衛
生
学
科

基礎分野

生命科学および情報処理の理解を深め、豊かな感性や教養を持った歯科衛生士を目指す。また、国際交流にも視点をおいた対人コミュニケーションを身につける。「選択必修：物理学/化学」

専門基礎分野

高度化・専門化する口腔医学に対応するために、歯科衛生士として必要な基礎医学を系統立てて理解する。また、疾病の予防と回復過程の知識を身につけ、口腔のセルフケア能力を高めるための教育的役割や、地域における関係諸機関等との調整能力を養う。

専門分野

生涯を通じた継続的な口腔保健管理を理解し、疾患やライフステージ別の予防法や予防システムの構築を学ぶとともに、多様な生活環境や全身状態にある個人および集団に対して、専門的立場から歯科保健指導ができる能力を身につける。また、歯科医療チームの一員として歯科医師の診療の補助ができる歯科衛生士を目指す。さらに、口腔および全身介護の実践で必要となる生活介護や身体介護を、根拠に基づいた技術により修得し、超高齢社会に対応した多様な情報・知識を身につける。臨床・臨地実習は福岡歯科大学医科歯科総合病院での臨床実習を通して、医療人としての自覚と倫理観を備え、多職種と連携して専門性を発揮できる歯科衛生士を目指す。また、キャンパス内の介護保険施設での臨地実習を通して、高齢者や障がい者の「口腔介護」を実践できる歯科衛生士を目標とする。

選択必修分野

すべてのライフステージにおける口腔保健のサポートに必要な豊かな人間性と職業倫理観を身につける。また、国際交流にも視点をおいた幅広いコミュニケーション能力を身に付け、研究者として国際的にも活躍できる歯科衛生士を目指す。

人間と社会生活の理解

科学的思考の基盤

人体の構造と機能

歯・口腔の構造と機能

疾病の成り立ちと回復の促進

歯・口腔の健康と予防に関する人間と社会の仕組み

歯科衛生士概論

臨床歯科医学

歯科予防処置論

歯科保健指導論

歯科診療補助論

口腔・全身介護論

臨床・臨地実習

総括

1 年 次

前期

後期

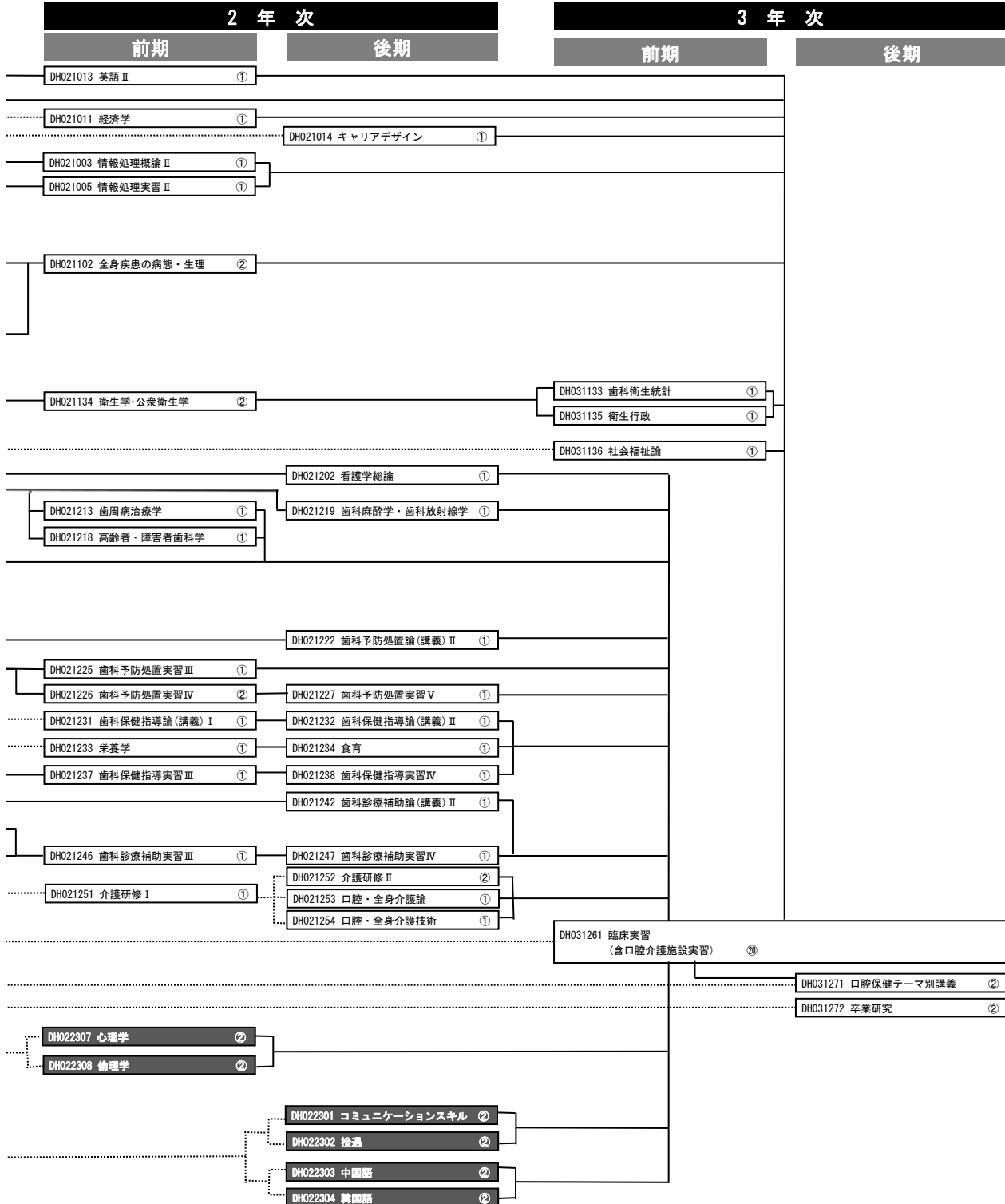
DH011012 英語 I	②	
DH011015 健康生理学 I	①	DH011016 健康生理学 II ①
DH011001 生物学 ①		DH011002 情報処理概論 I ①
DH012305 物理学 ①		DH011004 情報処理実習 I ①
DH012306 化学 ①		
DH011101 解剖学 ②		
DH011111 口腔組織学 ②		DH011112 口腔解剖学 ①
DH011113 口腔生理学 ②		DH011114 口腔生化学 ②
DH011122 口腔微生物学 ②		DH011121 口腔病理学 ②
		DH011123 歯科薬理学 ②
DH011131 口腔衛生学 I ②		DH011132 口腔衛生学 II ②
DH011201 歯科衛生士概論 ①		
DH011211 歯科臨床概論 ①		DH011212 歯科保存修復・歯内治療学 ①
		DH011214 歯科補綴学 ①
		DH011215 口腔外科学 ①
		DH011216 小児歯科学 ①
		DH011217 矯正歯科学 ①
DH011221 歯科予防処置論(講義) I ①		
DH011223 歯科予防処置実習 I ①		DH011224 歯科予防処置実習 II ①
DH011235 歯科保健指導実習 I ①		DH011236 歯科保健指導実習 II ①
DH011241 歯科診療補助論(講義) I ①		
DH011243 歯科材料学 ①		
DH011244 歯科診療補助実習 I ①		DH011245 歯科診療補助実習 II ①

必修科目

選択科目

○の中の数字は単位数

■キーワード
 歯科予防処置
 歯科診療補助
 歯科保健指導
 口腔・全身介護



1 年 次

基礎分野科目

生 物 学	〔DH011001〕	69
情 報 処 理 概 論 I	〔DH011002〕	71
情 報 処 理 実 習 I	〔DH011004〕	73
英 語	〔DH011012〕	76
健 康 生 理 学 I	〔DH011015〕	80
健 康 生 理 学 II	〔DH011016〕	82

専門基礎分野科目

解 剖 学	〔DH011101〕	85
口 腔 組 織 学	〔DH011111〕	87
口 腔 解 剖 学	〔DH011112〕	89
口 腔 生 理 学	〔DH011113〕	91
口 腔 生 化 学	〔DH011114〕	93
口 腔 病 理 学	〔DH011121〕	95
口 腔 微 生 物 学	〔DH011122〕	98
歯 科 薬 理 学	〔DH011123〕	101
口 腔 衛 生 学 I	〔DH011131〕	103
口 腔 衛 生 学 II	〔DH011132〕	106

専門分野科目

歯 科 衛 生 士 概 論	〔DH011201〕	109
歯 科 臨 床 概 論	〔DH011211〕	111
歯科保存修復・歯内治療学	〔DH011212〕	113
歯 科 補 綴 学	〔DH011214〕	115
口 腔 外 科 学	〔DH011215〕	117
小 児 歯 科 学	〔DH011216〕	120
矯 正 歯 科 学	〔DH011217〕	123
歯科予防処置論（講義） I	〔DH011221〕	125
歯科予防処置実習 I	〔DH011223〕	127
歯科予防処置実習 II	〔DH011224〕	130

齒科保健指導實習 I	〔DH011235〕	133
齒科保健指導實習 II	〔DH011236〕	136
齒科診療補助論（講義） I	〔DH011241〕	138
齒科材料学	〔DH011243〕	140
齒科診療補助實習 I	〔DH011244〕	142
齒科診療補助實習 II	〔DH011245〕	144

選択必修分野科目

物	理	学	〔DH012305〕	147
化		学	〔DH012306〕	149

生 物 学

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011001
 評価責任者： 松尾 忠行
 授業担当者： 藤兼 亮輔

1. 一般目標

ヒトの体がどのように構成され、生きていくためにどのような働きを営んでいるかを理解するため、生体が示す生命現象の基本的なしくみについて学習するとともに、医療や健康に関する事柄を科学的思考で考察できるようにする。本講義を通じて、口腔微生物学、口腔生理学、歯科薬理学等専門科目の理解に不可欠な基礎知識を習得する。

2. 教育方法

講義
 問題演習

3. 教育教材 (授業で使用する教材・機材を記載する)

教科書、PC、プリント

4. 学修方法

授業は予習していることを前提に開始する。講義には指定の教科書を持参する。講義中にノートを取る。講義終了後に、講義毎に配布される演習問題を教科書とノートを参考にして解き、理解を深める。本講義は後期の「口腔生化学」の理解に必要である。
 [単位修得に必要な授業外学修時間：15 時間]

5. 評価方法

[形成的評価] 演習問題 (小テスト)

[フィードバック] 講義毎の演習問題 (小テスト) の解答と解説を講義中に行う。

[総括的評価] 記述試験 (90%) 授業態度等 (10%)

[フィードバック] 試験結果は試験終了後に掲示にて公開し、質問等によりフィードバックする。

6. 教科書

1. 和田 勝 著 基礎から学ぶ生物学・細胞生物学 第4版、羊土社、2020 年

7. 参考書

1. 歯科衛生士教本 生物学 医歯薬出版 2008 年

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 [授業方法]	学修目標(GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	4/11 (火) 4 限	藤兼	ユニット1 細胞のプロフィール [講義]	(1)細胞を構成する物質を理解する	(1)原子、水の性質、モノマーとポリマー、タンパク質、核酸、糖、脂質を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p54-65 (1 時間)	認知 (想起)
2	4/18 (火) 4 限	藤兼	ユニット1 細胞のプロフィール [講義]	(1)細胞小器官の構造と機能を理解する	(1)核、小胞体とリボソーム、ゴルジ装置、ミトコンドリア、葉緑体を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 P49-54, 66-70, 72 (1 時間)	認知 (想起)
3	4/25 (火) 4 限	藤兼	ユニット2 細胞の形と機能を定めるもの [講義]	(1)遺伝情報の流れを理解する	(1)DNAの発見、DNAの構造、セントラルドグマ、転写とその制御を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p78-86 (1 時間)	認知 (想起)
4	5/2 (火) 4 限	藤兼	ユニット2 細胞の形と機能を定めるもの [講義]	(1)タンパク質合成を理解する	(1)遺伝暗号、翻訳、タンパク質を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p87-99 (1 時間)	認知 (想起)
5	5/9 (火) 4 限	藤兼	ユニット2 細胞の形と機能を定めるもの [講義]	(1)細胞骨格の構造と機能を理解する	(1)アクチンフィラメント、微小管、中間径フィラメントを説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 P70-71, 131-138 (1 時間)	認知 (想起)
6	5/16 (火) 4 限	藤兼	ユニット3 細胞の活動とエネルギー [講義]	(1)解糖と脂肪酸代謝を理解する	(1)細胞のエネルギー源と、解糖、クエン酸回路、脂肪酸β酸化を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p103-111 (1 時間)	認知 (想起)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
7	5/23 (火) 4限	藤兼	ユニット3 細胞の活動とエネルギー [講義]	(1)動物のエネルギー代謝(細胞呼吸)を理解する	(1)ミトコンドリアの電子伝達系、酸化的リン酸化、ATPを説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p111-113 (1時間)	認知 (想起)
8	5/30 (火) 4限	藤兼	ユニット3 細胞の活動とエネルギー [講義]	(1)植物のエネルギー代謝を理解する	(1)葉緑体の光合成、炭酸同化反応、代謝経路ネットワークを説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p113-122 (1時間)	認知 (想起)
9	6/6 (火) 4限	藤兼	ユニット4 細胞を増やすしくみ [講義]	(1)細胞増殖の制御を理解する	(1)細胞周期を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p177-178 (1時間)	認知 (想起)
10	6/13 (火) 4限	藤兼	ユニット4 細胞を増やすしくみ [講義]	(1)遺伝情報の複製を理解する	(1)DNA複製を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p169-174 (1時間)	認知 (想起)
11	6/20 (火) 4限	藤兼	ユニット4 細胞を増やすしくみ [講義]	(1)遺伝情報の恒常性を理解する	(1)テロメア、DNA修復を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p178-183 (1時間)	認知 (想起)
12	6/27 (火) 4限	藤兼	ユニット4 細胞を増やすしくみ [講義]	(1)細胞分裂の仕組みを理解する	(1)体細胞分裂、有糸分裂、減数分裂を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p175-177, 186-190 (1時間)	認知 (想起)
13	7/4 (火) 4限	藤兼	ユニット4 細胞を増やすしくみ [講義]	(1)遺伝の法則を理解する	(1)メンデルの遺伝の法則、ヒトにおける遺伝学を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p34-39 (1時間)	認知 (想起)
14	7/11 (火) 4限	藤兼	ユニット5 細胞間のコミュニケーション [講義]	(1)細胞同士の情報伝達を理解する	(1)細胞接着、シグナル分子、受容体、情報伝達を説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p146-167 (1時間)	認知 (想起)
15	7/18 (火) 4限	藤兼	ユニット7 生きること、死ぬこと [講義]	(1)細胞の再生と死を理解する	(1)細胞再生、ネクローシスとアポトーシス、細胞の老化、寿命、がんを説明できる	教科書の精読と演習問題の解答 p256-273 (1時間)	認知 (想起)

情報処理概論 I

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 9 コマ ; 18 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3 (6 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011002
 評価責任者： 松尾 忠行
 授業担当者： 内田 竜司

1. 一般目標

本講義において、学生は多様な情報や知識を論理的に分析・考察する能力を獲得するために、情報リテラシーに関する基礎知識とともに、パソコンの構造、オペレーティングシステムとしてのWindowsの基礎、アプリケーションソフトの基礎、各種アプリケーションソフトの利用法や連携について理解する。

2. 教育方法

スライドによる解説を中心に、内容に応じて双方向学修形式の授業を行う。

3. 教育教材

PC、プリント、PDFファイル、動画

4. 学修方法

講義中に配付資料の内容を理解し、要点や補足を追記すること。講義時間内に実施する確認テスト (Googleフォーム等) により、講義内容の理解度を確認する。また、授業で提示する演習課題に取り組み、疑問点は随時、質問すること。授業後は、講義・実習内容の確認をその日のうちに行うこと。本講義は、「情報処理実習 I」の演習課題や、2学年開講の「情報処理概論 II」「情報処理実習 II」の理解に必要である。

【単位修得に必要な授業外学修：27時間】

5. 評価方法

[形成的評価] 講義時間内で実施する確認テストにより講義内容の理解度を確認する。また、授業で提示する演習課題に取り組み、随時、指導する。

[フィードバック] 講義時間内で実施する確認テストは、回答終了時に得点が表示され、理解度を自己確認できる。また、演習課題の模範解答例を講義・実習時に提示するので、自己評価し、修正する。

[総括的評価] 講義時間内で実施する確認テストおよびメールに添付して提出する演習課題について、提出方法を含め評価する。評価は掲示にて公開する。

6. 教科書

プリント、PDFファイル

7. 参考書

なし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/20 (水) 3限	内田竜司	オリエンテーション ユニット1 学内情報システムの利用 [講義]	1 学内情報システムの概要を理解し、その利用法を習得する。	1 情報処理実習室の機器利用について説明できる。 2 学内LAN上の学生メールシステムについて説明できる。 3 パスワードの管理法を説明できる。	学生メールシステム。 パスワード管理。 3時間	認知 (想起)
2	9/27 (水) 3限	内田竜司	ユニット2 ハードウェアとソフトウェア [講義]	1 パソコン本体と周辺機器、ソフトウェアの概略を理解し、アプリケーションソフトを利用する。	1 ソフトウェアの役割を説明できる。 2 マウスを利用した図の描記方法について説明できる。 3 ファイルの保存について説明できる。 4 添付ファイルのある電子メールの送受信について説明できる。	PC、周辺機器、ソフトウェア。 ファイル保存。 添付ファイル。 3時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	10/4 (水) 3限	内田竜司	ユニット3 情報リテラシー に関する基礎知識 [講義]	1 情報リテラシーに関する基礎知識とともに、インターネットを介した各種サービスの概要を理解する。	1 情報倫理について説明できる。 2 インターネットと、ネットワークを介したサービスについて説明できる。 3 インターネットの危険性について説明できる。	インターネット ネットワーク SNS コンピュータウイルス 3時間	認知 (想起)
4	10/11 (水) 3限	内田竜司	ユニット4 情報の収集 [講義]	1 情報検索方法を理解するとともに、プレゼンテーションソフトの基本的操作方法を習得する。	1 情報検索方法について説明できる。 2 検索エンジンの機能について説明できる。	検索エンジン 3時間	認知 (想起)
5	10/18 (水) 3限	内田竜司	ユニット5 顔貌写真・口腔 内写真の加工と 編集1 [講義]	1 顔貌写真・口腔内写真を使った患者資料の作成方法について習得する。	1 写真の加工方法について説明できる。 2 写真の配置に必要な解剖学的指標について説明できる。 3 写真の配置について説明できる。	顔貌・口腔内写真 撮影の基準となる 解剖学的指標 3時間	認知 (想起)
6	10/25 (水) 3限	内田竜司	ユニット5 顔貌写真・口腔 内写真の加工と 編集2 [講義]	1 顔貌写真・口腔内写真を使った患者資料の作成方法について習得する。	1 作成した患者資料の印刷方法について説明できる。 2 作成した患者資料の問題点について指摘できる。 3 患者資料の問題点の修正方法について説明できる。	画像加工 画像印刷。3時間	認知 (想起)
7	11/1 (水) 3限	内田竜司	ユニット6 情報の収集と加 工1 [講義]	1 著作権について理解するとともに、著作権に配慮した情報の活用方法を習得する。	1 著作権について説明できる。 2 著作権に配慮したインターネットを利用した情報収集について説明できる。	著作権 3時間	認知 (想起)
8	11/8 (水) 3限	内田竜司	ユニット6 情報の収集と加 工2 [講義]	1 引用について理解するとともに、引用のルールを遵守した情報の活用方法を習得する。	1 引用について説明できる。 2 インターネットを利用した引用方法について説明できる。	引用・転載 3時間	認知 (想起)
9	11/15 (水) 3限	内田竜司	ユニット7 情報の形態1 [講義]	1 文字情報表現の基礎を理解し、情報の特性をについて考察する。	1 通信の歴史について説明できる。 2 2進法、16進法について説明できる。 3 文字情報について説明できる。	通信 N進法 文字データ 3時間	認知 (想起)

情報処理実習 I

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 21 コマ；42 時間 1 単位
 受験資格要件： 4/5 (17 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011004
 評価責任者： 松尾 忠行
 授業担当者： 内田 竜司

1. 一般目標

本実習において、学生は多様な情報や知識を論理的に分析・考察する能力を獲得するために、情報リテラシーを向上させるとともに、パソコンの基本的な操作、Windows10の基本操作、ワープロ・表計算・プレゼンテーションソフトの実践的利用法について修得する。

2. 教育方法

スライドによる解説講義を踏まえた演習課題への取り組みを中心に、内容に応じて双方向学修形式の授業を行う。

3. 教育教材

PC、プリント、PDFファイル、動画

4. 学修方法

講義中はデモ画面を注視すること。授業にはUSBメモリーを必ず持参し、授業で作成した提出課題のファイルを保存しておくこと（演習課題の模範解答例を講義・実習時に提示するので、自己評価し、修正する）。日頃、パソコンにできるだけふれること。本講義は2学年開講の「情報処理概論Ⅱ」「情報処理実習Ⅱ」の理解に必要である。

【単位修得に必要な授業外学修時間：21時間】

5. 評価方法

〔形式的評価〕講義時間内で実施する確認テストにより講義内容の理解度を確認する。また、授業で提示する演習課題に取り組み、随時、指導する。

〔フィードバック〕講義時間内で実施する確認テストは、回答終了時に得点が表示され、理解度を自己確認できる。また、演習課題の模範解答例を講義・実習時に提示するので、自己評価し、修正する。

〔総括的評価〕講義時間内で実施する確認テストおよびメールに添付して提出する演習課題について、提出方法を含め評価する。評価は掲示にて公開する。

6. 教科書

プリント、PDFファイル

7. 参考書 なし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/20 (水) 4限	内田竜司	オリエンテーション ユニット1 Windows10の基本操作と学 内情報システムの概要 [実習]	1 起動から終了ま での操作、アプ リケーションソ フトの起動と終 了、ウインドウ やフォルダーの 操作とともに、 学内情報シス テムの概要を理解 する。	1 Windows10の基本操作ができる。 2 学内LAN上の学生メールシステムを利用できる。 3 パスワードの管理法を実践できる。 4 インターネットへの接続、e-mailへのファイル添付ができる。	Windows10の基本操作。 PCのメールシステム。 1時間	精神運動 (コント ロール)
2	9/27 (水) 4限	内田竜司	ユニット2 ハードウェアとソフトウ ェア [実習]	1 パソコン本体と 周辺機器、ソフ トウェアの概略 を理解し、アプ リケーションソ フトを利用す る。	1 ソフトウェアの起動・終了操作ができる。 2 マウスを使って図を描記することができる。 3 アプリケーションソフトを使ってファイルを作成し、保存することができる。 4 添付ファイルのある電子メールを送受信できる。	PC、周辺機器、ソフトウェア。 ファイル保存。 添付ファイル。 1時間	精神運動 (コント ロール)
3	10/4 (水) 4限	内田竜司	ユニット3 情報リテラシーに関する 基礎知識 [実習]	1 情報を適切に判 断し、情報を通 じて決定を下す 能力を涵養す る。	1 情報倫理に配慮したインターネットと、それを介したサービスの活用ができる。 2 インターネットの危険性に配慮したPCの活用ができる。	インターネット ネットワーク SNS コンピュータウイ ルス 1時間	精神運動 (コント ロール)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
4	10/11 (水) 4限	内田竜司	ユニット4 情報の収集 [実習]	1 情報検索方法とともに、プレゼンテーションソフトの基本的操作方法を習得する。	1 検索エンジンを使って情報収集ができる。 2 検索エンジンの機能を利用できる。 3 収集した情報をプレゼンテーションソフトを使ってまとめることができる。	検索エンジン 1時間	精神運動 (コントロール)
5	10/18 (水) 4限	内田竜司	ユニット5 顔貌写真・口腔内写真の 加工と編集1 [実習]	1 顔貌写真・口腔内写真を使った患者資料の作成方法について習得する。	1 写真の加工ができる。 2 必要な解剖学的指標を遵守した写真の配置ができる。	顔貌・口腔内写真撮影時に基準となった解剖学的指標。 1時間	精神運動 (コントロール)
6	10/25 (水) 4限	内田竜司	ユニット5 顔貌写真・口腔内写真の 加工と編集2 [実習]	1 顔貌写真・口腔内写真を使った患者資料の作成方法について習得する。	1 作成した患者資料の印刷ができる。 2 作成した患者資料の問題点を修正できる。	写真の加工方法・印刷方法。 1時間	精神運動 (コントロール)
7	11/1 (水) 4限	内田竜司	ユニット6 情報の収集と加工3 [実習]	1 著作権について理解するとともに、著作権に配慮した情報の活用方法を習得する。	1 インターネットを利用して収集した情報を著作権に配慮して活用することができる。 2 インターネットを利用して収集した情報をプレゼンテーションソフトを使って編集できる。	著作権。 1時間	精神運動 (コントロール)
8	11/8 (水) 4限	内田竜司	ユニット6 情報の収集と加工4 [実習]	1 引用について理解するとともに、引用のルールを遵守した情報の活用方法を習得する。	1 インターネットを利用して収集した情報をワープロソフトを使って編集できる。 2 インターネットを利用して収集した情報をプレゼンテーションソフトを使って編集できる。	引用と転載。 1時間	精神運動 (コントロール)
9	11/15 (水) 4限	内田竜司	ユニット7 情報の形態1 [実習]	1 文字情報表現の基礎を理解し、情報の特性をについて考察する。	1 2進法、16進法について調べた情報を編集できる。 2 文字情報について調べた情報を編集できる。	通信の歴史。 N進法。 文字データ。 1時間	精神運動 (コントロール)
10	11/22 (水) 3限	内田竜司	ユニット7 情報の形態2 [講義]	1 音声情報表現の基礎を理解し、情報の特性をについて考察する。	1 音声情報について説明できる。	音声データ。 1時間	認知 (想起)
11	11/22 (水) 4限	内田竜司	ユニット7 情報の形態2 [実習]	1 音声情報表現の基礎を理解し、情報の特性をについて考察する。	1 音声情報について調べた情報を編集できる。	音声データ。 1時間	精神運動 (コントロール)
12	11/29 (水) 3限	内田竜司	ユニット7 情報の形態3 [講義]	1 画像情報表現の基礎を理解し、情報の特性をについて考察する。	1 3原色について説明できる。 2 画像データについて説明できる。 3 画像データの加工について説明できる。	画像データ。 1時間	認知 (想起)
13	11/29 (水) 4限	内田竜司	ユニット7 情報の形態3 [実習]	1 画像情報表現の基礎を理解し、情報の特性をについて考察する。	1 3原色について調べた情報を編集できる。 2 画像データについて調べた情報を編集できる。 3 画像データの加工できる。	画像データ。 1時間	精神運動 (コントロール)
14	12/6 (水) 3限	内田竜司	ユニット8 情報と問題解決 [講義]	1 情報を活用するための基礎的な発想法を学ぶとともに、情報解決法の基礎を知る。	1 フローチャートを説明できる。 2 モデル化について説明できる。 3 シミュレーションについて説明できる。	フローチャート モデル化 シミュレーション 1時間	認知 (想起)
15	12/6 (水) 4限	内田竜司	ユニット8 情報と問題解決 [実習]	1 情報を活用するための基礎的な発想法を学ぶとともに、情報解決法の基礎を知る。	1 フローチャートを作成できる。 2 モデル化とシミュレーションにコンピュータを活用できる。	フローチャート モデル化 シミュレーション 1時間	精神運動 (コントロール)
16	12/13 (水) 3限	内田竜司	ユニット9 文書作成1 [講義]	1 ワープロソフトによる様々な文書作成の基礎について理解する。	1 ビジネス文書について説明できる。 2 患者提供文書について説明できる。 3 電子メール文書について説明できる。	ビジネス文書 患者提供文書 電子メール文書 1時間	認知 (想起)
17	12/13 (水) 4限	内田竜司	ユニット9 文書作成1 [実習]	1 ワープロソフトによる様々な文書作成の基礎について理解する。	1 ビジネス文書を作成できる。 2 患者提供文書を作成できる。 3 電子メール文書を作成できる。	ビジネス文書 患者提供文書 電子メール文書 1時間	精神運動 (コントロール)
18	12/20 (水) 3限	内田竜司	ユニット9 文書作成2 [講義]	1 ワープロソフトによる様々な文書作成の基礎について理解する。	1 履歴書について説明できる。 2 送付状(添え状)について説明できる。 3 リコール文書について説明できる。	履歴書 送付状(添え状) リコール文書 1時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担 当 者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(G10)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目 標 領 域
19	12/20 (水) 4限	内田竜司	ユニット9 文書作成2 [実習]	1 ワープロソフト による様々な文 書作成の基礎に ついて理解す る。	1 履歴書を作成できる。 2 送付状(添え状)を作成できる。 3 リコール文書を作成できる。	履歴書 送付状(添え状) リコール文書 1時間	精神運動 (コント ロール)
20	1/10 (水) 3限	内田竜司	ユニット10 プレゼンテーション資料 の作成 [講義]	1 プレゼンテーシ ョンソフトを用 いたプレゼンテ ーション資料の 作成法を修得す る。	1 効果的なプレゼンテーション資料の作成 方法(全般)を説明できる。	プレゼンテーシ ョン資料の作成法 1時間	認知 (想起)
21	1/10 (水) 4限	内田竜司	ユニット10 プレゼンテーション資料 の作成 [実習]	1 プレゼンテーシ ョンソフトを用 いたプレゼンテ ーション資料の 作成法を修得す る。	1 効果的なプレゼンテーション資料を作成 できる。	プレゼンテーシ ョン資料の作成法 1時間	精神運動 (コント ロール)

英語 I (English Conversation)

開講時期： 1 年次通年
 授業時間数： 30 コマ ; 60 時間 2 単位
 受験資格要件： 前後期 各 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011012
 評価責任者： 松尾忠行
 担当教員： Oliver Anthony John
 山根モーゼス

1. General Aim

As a dental hygienist, Learners will obtain an interpersonal communication skills and attitude, and improve their English competence for cultural enrichment.

2. Method of Instruction

Lecture ・ Group work.

3. Education Material ・ Device

Textbook、Handouts、DVD、PC+Projector.

4. Method of Learning

Learners have to bring a textbook shown below in the class. Every time they should study the contents that they are going to study before the class. Also they are expected to review the contents they learned on the same day.

【Necessary Studying Hours to Earn Enough Credits for Graduation : 30hours】

5. Evaluation

Written Examination (80%)

Class Participation (approx.20%)

The results of the exams are announced after the exams on the Bulletin Board.

Detailed information will be explained on the first class.

6. Textbook

“My First PASSPORT second edition 1 English for International Communication”, Angela Buckingham & Lewis Lansford, Oxford University Press

Handouts

7. 参考書

English Japanese Dictionary & Japanese English Dictionary (electronic dictionary is also available)

【前期】

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	4/11 (火) 2限	Oliver 山根	Orientation Unit 1 How long are you staying? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 1. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 1 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation)・ Affective (Receivin g)
2	4/18 (火) 2限	Oliver 山根	Unit 2 Nice to meet you! Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 2. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 2 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation)・ Affective (Receivin g)
3	4/25 (火) 2限	Oliver 山根	Unit 3 Make yourself at home! Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 3. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 3 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation)・ Affective (Receivin g)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育目標 領域
4	5/2 (火) 2限	Oliver 山根	Unit 4 What time is dinner? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 4. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 4 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation)・ Affective (Receivin g)
5	5/9 (火) 2限	Oliver 山根	Unit 5 It's a kind of jacket Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 5. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 5 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation)・ Affective (Receivin g)
6	5/16 (火) 2限	Oliver 山根	Unit 6 How was it? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 6. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 6 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation)・ Affective (Receivin g)
7	5/23 (火) 2限	Oliver 山根	Unit 7 Help yourself Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 7. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 7 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation)・ Affective (Receivin g)
8	5/30 (火) 2限	Oliver 山根	Unit 8 I'd like fifteen tickets, please Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 8. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in unit 8 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation)・ Affective (Receivin g)
9	6/6 (火) 2限	Oliver 山根	Unit 9 Can I have a towel please? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 9. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 9 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation)・ Affective (Receivin g)
10	6/13 (火) 2限	Oliver 山根	Unit 10 Are you into music? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 10. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 10. Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation)・ Affective (Receivin g)
11	6/20 (火) 2限	Oliver 山根	Unit 11 Can I stay out until 11:00? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 11. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 11 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation)・ Affective (Receivin g)
12	6/27 (火) 2限	Oliver 山根	Unit 12Tell me about your family Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 12. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 12 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation)・ Affective (Receivin g)
13	7/4 (火) 2限	Oliver 山根	Unit 13 I'm hungry! Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 13. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 13 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation)・ Affective (Receivin g)
14	7/11 (火) 2限	Oliver 山根	Unit 14 What are you doing tomorrow? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 14. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 14 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation)・ Affective (Receivin g)
15	7/18 (火) 2限	Oliver 山根	Unit 15 How much is it? Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 15. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 15 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre tation)・ Affective (Receivin g)

【後期】

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	9/19 (火) 1限	Oliver 山根	Orientation Unit 1 Country Strong Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 1. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 1 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
2	9/26 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 2 Tangled! Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 2. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 2 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
3	10/3 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 3 Life of Pie Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 3. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 3 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
4	10/10 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 4 Hugo Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 4. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 4 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
5	10/17 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 5 No Impact Man Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 5. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 5 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
6	10/24 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 6 The Karate Kid Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 6. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 6 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
7	10/31 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 7 The Amazing Spiderman Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 7. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 7 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
8	11/7 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 8 The King's Speech Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 8. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in unit 8 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
9	11/14 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 9 Money ball Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 9. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 9 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
10	11/21 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 10 The Social Network Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 10. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 10. Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
11	11/28 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 11 the Experiment Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 11. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 11 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)
12	12/5 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 12 Spy Kids 4D Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 12. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 12 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin g)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育目標 領域
13	12/12 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 13 Food Inc. Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 13. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 13 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin- g)
14	12/19 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 14 Red Riding Hood Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 14. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 14 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin- g)
15	1/9 (火) 1限	Oliver 山根	Unit 15 Eat Pray Love Lecture & Group Work	1)To understand the contents of the unit 15. 2)To speak and listen using the expressions they learned in the class.	1) The students can translate the contents of the unit and speak & listen using the expressions they learned in the class.	Consult words in Unit 15 Preparation 1hour	Cognitive (Interpre- tation)・ Affective (Receivin- g)

健康生理学 I

開講時期： 1年次前期
 授業時間数： 15コマ；30時間 1単位
 受験資格要件： 2/3（10コマ）以上の出席
 科目番号： DH011015
 評価責任者： 松尾 忠行
 担当者： 町田 由紀子、矢次 春風

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として口腔の健康を支える支援者となるために必要なことと身体の健康に関する知識や自己管理能力、並びに他者とのコミュニケーション能力や協調・協働・支援する力を学ぶとともに、自らの健康管理ができる能力を身に付ける。また、健康を支えるために必要な社会参加活動の考え方や技法、支援を受ける人々の生活課題と社会参加活動の関わりについて理解する。

2. 教育方法

講義・演習、相互学習・グループワーク、ディベート等のアクティブ・ラーニングを行う。

地域住民に対する健康教育の支援者として地域保健活動に関わった実務経験を生かした基礎教育並びに実践的教育を行う。

3. 教育教材・機材

参考書、プリント、DVD、PC+プロジェクター、スポーツ用具、レクリエーション用具

4. 学修方法

授業には、配布プリントとノートを必ず持参すること。下記予習項目に記載の事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、配布プリント、ノートを用い講義内容の確認をその日のうちに行うこと。

授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。また、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。相互学習やグループワーク、症例検討等のアクティブラーニングについては、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げる。スポーツレクリエーション実技については安全のため屋内シューズおよび運動を行うための服装を準備して臨むこと。

特に、本科目は2年次に開講される「口腔介護技術」で実施される演習やグループワークのベースとなることから、十分に学修し理解を深めておくことが必要となるので本科目に興味を持ち意欲的に取り組んでくれることを期待する。

【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：15時間】

5. 評価

[総括的評価]：レポート（20%）提出物（30%）授業参加状況（発問・質疑・回答・実技及びグループワークでの活動や発言、授業中の態度、実技時の服装・協力等）（50%）

[フィードバック] 不十分な部分についてはコメントを付して返却する

6. 教科書

適時プリント等を配布する。

7. 参考書

日本体力医学会体力科学編集委員会監訳、運動処方指針、運動負荷試験と運動プログラム（原書第8版）南江堂2011年

九州大学健康・スポーツ科学研究会編、実習で学ぶ健康・運動・スポーツの科学、改訂版第2刷、大修館書店2017年 その他適宜紹介する。

回	授業日	授業者 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(G10)	行動目標(SB0s)	予習項目・ 事後学習と 必要時間	教育目 標領域
1	4/12 (水) 1限	町田	オリエンテーション ユニット1 健康とは何か 講義・演習	1) コミュニケーションを理解する。	(1) 言語、非言語によるコミュニケーションを理解することができる ・相手を知る、自分を知る ・出会いのゲーム	コミュニケーションについて調べる。 (予習1時間)	認知 (問題解決) 態度 (受入)
2	4/12 (水) 2限	町田	ユニット1 健康とは何か 講義・演習	1) コミュニケーションを理解する。	(1) 言語、非言語によるコミュニケーションを理解することができる ・相手を知る、自分を知る ・出会いのゲーム	コミュニケーションについて調べる。 (予習1時間)	認知 (問題解決) 態度 (受入)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習項目・ 事後学習と 必要時間	教育目 標領域
3	4/18 (火) 1限	矢次	ユニット2 コミュニケーション ワーク 講義・演習	1) 健康について 理解する。	(1) 健康の定義、健康を獲得するための方法につ いて説明できる。 ・平均寿命と健康寿命 (2) 主観的健康について自分の考えを述べるこ とができる。	自分の考える 「健康観」に ついてまと める。 (予習1時間)	認知 (想起)
4	4/25 (火) 1限	矢次	ユニット2 コミュニケーション ワーク 講義・演習	2) コミュニケー ションを理解す る。	(1) 言語、非言語によるコミュニケーションを実 践することができる ・レクリエーションゲーム (ドッジビー)	コミュニケー ションにつ いて調べる。 (予習1時間)	認知 (問題解決) 態度 (受入)
5	5/2 (火) 1限	矢次	ユニット2 コミュニケーション ワーク 講義・演習	1) リーダーシッ プ・フォロワー シップを理解す る。	(1) 言語、非言語によるコミュニケーションを実 践することができる ・ニュースポーツ インディアカ ①	コミュニケー ションにつ いて調べる。 (予習1時間)	認知 (問題解決) 態度 (受入)
6	5/9 (火) 1限	矢次	ユニット2 コミュニケーション ワーク 講義・演習	2) リーダーシッ プ・フォロワー シップを理解す る。	(1) 言語、非言語によるコミュニケーションを実 践することができる ・ニュースポーツ インディアカ ②	コミュニケー ションにつ いて調べる。 (予習1時間)	認知 (問題解決) 態度 (受入)
7	5/16 (火) 1限	矢次	ユニット3 健康と運動 講義・演習	1) 健康と運動の 関係について理 解する。	(1) 健康づくりについて理解することができる ・生活習慣病の予防と対策 ・運動による健康づくり (目標心拍数)	生活習慣病に ついて調べ る。 (予習1時間)	認知 (想起)
8	5/23 (火) 1限	矢次	ユニット3 講義・演習	2) 健康と運動の 関係について理 解する。	(1) 健康づくりについて理解することができる ・怪我の予防とリラクゼーション法 (ストレッチングの理論と実際)	ストレッチン グについて調 べる。 (予習1時間)	認知 (想起)
9	5/30 (火) 1限	矢次	ユニット3 健康と運動 講義・演習	1) 健康度と運動 機能について理 解する。	(1) 自分の体力・健康度を知る ・運動機能測定・評価 (新体力テスト) ・健康を維持するための対応策	自分の運動機 能評価結果か ら対応策を考 える。 (復習1時間)	認知 (想起)
10	6/6 (火) 1限	矢次	ユニット3 健康と運動 講義・演習	1) 健康づくりの スポーツにつ いて理解する。 (軽スポーツ)	(1) 健康とスポーツ実践について理解することが できる。 ・バドミントン ① (基礎技術)	スポーツのル ールにつ いて調べ る。 (予習1時間)	認知 (問題解決) 態度 (受入)
11	6/13 (火) 1限	矢次	ユニット3 健康と運動 講義・演習	2) 健康づくりの 運動につ いて理解する。(軽ス ポーツ)	(2) 健康とスポーツ実践について理解することが できる。 ・バドミントン ② (ダブルス)	スポーツのル ールにつ いて調べ る。 (予習1時間)	認知 (問題解決) 態度 (受入)
12	6/20 (火) 1限	矢次	ユニット4 健康と体力 講義・演習	1) 体力・運動機 能向上につ いて理解する。	(1) 体力に応じた運動方法について説明できる。 ・無酸素性運動と有酸素性運動 (レジスタンストレーニングの実践) ・トレーニングの条件 (FITT)	体力の種類に ついて調べ る。 (宿題) (復習1時間)	認知 (想起)
13	6/27 (火) 1限	矢次	ユニット4 健康と体力 講義・演習	1) 運動プログラ ムの作成につ いて理解する。	(1) 目的に応じた運動プログラムを作成できる ・部位別レジスタンス運動プログラムの作成 (夏休みの健康づくり目標設定など)	運動プログラ ムをたてる。 (復習1時間)	認知 (問題解決) 態度 (反応)
14	7/4 (火) 1限	矢次	ユニット5 運動の安全管理 講義・演習	1) 運動時の安全 管理につ いて理解する。	(1) 運動時の安全管理について理解することができ る。 ・熱中症 ・心肺蘇生法 他	自分の生活習 慣につ いてまと める。 (予習1時間)	認知 (想起)
15	7/11 (火) 1限	矢次	ユニット6 まとめ 講義・演習	1) 地域における 健康づくりに ついて理解する。	(1) 健康づくりの意義を理解する。 ・健康を支える従事者としての健康管理と社会 活動の必要性	地域で開催さ れる健康づく りの活動を調 べる。 (復習1時間)	認知 (問題解決) 態度 (反応)

健康生理学Ⅱ

開講時期： 1年次後期
授業時間数： 15コマ；30時間1単位
受験資格要件： 2/3（10コマ）以上の出席
科目番号： DH011016
評価責任者： 松尾 忠行
担当教員： 町田 由紀子

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として口腔の健康を支える支援者となるために必要なことと身体の健康に関する知識や自己管理能力、並びに他者とのコミュニケーション能力や協調・協働・支援する力を学ぶとともに、自らの健康管理ができる能力を身に付ける。また、健康を支えるために必要な社会参加活動の考え方や技法、支援を受ける人々の生活課題と社会参加活動の関わりについて理解し、特に高齢者等における実践的な生活支援や自立支援が提供できる能力を身に付ける。

2. 教育方法

講義・演習、相互学習・グループワーク等のアクティブ・ラーニングを行う。

地域住民に対する健康教育の支援者として地域保健活動に関わった実務経験を生かした基礎教育並びに実践的教育を行う。

3. 教育教材・機材

参考書、プリント、DVD、PC+プロジェクター、スポーツ用具、レクリエーション用具

4. 学修方法

授業には、配布プリントとノートを必ず持参すること。下記予習項目に記載の事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、配布プリント、ノートを用い講義内容の確認をその日のうちに行うこと。

授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。また、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。相互学習やグループワーク、症例検討等のアクティブラーニングについては、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げる。スポーツレクリエーション実技については安全のため屋内シューズおよび運動を行うための服装を準備して臨むこと。

特に、本科目は2年次に開講される「口腔介護技術」で実施される演習やグループワークのベースとなることから、十分に学修し理解を深めておくことが必要となるので本科目に興味を持ち意欲的に取り組んでくれることを期待する。

【単位修得に必要な授業外学修時間：15時間】

5. 評価

〔総括的評価〕：レポート（20%）提出物（30%）授業参加状況（発問・質疑・回答・実技及びグループワークでの活動や発言、授業中の態度、実技時の服装・協力等）（50%）

〔フィードバック〕 不十分な部分についてはコメントを付して返却する

6. 教科書

適時プリント等を配布する。

7. 参考書

日本レクリエーション協会、レクリエーション支援の基礎、2018年

日本体力医学会体力科学編集委員会監訳、運動処方指針、運動負荷試験と運動プログラム、（原書第8版）南江堂、2011年

九州大学健康・スポーツ科学研究会編、実習で学ぶ健康・運動・スポーツの科学、改訂版第2刷、大修館書店、2017年

その他適宜紹介する。

回	授業日	授 業 担 当 者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	9/21 (木) 1限	町田	オリエンテーシ ョン ユニット 1 健康といのち [講義・演習]	1)健康であることの意味につ いて理解する。	(1) 自分の死生観について考える。 (2) 健康とウェルネスについて、理解 することができる。	自分の死生観につ いてまとめる。 (復習) (1時間)	認知 (問題解決) 態度 (受入)
2	9/28 (木) 1限	町田	ユニット 1 健康といのち [講義・演習]	1) 健康と生活習慣の関係につ いて理解する。	(1) 自分の生活習慣・健康度を知る。 ・運動基準、運動指針 ・エクササイズガイド	自分の生活習慣 についてまとめ る。 (予習 1時間)	認知 (想起)
3	10/5 (木) 1限	町田	ユニット 2 老化と運動 [講義・演習]	1) 運動と老化について理解す る。	(1) 高齢者の社会参加の有効性につ いて説明できる。 ・ロコモチェック ・フレイルチェック ・フレイルの予防 (2) 高齢者の健康について理解するこ とができる。	高齢者の心と身体 の健康の対応策を 考える。(宿題) (1時間)	認知 (解釈)
4	10/12 (木) 1限	町田	ユニット 3 自分を知る [講義・演習]	1) 自分のからだについて理解 する。	(1)自分のからだの動きや構造、身体 の癖について理解することができる。 ・姿勢・からだの使い方 ・リラクゼーション法	リラクゼーション 法をおこなう (復習1時間)	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
5	10/19 (木) 1限	町田	ユニット 3 自分を知る [講義・演習]	1) 自分の食生活について理 解する。	(1)自分の食生活について理解するこ とができる。 (2)食生活を改善する必要性を理解す ることができる。	日頃の自分の食生 活について調べて おく	認知 (問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
6	10/26 (木) 1限	町田	ユニット 4 レクリエーション 支援 [講義・演習]	1) レクリエーション支援の展 開と実際の方法について理解 する。 2) レクリエーション支援の具 体的なプロセスについて理解 する。	(1) レクリエーションの支援方法の概 要について説明することができる。 (2) レクリエーション支援の具体的 なプロセスを説明することができる。 (3) レクリエーションの実際 ・ニュースポーツの理解ができる ・ソフトバレーボール ①	「レクリエーシ ョンの支援方法・目 標」について調べ る。 (予習 1時間)	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
7	11/2 (木) 1限	町田	ユニット 4 レクリエーション 支援の実際 [講義・演習]	1)対象や目的に応じた支援方 法を理解する。	(1)対象や目的に応じたレクリエー ション支援について理解することが できる。 ・ソフトバレーボール ②	ニュースポーツに ついて調べる(宿 題) (予習 1時間)	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
8	11/9 (木) 1限	町田	ユニット 4 レクリエーション 支援の実際 [演習 (A・L)]	1)対象者に合わせた支援方法 を理解する。	(1)対象や目的に応じたレクリエー ション支援について理解することが できる。 ・ダブルダッチ	グループワークに ついて調べる(予 習 1時間)	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
9	11/16 (木) 1限	町田	ユニット 4 レクリエーション 支援の実際 [講義・演習]	1)多様なコミュニケーション 手法を理解する。	(1)言語によるコミュニケーションの 手法のポイントを述べることができ る。 ・バーバルコミュニケーション「伝 える」	言葉で伝えるため に重要なことにつ いて復習する (復習 1時間)	認知 (問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
10	11/30 (木) 1限	町田	ユニット 4 レクリエーション 支援の実際 [講義・演習]	1)多様なコミュニケーション 手法を理解する。	(1)多様性の理解について述べるこ とができる。 ・グループワークトレーニング 「思いを伝える」	様々な人の考え方 があることを振り 返り受け入れる (復習 1時間)	認知 (問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
11	12/7 (木) 1限	町田	ユニット 4 レクリエーション 支援の実際 [講義・演習]	1)多様なコミュニケーション 手法を理解する。	(1)言語、非言語によるコミュニケー ションの手法により、ホスピタリ ティを発揮することができる。 ・ネイチャーレクリエーション	ネイチャーレクリ エーションにつ いて調べる (予習 1時間)	認知 (問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
12	12/14 (木) 1限	町田	ユニット 4 レクリエーション 支援の実際 [講義・演習]	1)コミュニケーションを深め るためのグループワークの手 法を理解する。(チームビル ディング)	(1)個人とグループの関係について心 理社会的スキルを理解する。 ・卓球(グループ対抗戦)①	スポーツのルール を調べる (予習 1時間)	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
13	12/21 (木) 1限	町田	ユニット6 レクリエーション 支援の実際 [講義・演習]	1)コミュニケーションを深め るためのグループワークの手 法を理解する。(チームビル ディング)	(1)個人とグループの関係について心 理社会的スキルを理解する。 ・卓球(ダブルス等グループ対抗 戦)②	スポーツのルール を調べる。 (予習 1時間)	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習項目と 必要時間	教育目標 領域
14	1/11 (木) 1限	町田	ユニット7 身近な健康問題 [講義・演習]	1) 身近な健康づくりについて理解し、生活の中に取り入れる態度を養う。	身近な健康問題と運動の関係(喫煙・睡眠・女性の健康について)	今後の健康づくりの取り組みについて考える (復習 1時間)	認知 (問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)
15	1/18 (木) 1限	町田	ユニット7 まとめ [講義・演習]	1) 自己の健康管理や、周囲の他者とのコミュニケーションが健康なで安心な街づくりとなることを理解する。	(1) 健康づくりもしくは健康支援者としての在り方について理解する。	今後の健康づくりの取り組みについて考える (復習 1時間)	認知 (問題解決) 精神運動 (自動化) 情意 (反応)

解剖学

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 15コマ；30時間 2単位
 受験資格要件： 2/3（10コマ）以上の出席
 科目番号： DH011101
 評価責任者： 松尾 忠行
 授業担当者： 林 慶和

1. 一般目標

将来、歯科医療に携わる歯科衛生士となる学生として、基本的な医療、保健、福祉の知識を体系的に理解するために、これらの基礎となる人体の構造と機能を理解することで、豊かな教養と人間性を体得し、口腔保健活動における問題を発見、解決する主体性を身につけることを目標とする。また、この目標達成には学修を継続する重要性についても理解し、歯科衛生士としての基礎学力を修得する。

2. 教育方法

教科書を中心に配布資料、板書、パワーポイントを用いて講義する。

3. 教育教材

教科書、配布プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

指定教科書2冊と事前事後配布プリント等を必ず持参し、授業中は必要に応じノートをとる。また、復習に務める。本講義は1年後期の「口腔解剖学」等の理解に必要である。【単位修得に必要な授業外学修時間：15時間】

5. 評価方法

[形成的評価] 確認テスト

[フィードバック] 理解が不十分な場合、別日に再度確認を行う。

[総括的評価] 定期試験：記述試験（90%）、授業参加状況（授業態度含む）（10%）

[フィードバック] 試験結果、成績は試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1. 「歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」医歯薬出版 2023年
2. 「歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」医歯薬出版 2023年

7. 参考書

1. 「歯科衛生士国試対策集 2024年対応」 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2023年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	4/17 (月) 1限	林	ユニット1 解剖総論 [講義]	細胞-組織-器官-系統を知る。 人体の外形と部位の区分を知る。 人体の方向用語を知る。 解剖学用語を知る。	器官と系統について説明できる。 身体の部位を解剖学的な名称で表現できる。 身体の方向用語を正確に用いる事ができる。 解剖学用語を正確に使用することができる。	教科書：人体の構造と機能1：P1-10を熟読する。 1時間	認知 (想起)
2	4/24 (月) 1限	林	ユニット2 骨格系 [講義]	骨の形態分類を知る。 軟骨性・骨膜性の骨化を知る。 軟骨性の連結、線維性の連結、滑膜性の連結を知る。	骨の基本構造と連結様式を説明できる。	教科書：人体の構造と機能1：P46-55を熟読する。 1時間	認知 (想起)
3	5/1 (月) 1限	林	ユニット2 骨格系 [講義]	体幹骨を知る。 上肢骨・下肢骨を知る。	骨の基本構造と連結様式を説明できる。	教科書：人体の構造と機能1：P58-63を熟読する。 1時間	認知 (想起)
4	5/8 (月) 1限	林	ユニット2 骨格系 [講義]	頭蓋を構成する骨を知る。 頭蓋骨を構成する骨の形態を知る。 頭蓋骨に存在する表面形態を知る。 縫合を理解する。	頭頸部の基本的な構造と機能を説明できる。	教科書：歯・口腔の構造と機能：P11-P26を熟読する。 1時間	認知 (想起)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
5	5/15 (月) 1限	林	ユニット3 筋系 [講義]	筋の構造を知る。 筋の起始・停止を知る。 頭部の筋を知る。 頭部の筋を知る。	筋の種類と特徴を説明できる。 頭頸部の筋とその作用を説明できる。	教科書：人体の構造と機能1：P64-73を熟読する。 1時間	認知 (想起)
6	5/22 (月) 1限	林	ユニット3 筋系 [講義]	背部の筋を知る。 胸部の筋を知る。 腹部の筋を知る。	体幹の筋とその作用を説明できる。	教科書：人体の構造と機能1：P73-76を熟読する。 1時間	認知 (想起)
7	5/29 (月) 1限	林	ユニット3 筋系 [講義]	上肢・下肢の筋を知る。	上肢・下肢の筋とその作用を説明できる。	教科書：人体の構造と機能1：P76-80を熟読する。 1時間	認知 (想起)
8	6/5 (月) 1限	林	ユニット4 脈管系 [講義]	血管の構造について知る。 心臓の構造を知る。 全身の動・静脈を知る。	動脈、静脈および毛細血管の構造と役割を説明できる。 肺循環と体循環を説明できる。	教科書：人体の構造と機能1：P109-148を熟読する。 1時間	認知 (想起)
9	6/12 (月) 1限	林	ユニット4 脈管系 [講義]	リンパの循環とリンパ節の機能を説明できる。 胎児の循環を知る。	リンパの循環とリンパ節の機能を説明できる。 胎児の循環を説明できる。	教科書：人体の構造と機能1：P148-155を熟読する。 1時間	認知 (想起)
10	6/19 (月) 1限	林	ユニット5 神経系 [講義]	神経系の概要と構成を説明する。 神経系の基本構造を知る。 中枢神経系の構造を知る。	神経系の概略を説明できる。 脳と脊髄の基本構造と機能を概説できる。	教科書：人体の構造と機能1：P179-192を熟読する。 1時間	認知 (想起)
11	6/26 (月) 1限	林	ユニット5 神経系 [講義]	末梢神経系の分類を説明する。 脳神経の走行と分布を知る。 脊髄神経の走行と分布を知る。 自律神経の構造を知る。 脳脊髄膜を知る。 脳の血管の構成を知る。	末梢神経系の機能と分類を概説できる。 脳脊髄膜を概説できる。	教科書：人体の構造と機能1：P192-212を熟読する。 1時間	認知 (想起)
12	7/3 (月) 1限	林	ユニット5 神経系 [講義]	末梢神経系の分類を説明する。 脳神経の走行と分布を知る。 脊髄神経の走行と分布を知る。 自律神経の構造を知る。 脳脊髄膜を知る。 脳の血管の構成を知る。	末梢神経系の機能と分類を概説できる。 脳脊髄膜を概説できる。	教科書：人体の構造と機能1：P192-212を熟読する。 1時間	認知 (想起)
13	7/10 (月) 1限	林	ユニット6 感覚系 [講義]	皮膚の感覚装置の構造を知る。 視覚器、聴覚器、平衡覚器、嗅覚器の構造を知る。	皮膚の感覚受容器の構造を概説できる。 特殊感覚器の構造を概説できる。	教科書：人体の構造と機能1：P156-178を熟読する。 1時間	認知 (想起)
14	7/18 (火) 1限	林	ユニット6 内臓系 [講義]	消化器系に属する臓器とその構造を知る。 呼吸系に属する臓器とその構造を知る。	消化器系の構造と機能を概説できる。 呼吸器系の構造と機能を概説できる。	教科書：人体の構造と機能1：P84-108、213-233を熟読する。 0.5時間 1時間	認知 (想起)
15	7/24 (月) 1限	林	ユニット6 内臓系 [講義]	泌尿器系に属する臓器とその構造を知る。 内分泌系に属する臓器とその構造を知る。 生殖器系に属する臓器とその構造を知る。	泌尿器系の構造と機能を概説できる。 内分泌系の構造と機能を概説できる。 生殖器系の構造と機能を概説できる。	教科書：人体の構造と機能1：P234-268を熟読する。 1時間	認知 (想起)

口腔組織学

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 15コマ；30時間 2単位
 受験資格要件： 2/3（10コマ）以上の出席
 科目番号： DH011111
 評価責任者： 松尾 忠行
 授業担当者： 畠山 雄次 大谷 崇仁

1. 一般目標

将来、学生が歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な人体の構造とその発生を理解し、情報や知識を理論的に分析・考察するための科学的思考力を習得する。

2. 教育方法

教科書を中心に、配布資料、板書、パワーポイントを用いて講義する。

3. 教育教材

教科書、配布資料、PC+プロジェクター、歯牙模型

4. 学修方法

指定教科書2冊と配布資料等を持参し、講義内容およびメモを講義時間内にノートにまとめること。本講義は、今後3年生までに受講するすべての臨床科目、および「口腔解剖学」、「口腔病理学」等の理解に必要である。

【単位修得に必要な授業外学修時間：15時間】

5. 評価方法

[形成的評価] ミニテスト

[フィードバック] 理解が不十分な場合、別日のミニテストで再度確認を行う。

[総括的評価] 定期試験：記述試験（100%）

[フィードバック] 試験終了後、結果を各受験者に通知する。また、理解度確認資料を用いた学習指導等を行う。

6. 教科書

1. 「歯科衛生学シリーズ歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 医歯薬出版 2023年
2. 「歯科衛生学シリーズ人体の構造と機能1 解剖学・組織発生学・生理学」 医歯薬出版 2023年

7. 参考書

1. 「歯科衛生士国試対策集2024年対応」 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2023年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (G10)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	4/12 (水) 4限	畠山	ユニット1 歯の解剖学総論 [講義]	1) 歯の定義と歯の解剖学用語を理解する。	1) 歯の定義を説明できる。 2) 歯の形態分類と歯種を説明できる。 3) 歯の記号を説明できる。 4) 歯の方向用語を説明する。 5) Mühldreiter の三徴を説明できる。	教科書2のP72-P82をまとめる。 1時間	認知 (想起)
2	4/19 (水) 4限	畠山	ユニット2 永久歯前歯 [講義]	1) 上・下顎切歯を理解する。	1) 上・下顎切歯の形態および特徴を説明できる。	教科書2のP83-88をまとめる。 1時間	認知 (想起)
3	4/26 (水) 4限	畠山	ユニット2 永久歯前歯 [講義]	1) 上・下顎犬歯を理解する。	1) 上・下顎犬歯の形態および特徴を説明できる。	教科書2のP88-91をまとめる。 1時間	認知 (想起)
4	5/10 (水) 4限	畠山	ユニット3 永久歯小臼歯 [講義]	1) 上顎第一・第二小臼歯を理解する。 2) 下顎第一・第二小臼歯を理解する。	1) 上顎第一・第二小臼歯の特徴を説明できる。 2) 下顎第一・第二小臼歯の特徴を説明できる。 固有咬合面を説明できる。	教科書2のP91-99をまとめる。 1時間	認知 (想起)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
5	5/17 (水) 4限	畠山	ユニット 4 永久歯大臼歯 [講義]	1) 上顎第一・第二大臼歯を理解する。 2) 下顎第一・第二大臼歯を理解する。	1) 上顎第一・第二大臼歯の特徴を説明できる。 2) 下顎第一・第二大臼歯の特徴を説明できる。 3) 大臼歯間の形態変化を説明できる。	教科書 2 の P99-109 をまとめる。 1時間	認知 (想起)
6	5/24 (水) 4限	畠山	ユニット 5 乳歯 [講義]	1) 乳歯の特徴を理解する。	1) 乳歯と永久歯を比較説明できる。 2) 乳歯に共通の形態的特徴を説明できる。 3) 乳前歯、乳臼歯の形態的特徴を説明できる。	教科書 2 の P110-121 をまとめる。 1時間	認知 (想起)
7	5/31 (水) 4限	畠山	ユニット 6 特色ある歯の形態 [講義]	1) 歯の異常について理解する。	1) 歯の異常について説明できる。	教科書 2 の P122-128 をまとめる。 1時間	認知 (想起)
8	6/7 (水) 4限	畠山	ユニット 7 歯群、咬合 [講義]	1) 歯列と咬合について理解する。	1) 歯列弓について説明できる。 2) 咬合について説明できる。	教科書 2 の P128-134 をまとめる。 1時間	認知 (想起)
9	6/14 (水) 4限	大谷	ユニット 8 歯と歯周組織 [講義]	1) エナメル質の組織構造について理解する。	1) エナメル質の物理的、化学的性質を説明できる。 2) エナメル質にみられる特徴的な構造を説明できる。 3) エナメル質の成長線を説明できる。	教科書 2 の P135-142 をまとめる。 1時間	認知 (想起)
10	6/21 (水) 4限	大谷	ユニット 8 歯と歯周組織 [講義]	1) 象牙質・歯髄の組織構造について理解する。	1) 象牙質の物理的、化学的性質を説明できる。 2) 象牙質にみられる特徴的な構造を説明できる。 3) 歯髄の組織構造を説明できる。 4) 象牙質・歯髄の加齢変化を説明できる。	教科書 2 の P143-152 をまとめる。 1時間	認知 (想起)
11	6/28 (水) 4限	大谷	ユニット 8 歯と歯周組織 [講義]	1) セメント質の組織構造について理解する。 2) 歯根膜の組織構造について理解する。	1) セメント質を分類することができる。 2) セメント質の構造を説明できる。 3) 歯根膜主線維、脈管神経隙およびマラッセの上皮遺残を説明することができる。	教科書 2 の P153-160 をまとめる。 1時間	認知 (想起)
12	7/5 (水) 4限	大谷	ユニット 8 歯と歯周組織 [講義]	1) 歯槽骨の組織構造について理解する。 2) 歯肉の組織構造について理解する。	1) 束状骨、層板骨、シャープリー線維を説明できる。 2) 歯肉上皮 (外縁上皮、内縁上皮) および歯肉の構造を説明できる。	教科書 2 の P161-167 をまとめる。 1時間	認知 (想起)
13	7/12 (水) 4限	大谷	ユニット 9 頭頸部の発生 [講義]	1) 受精と着床を理解する。 2) 胚葉の形成について理解する。 3) 胚子期および胎児期を理解する。	1) 受精から着床までを説明できる。 2) 二層性胚盤および三層性胚盤を説明できる。 3) 三胚葉に由来する構造をそれぞれ説明できる。	教科書 1 の P31-44 をまとめる。 1時間	認知 (想起)
14	7/19 (水) 4限	大谷	ユニット 9 頭頸部の発生 [講義]	1) 鰓弓を理解する。 2) 頭頸部の発生について理解する。	1) 鰓弓、鰓溝、咽頭嚢とそこから発生する器官を説明できる。 2) 舌の形成を説明できる。 3) 唾液腺、甲状腺の発生を説明できる。	教科書 2 の P170-171, P176-179 をまとめる。 1時間	認知 (想起)
15	7/26 (水) 4限	大谷	ユニット 9 頭頸部の発生 [講義]	1) 顔面と口唇の形成を理解する。 2) 口蓋と鼻腔の形成を理解する。	1) 顔面と口唇の形成を説明できる。 2) 口蓋と鼻腔の形成を説明できる。 3) 顔面・口腔の発生と奇形を関連づけて説明できる。	教科書 2 の P173-176 をまとめる。 1時間	認知 (想起)

口腔解剖学

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011112
 評価責任者： 松尾 忠行
 授業担当者： 大谷 崇仁、林 慶和

1. 一般目標

将来、学生が歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な人体の構造と機能を理解し、情報や知識を理論的に分析・考察するための科学的思考力を習得する。現在の口腔医学だけでなく、未来の新たな医療技術の理解の基盤となる思考力・判断力を養うことを目標とする。

2. 教育方法

教科書を中心に配布資料、板書、パワーポイントを用いて講義する。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

指定教科書 2 冊と事前事後配布プリント等を必ず持参し、授業中は必要に応じノートをとる。また、予習復習に務める。

【単位修得に必要な授業外学修時間：15 時間】

5. 評価方法

[形成的評価] 確認テスト

[フィードバック] 理解が不十分な場合、別日に再度確認を行う。

[総括的評価] 定期試験：記述試験 (90%)、授業参加状況 (授業態度含む) (10%)

[フィードバック] 試験結果、成績は試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1. 「歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」医歯薬出版 2023 年
2. 「歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学」医歯薬出版 2023 年

7. 参考書

1. 「歯科衛生士国試対策集 2024 年対応」 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2023 年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	9/25 (月) 3 限	大谷	ユニット7 細胞・組織・ 器官 [講義]	1) 上皮組織について理解する。	(1) 上皮を形態的および機能的に分類することができる。 (2) 腺の構造について説明できる。	教科書 1 の P21-26 1 時間	認知 (想起)
2	10/2 (月) 3 限	大谷	ユニット7 細胞・組織・器 官 [講義]	1) 支持組織について理解する。	(1) 結合組織について説明できる。 (2) 血液・リンパについて説明できる。	教科書 1 の P26-28, 29-30 1 時間	認知 (想起)
3	10/16 (月) 3 限	大谷	ユニット7 細胞・組織・器 官 [講義]	1) 支持組織について理解する。	(3) 軟骨組織について説明できる。 (4) 骨組織について説明できる。	教科書 1 の P28-30 1 時間	認知 (想起)
4	10/23 (月) 3 限	大谷	ユニット7 細胞・組織・器 官 [講義]	1) 筋組織について理解する。	(1) 骨格筋、内臓筋の構造について説明できる。	教科書 1 の P64-65 をまとめる。 1 時間	認知 (想起)
5	10/30 (月) 3 限	大谷	ユニット7 細胞・組織・器 官 [講義]	1) 神経組織について理解する。	(1) 神経組織の構造と構成する細胞の種類を述べることができる。	教科書 1 の P180-182 をまとめる。 1 時間	認知 (想起)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
6	11/6 (月) 3限	大谷	ユニット6 歯と歯周組織 の発生 [講義]	1) 歯の発生について理解する。	(1) 歯堤、唇溝底、蕾状期歯胚、帽状期歯胚、鐘状期歯胚を説明できる。 (2) エナメル器、歯乳頭を説明できる。 (3) エナメル質の形成、象牙質の形成、歯髓の形成について説明できる。	教科書2のP180-184をまとめる。 1時間	認知 (問題解決)
7	11/13 (月) 3限	大谷	ユニット6 歯と歯周組織 の発生 [講義]	1) 歯周組織の発生について理解する。	(1) 歯小囊、ヘルトヴィッヒ上皮鞘、マラッセの上皮遺残を説明できる。 (2) 歯根膜およびセメント質の形成を説明できる。	教科書2のP184をまとめる。 1時間	認知 (問題解決)
8	11/20 (月) 3限	林	ユニット1 解剖学各論骨 学各論 [講義]	口腔を構成する骨を理解する。 上顎骨を理解する。 下顎骨を理解する。 舌骨を理解する。	口腔を構成する骨を説明できる。 上顎骨を説明できる。 下顎骨を説明できる。 舌骨を説明できる。	教科書2のP11-26を熟読する。 1時間	認知 (問題解決)
9	11/27 (月) 3限	林	ユニット2 解剖学各論筋 学各論 [講義]	頭頸部の筋と作用を理解する。 表情筋を理解する。 咀嚼筋を理解する。 頸部の筋を理解する。 顎関節を理解する。	頭頸部の筋と作用を説明できる。 表情筋を説明できる。 咀嚼筋を説明できる。 頸部の筋を説明できる。 顎関節を説明できる。	教科書2のP26-37を熟読する。 1時間	認知 (問題解決)
10	12/4 (月) 3限	林	ユニット3 解剖学各論脈 管学各論 [講義]	頭頸部の脈管を理解する。 総頸動脈の走行を理解する。 外頸動脈の走行と枝を理解する。 顎動脈の走行と枝を理解する。	頭頸部の脈管を説明できる。 総頸動脈の走行を説明できる。 外頸動脈の走行と枝を説明できる。 顎動脈の走行と枝を説明できる。	教科書2のP38-44を熟読する。 1時間	認知 (問題解決)
11	12/11 (月) 3限	林	ユニット3 解剖学各論脈 管学各論 [講 義]	頭頸部の動脈と静脈の違いを理解する。 頭頸部の主な静脈を理解する。 頭頸部のリンパ節を理解する。	頭頸部の動脈と静脈の違いを説明できる。 頭頸部の主な静脈を説明できる。 頭頸部のリンパ節を説明できる。	教科書2のP44-49を熟読する。 1時間	認知 (問題解決)
12	12/18 (月) 3限	林	ユニット4 解剖学各論 神経系各論 [講義]	三叉神経を理解する。 顔面神経を理解する。	三叉神経の走行と分布を説明できる。 顔面神経の走行と分布を説明できる。	教科書2のP49-55を熟読する。 1時間	認知 (問題解決)
13	1/11 (木) 4限	林	ユニット4 解剖学各論 神経系各論 [講義]	舌咽神経を理解する。 迷走神経を理解する。 舌下神経を理解する。	舌咽神経の走行と分布を説明できる。 迷走神経の走行と分布を説明できる。 舌下神経の走行と分布を説明できる。	教科書2のP56-59を熟読する。 1時間	認知 (問題解決)
14	1/15 (月) 3限	林	ユニット4 解剖学各論 神経系各論 [講義]	頭頸部に分布する脊髄神経を理解する。 頭頸部に分布する交感・副交感神経を理解する。 神経節を理解する。	頭頸部に分布する脊髄神経を説明できる。 頭頸部に分布する交感・副交感神経を説明できる。 神経節を説明できる。	教科書2のP59-61を熟読する。 1時間	認知 (問題解決)
15	1/22 (月) 3限	林	ユニット5 解剖学各論 内臓学各論 消化器系 [講義]	口腔の基本構造と機能について理解する。	口腔について説明できる。 口腔の区分を説明できる。 舌の構造と機能を説明できる。 唾液腺の位置と構造を説明できる。	教科書2のP62-71を熟読する。 1時間	認知 (問題解決)

口腔生理学

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 15 コマ ; 30 時間 2 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011113
 評価責任者： 松尾 忠行
 授業担当者： 鍛冶屋 浩、進 正史

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として必要な、正常な咀嚼、嚥下機能の形成及び維持を目標とする歯科臨床の基礎知識を養うことを目的とする。また、歯科臨床の場において、必要な思考力や判断力を養うために、口腔・顎顔面領域の構造を咀嚼や嚥下の器官系としてとらえ、それらの機能と機能調節機序について修得する。

2. 教育方法

板書と配布資料及びスライドプロジェクターによる示説を併用した講義

3. 教育教材

教科書、プリント資料、スライド、PC、プロジェクター

4. 学修方法

指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。授業は予習していることを前提に行うので、授業前に教科書に目を通し、初めて見る専門用語や語句にマーカーや付箋で印を付ける。授業後は配布資料、教科書をもとに講義の概要を要約し、理解が不十分な部分を教科書や参考書で自習すると共に教員への質疑を通じて補完する。本講義を理解するためには、生物学、解剖学などの知識が必要であり、歯科麻酔学、歯科補綴学、口腔外科学等を理解する上で不可欠である。
 【単位修得に必要な授業外学修時間：15 時間】

5. 評価方法

[総括的評価] 記述試験 (定期試験：100%)

[フィードバック] 試験結果は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

1. 「歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能 1 解剖学・組織発生学・生理学」 医歯薬出版 2023 年
2. 「歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の構造と機能 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 医歯薬出版 2023 年

7. 参考書

1. 「イラストでわかる歯科医学の基礎」 永末書店 改訂第 3 版 2016
2. 「歯科衛生士のための歯科用語辞典 (基礎編)」 クインテッセンス出版
3. 「歯科衛生士国試対策集 2024 年対応」 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2023 年

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	4/13 (木) 3 限	鍛冶屋	オリエンテーション ユニット 1 細胞 [講義]	細胞の構造と機能を理解する。 細胞内器官と機能を理解する。	(1) 細胞の機能と恒常性について述べる。 (2) 細胞内小器官の構造と機能について述べる。 (3) 遺伝子の構造と機能について述べる。 (4) 細胞膜による物質の出入と電位発生について述べる。	教科書 1. の P12-20 を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習 1 時間	認知 (想起)
2	4/20 (木) 3 限	鍛冶屋	ユニット 2 血液 [講義]	血球の種類と機能を理解する。また、血漿の成分と機能を理解する。	(1) 血液の成分を分類し各々の機能を説明する。 (2) ヘモグロビンの構造と機能及び代謝について説明する。 (3) 止血に関わる因子と機序を説明する。 (4) ABO 式と Rh 式血液型の判定方法を説明する。	教科書 1. の P115-122 を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習 1 時間	認知 (解釈)
3	4/27 (木) 3 限	鍛冶屋	ユニット 3 循環 [講義]	心臓の機能と調節機序について理解する。	(1) 心筋と骨格筋の収縮特性について述べる。 (2) 体循環と肺循環の経路について述べる。 (3) 心電図の誘導原理を理解し、心臓の興奮と心電図を関係について述べる。 (4) 血圧とその調節機序について述べる。	教科書 1. の P129-140 を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習 1 時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
4	5/11 (木) 3限	鍛冶屋	ユニット 4 呼吸 [講義]	肺の機能と調節機序について理解する。	(1) 呼吸器の構造と呼吸連の様式について説明する。 (2) 内呼吸と外呼吸を説明する。 (3) ヘモグロビンの酸素解離曲線について説明する。 (4) 肺気量の区分とそれら病的変動について説明する。	教科書1. のP220-233を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習1時間	認知 (解釈)
5	5/18 (木) 4限	鍛冶屋	ユニット 5 神経 [講義]	神経における興奮の伝導と伝達機序を理解する。	(1) 中枢神経と末梢神経を説明する。 (2) 興奮伝導速度と神経線維の関係を説明する。 (3) シナプス伝達の特徴を説明する。 (4) 体性神経と自律神経を説明する。	教科書1. のP179-192を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習1時間	認知 (解釈)
6	5/25 (木) 3限	鍛冶屋	ユニット 6 筋 [講義]	骨格筋の構造と収縮機序を理解する。	(1) 骨格筋の構造を述べる。 (2) 興奮-収縮連関の機序を述べる。 (3) 筋収縮エネルギーの供給について述べる。 (4) 等張性収縮と等尺性収縮の違いを述べる。	教科書1. のP60-64、P64-70を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習1時間	認知 (想起)
7	6/1 (木) 3限	鍛冶屋	ユニット 7 消化吸収と排泄 [講義]	消化吸収の調節機序について理解する。	(1) 消化管の構成を説明する。 (2) 消化液の組成と機能を説明する。 (3) 腎臓の構成単位と尿の生成機序を説明する。 (4) 水分代謝における腎の役割と体液量の調節機序を説明する。	教科書1. のP85-86、P84-108、及びP206-217を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習1時間	認知 (解釈)
8	6/8 (木) 3限	鍛冶屋	ユニット 8 内分泌と体温 [講義]	1) 内分泌器官とホルモンの性質を理解する。 2) 体熱の産生と放熱機序及び体温の調節の機序を理解する。	(1) 内分泌と外分泌の違いを述べる。 (2) 内分泌器官を列挙し、分泌されるホルモンを述べる。 (3) 血中Ca調節ホルモンの分泌調節と作用を述べる。 (4) 体温調節中枢を挙げ、産熱と放熱の機序を述べる。	教科書1. のP246-258、P269-278を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習1時間	認知 (想起)
9	6/15 (木) 3限	鍛冶屋	ユニット 9 感覚 [講義]	体性感覚および特殊感覚の種類と性質を理解する。	(1) 体性感覚を分類し、特徴を述べる。 (2) 視覚の受容機序及び伝導路を述べる。 (3) 感覚受容器の種類と受容器電位とインパルスの発生機序を述べる。 (4) 感覚の閾値と順応について述べる。	教科書1. のP156-178を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習1時間	認知 (想起)
10	6/22 (木) 3限	進	ユニット10 歯と歯周組織 [講義]	口腔、顎顔面及び歯の構造と感覚の特徴について理解する。	(1) 歯の構造と特徴について説明する。 (2) 口腔粘膜の構造と特徴について説明する。 (3) 顎関節の構造と特徴について説明する。 (4) 歯周組織の特徴について説明する。	教科書2. のP135-167を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習1時間	認知 (解釈)
11	6/29 (木) 3限	進	ユニット11 咬合と咀嚼 [講義]	咀嚼運動の意義とメカニズムを理解する。	(1) 咀嚼筋による顎運動について説明する。 (2) 下顎張反射、閉口反射、歯根膜咀嚼筋反射の反射弓を説明する。 (3) 顎運動の神経機構について説明する。 (4) 下顎の運動と下顎位について説明する。	教科書2. のP213-232を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習1時間	認知 (解釈)
12	7/6 (木) 3限	進	ユニット12 嚥下と嘔吐 [講義]	嚥下と嘔吐運動の特徴と神経機構を理解する。	(1) 嚥下運動と食塊の動きについて述べる。 (2) 嚥下運動の特徴と機序について述べる。 (3) 嘔吐の誘発原因について述べる。 (4) 嘔吐の特徴と機序について述べる。	教科書2. のP233-247を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習1時間	認知 (想起)
13	7/13 (木) 4限	進	ユニット13 唾液分泌 [講義]	唾液腺の種類と構造について理解する。	(1) 唾液腺の種類を列記し、各々の特徴を説明する。 (2) 唾液腺の神経支配について説明する。 (3) 自律神経による唾液分泌調節について説明する。 (4) 唾液の含有成分と各々の機能を説明する。	教科書2. のP260-270を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習1時間	認知 (解釈)
14	7/20 (木) 3限	進	ユニット14 歯と口腔感覚 [講義]	口腔、顎顔面及び歯の感覚の特徴について理解する。	(1) 歯髄、象牙質及び歯根膜の感覚の特徴について説明する。 (2) 口腔粘膜の感覚の特徴について説明する。 (3) 歯痛の原因と発生機序を説明する。 (4) 関連痛の特徴を述べ、その発生機序を説明する。	教科書2. のP192-199を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習1時間	認知 (解釈)
15	7/27 (木) 3限	進	ユニット15 味覚と嗅覚 [講義]	1) 味覚の種類と味覚受容機序及び味覚障害について理解する。 2) 嗅覚の特徴と受容機序を理解する。	(1) 四基本味と味覚受容機序を述べる。 (2) 味覚情報の伝達経路を述べる。 (3) 味覚障害の種類と原因について述べる。 (4) 嗅細胞によるにおいの受容機序を述べる。	教科書2. のP200-212を精読する 配付資料の記入部位の再確認と練習問題の復習を行う 復習1時間	認知 (想起)

口腔生化学

開講時期： 1年次後期
 授業時間数： 15コマ；30時間2単位
 受験資格要件： 2/3（10コマ）以上の出席
 科目番号： DH011114
 評価責任者： 松尾 忠行
 授業担当者： 石橋 一成

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理学を履修するために必要な基礎科学の一つとしての口腔生化学を修得する。生命現象を化学的・分子的レベルで理解すると共に、生体を構成する物質や栄養素の代謝を理解する。さらに、歯と口に関して歯周組織、歯、唾液、プラークを理解し、プラークのう蝕、歯周疾患との関係を考察する。

2. 教育方法

講義、教科書、スライドを用いる。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席になる。授業には、指定教科書等を必ず持参すること。授業は予習していることを前提に開始する。授業中は当日配布したプリントを熟読し、ノートを取ること。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。本授業を理解するうえで、生物学、化学等の知識が必要であり、本授業は全身疾患の病態・生理の理解に不可欠である。 **【単位修得に必要な授業外学修時間：60時間】**

5. 評価

[総括的評価]：定期試験（95%）、授業参加状況（予習・復習等の実施状況）（5%）

[フィードバック]：試験結果は、試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1 「歯科衛生学シリーズ 人体の構造と機能2 栄養と代謝」 医歯薬出版 2023年

7. 参考書

1 「スタンダード口腔生化学」 大塚吉兵衛 他編集、医歯薬出版 2008年

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習 項目と必要 時間	教育 目標 領域
1	9/25 (月) 4限	石橋	オリエンテーショ ン ユニット1 生体の構成要素 [講義]	1) 細胞の役割について理解する。 2) 生体構成物質と栄養素について理解する。	(1) 生体を構成する物質や栄養素の種類と代謝について説明することができる。 (2) 生命現象の化学、細胞の構造、情報伝達、細胞の分化について説明することができる。 (3) 生体反応に不可欠な水とその化学について説明することができる。	教科書の P6-21を精読 する (4時間)	認知 (想起)
2	10/2 (月) 4限	石橋	ユニット2 生体の化学反応 [講義]	1) 消化と吸収について理解する。 2) 酵素の性質・働き	(1) 栄養素の消化吸収について説明することができる。 (2) 栄養素の消化吸収酵素の運搬代謝と ATP、酵素の役割について説明することができる。	教科書の P23-27を精 読する (4時間)	認知 (想起)
3	10/16 (月) 4限	石橋	ユニット3 三大栄養素の代謝 (1) [講義]	1) 糖質の代謝とエネルギーについて理解する。	(1) 糖質代謝の経路とエネルギー産生について説明することができる。 (2) 糖質の代謝とエネルギー、解糖系について説明することができる。	教科書の P29-35を精 読する (4時間)	認知 (想起)
4	10/23 (月) 4限	石橋	ユニット3 三大栄養素の代謝 (1) [講義]	1) 糖質の代謝とエネルギー代謝について理解する。	(1) 糖質代謝の経路とエネルギー産生について説明することができる。 (2) クエン酸回路、電子伝達系、エネルギー代謝の全体像について説明することができる。	教科書の P290-35を精 読する (4時間)	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 [授業方法]	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と必要 時間	教育 目標 領域
5	10/30 (月) 4限	石橋	ユニット3 三大栄養素の代謝 (2) [講義]	1) 脂質の代謝とエネルギー代謝について理解する。	(1) 脂質が加水分解され、脂肪酸がβ酸化によってエネルギーを供給することを説明することができる。 (2) 脂質の分解、脂肪酸のβ酸化、脂肪の合成について説明することができる。	教科書のP36-37を精読する (4時間)	認知 (想起)
6	11/6 (月) 4限	石橋	ユニット4 核 酸 [講義]	1) DNA と遺伝子について理解する。 2) 複製、修復、組換えについて理解する。 3) 核酸の代謝について理解する。	(1) 核酸の構造と代謝について述べることができる。 (2) DNA と RNA の働きについて述べることができる。 (3) DNA の複製、修復、組換えについて説明することができる。	教科書のP40-41を精読する (4時間)	認知 (想起)
7	11/13 (月) 4限	石橋	ユニット4 核 酸 [講義]	1) mRNA の転写、タンパク質の翻訳について理解する。 2) タンパク質の生合成と分解について理解する。	(1) mRNA の生合成、タンパク質の生合成過程について述べることができる。 (2) タンパク質の分解、アミノ酸の分解、尿素回路について説明することができる。	教科書のP38-41を精読する (4時間)	認知 (想起)
8	11/20 (月) 4限	石橋	ユニット5 歯と歯周組織の生化学(1) [講義]	1) 結合組織について理解する。	(1) 口腔組織を作っている結合組織の主成分の化学的性質と生理機能を具体的に述べることができる。 (2) 組成と機能、線維状タンパク質、プロテオグリカン、コラーゲン、細胞外マトリックスについて説明することができる。	教科書のP50-56を精読する (4時間)	認知 (想起)
9	11/21 (火) 4限	石橋	ユニット5 歯と歯周組織の生化学(2) [講義]	2) 歯の組成と構造について理解する。	(1) 歯の組成とその無機成分と石灰化に関する有機成分について説明することができる。 (2) 歯の組成、歯の無機成分、有機成分と石灰化について説明することができる。	教科書のP57-61を精読する (4時間)	認知 (想起)
10	11/27 (月) 4限	石橋	ユニット6 硬組織の生化学(1) [講義]	1) 石灰化の仕組みについて理解する。	(1) 骨と歯の石灰化の特徴を比較することができる。 (2) 血清中のカルシウムとリン酸、コラーゲン性石灰化、歯と骨の石灰化について説明することができる。	教科書のP65-69を精読する (4時間)	認知 (想起)
11	12/4 (月) 4限	石橋	ユニット6 硬組織の生化学(2) [講義]	2) 骨の生成と吸収、歯の脱灰について理解する。	(1) 血清中のカルシウムとリン酸代謝に関するホルモンの働きについて述べることができる。 (2) 骨芽細胞、破骨細胞、血清カルシウムの調節、歯の脱灰と再石灰化について説明することができる。	教科書の70-76を精読する (4時間)	認知 (想起)
12	12/11 (月) 4限	石橋	ユニット7 唾液の生化学 [講義]	1) 唾液の組成と機能について理解する。	(1) 唾液の組成と作用、成分の役割、唾液分泌と全身との関係を説明することができる。 (2) 唾液の働き、唾液の組成、無機質と有機質、抗菌物質、口腔乾燥、全身的疾患との関係について説明することができる。	教科書のP81-88を精読する (4時間)	認知 (想起)
13	12/18 (月) 4限	石橋	ユニット7 歯の堆積物 [講義]	1) 歯の堆積物、バリクル、ブラーク、歯石について理解する。	(1) 歯の堆積物(バリクル、ブラーク、歯石)の組成と作用、成分の役割、唾液分泌と全身との関係を説明することができる。	教科書のP81-93を精読する (4時間)	認知 (想起)
14	1/15 (月) 4限	石橋	ユニット8 ブラークの生化学(1) [講義]	1) ブラークの生物活性とう蝕について理解する。	(1) ブラークの種類、形成、酸生成の仕組みについて説明することができる。 (2) 種類、形成、糖からの酸産生、う蝕発症と多因子性疾患について説明することができる。	教科書のP94-101を精読する (4時間)	認知 (想起)
15	1/22 (月) 4限	石橋	ユニット8 ブラークの生化学(2) [講義]	2) 口臭と歯周疾患について理解する。	(1) ブラークと口腔疾患との関連性を学び、ブラークコントロールの重要性を判断することができる。 (2) 口臭と歯周疾患の発症機構、細菌活性、炎症反応、リポ多糖について説明することができる。	教科書のP104-111を精読する (4時間)	認知 (想起)

口腔病理学

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 15 コマ;30 時間 2 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011121
 評価責任者： 松尾 忠行
 授業担当者： 岡村 和彦、吉本 尚平

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な口腔疾患を含む全身的疾患に広く共通する基礎医学とくに疾病の原因、発生機構、経過および転帰などを病理学総論（I 編）で理論的に理解する。さらに、口腔病理学（II 編）では、病理学総論に基づいて口腔領域の疾患について病理学総論的な理解および病理組織所見などを理論的に理解し、臨床歯科医学における診断、治療、予防との関わりを知る。

2. 教育方法

講義を行う。

3. 教育教材

教科書、配布プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：60時間】

5. 評価

定期試験：記述試験（90%）

平常評価：授業態度（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等）（10%）

試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日および必要な時期に説明する。

6. 教科書

「歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進1 病理学・口腔病理学」 医歯薬出版 2023年

7. 参考書

『新・歯科衛生士教育マニュアル 病理学』クインテッセンス出版株式会社 田中昭男 他編集 2011年 第1版

『新口腔病理学』医歯薬出版 下野正基、高田隆 他 編集 2018年 第2版

『病理・口腔病理学サイドリーダー』学建書院出版 草間 薫、大野 純 編集 2007年 第2版

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/21 (木) 2限	岡村	ユニット 1 I 編 1章 病理学序 論と病因論 2章 遺伝性疾 患と奇形 講義	1) 疾患の内因、外 因、遺伝、遺伝性 疾患、奇形を理解 する。	(1) 生理的素因、個人的素因、遺伝的素因、内分泌異常の概 念と内容を述べるができる。 (2) 物理学的因子、化学的因子、生物学的因子、栄養障害、 環境汚染、医原病、機械的因子、温度的因子、気圧的因 子、電氣的因子、放射線因子などについて述べることがで きる。 (3) 先天異常、遺伝病、染色体異常、奇形の発生と病因につ いて述べることができる。	教科書 1. のP2-13を精 読する 4時間	認知 (想起)
2	9/28 (木) 2限	岡村	ユニット 2 3章 循環障害 4章 代謝障害 と退行性病変 講義	1) 循環障害につい て理解する。 2) 細胞傷害(変性 と物質代謝障 害、萎縮、細胞 死)について理 解する。	(1) 循環血液量の異常(虚血、充血とうっ血、出血、浮腫 (水腫)、ショック)、閉塞性の循環障害(血栓症、塞栓 症と梗塞、動脈硬化症)、側副循環(傍側循環)について 述べるができる。 (2) 細胞傷害因子、細胞傷害の程度、細胞内小器官の異常、 タンパク質の変性と代謝障害(タンパク質変性、タンパク 質代謝障害)、脂肪の変性と代謝障害、糖質の変性と代謝 障害、石灰変性とカルシウム代謝障害、結晶性変性と核酸 代謝障害について述べるができる。 (3) 壊死(凝固壊死、融解壊死、壊死組織の転帰)、アポト ーシスについて述べるができる。	教科書 1. のP14-33を 精読する 4時間	認知 (想起)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	10/5 (木) 2限	吉本	ユニット3 5章 増殖と 修復 講義	1) 肥大と増生 (過形成)、化生、再生と修復、創傷治癒、異物処理について理解する。	(1) 生理的肥大、病的肥大、特発性肥大について述べるができる。 (2) 上皮の化生 (扁平上皮化生、腸上皮化生)、間葉組織の化生、細胞の増殖と分化 (不安定細胞 (動的細胞)、安定細胞 (静止細胞)、永久細胞 (非分裂細胞)) について述べるができる。 (3) 肉芽組織、創傷の治癒形式 (一時治癒、二次治癒)、吸収と排除、器質化、被包について述べるができる。	教科書1. のP34-42を 精読する 4時間	認知 (想起)
4	10/12 (木) 2限	吉本	ユニット4 6章 炎症と免疫 応答異常 講義	1) 炎症について理解する。	(1) 炎症とは、炎症の原因、炎症に関与する細胞とケミカルメディエーター (炎症に関与する細胞、ケミカルメディエーター)、炎症の経過 (変性・壊死 (退行性変化)、循環障害と滲出、増殖性病変 (進行性変化))、炎症の転帰、 (2) 炎症の分類 (部位による分類、経過時間 (時期) による分類、組織変化による分類)、炎症の臨床症状、感染症について述べるができる。	教科書1. のP43-52を 精読する 4時間	認知 (想起)
5	10/19 (木) 2限	吉本	ユニット4 6章 炎症と免疫 応答異常 講義	2) 免疫応答異常について理解する。	(3) 免疫応答 (免疫応答とは、免疫応答のメカニズム)、アレルギー (I型 (即時型、アナフィラクシー型) アレルギー、II型 (細胞傷害型) アレルギー、III型 (免疫複合体型) アレルギー、IV型 (遅延型、ツベルクリン型) アレルギー) について述べるができる。 (4) 自己免疫疾患、免疫不全症、移植免疫 (移植 (片) 拒絶反応、移植片対宿主反応) について述べるができる。	教科書1. のP52-59を 精読する 4時間	認知 (想起)
6	10/26 (木) 2限	岡村	ユニット5 II編 口腔病理学 7章 口腔領域の 嚢胞と腫瘍 I編 病理学 7章 腫瘍 講義	1) 口腔領域の嚢胞について理解する。 2) 腫瘍の発生、腫瘍の種類と性質、腫瘍の診断について理解する。	(1) 歯原性嚢胞 (含歯性嚢胞、歯根嚢胞、萌出嚢胞、幼児の歯肉嚢胞)、顎骨の非歯原性嚢胞 (鼻口蓋管 (切歯間) 嚢胞、術後性上顎嚢胞)、軟組織の非歯原性嚢胞について述べるができる。 (2) 腫瘍の定義、腫瘍の発生機序と原因 (腫瘍の発生機序、腫瘍の原因、腫瘍の組織と形態) について述べるができる。 (3) 発生母組織と腫瘍の各型、悪性度による分類、前がん病変、画像・内視鏡検査、細胞診と生検による病理組織診断、について述べるができる。	教科書1. の P133-137を 精読する P60-68を精 読する 4時間	認知 (想起)
7	11/2 (木) 2限	吉本	ユニット6 II編 口腔病理学 1章 歯の発育 異常 2章 歯の損傷 と着色・付着 物 講義	1) 歯の大きさの異常、歯数の異常、歯の形の異常、歯の構造の異常 (形成不全)、歯の萌出時期の異常、歯の位置の異常、咬合の異常について理解する。 2) 物理的損傷、化学的損傷、歯の着色、プラークと歯石について理解する。	(1) 矮小歯、巨大歯、歯の先天性欠如 (無歯症)、過剰歯、双生歯、癒合歯 (融合歯)、癒着歯、陥入歯 (歯内歯、重積歯)、エナメル滴、その他の歯の異常について述べることができる。 (2) 局所的な原因による歯の異常 (外傷によるもの、炎症によるもの、放射線障害によるもの)、全身的な原因による歯の異常 (栄養障害と全身的疾患、先天性梅毒、歯のフッ素症、遺伝性疾患) について述べることができる。 (3) 咬耗症、摩擦症、咬耗症や摩擦症の影響、外傷歯について述べることができる。	教科書1. のP70-87を 精読する 4時間	認知 (想起)
8	11/9 (木) 2限	吉本	ユニット7 3章 う蝕 講義	1) う蝕の疫学と病因、う蝕の分類、う蝕の組織学的変化について理解する。	(1) う蝕の疫学、う蝕の発生機序、う蝕の原因菌とプラーク、歯の形態と構造、食物、唾液などについて述べるができる。 (2) う蝕の組織学的分類、部位による分類、広がりによる分類、経過による分類、進行度による分類、二次う蝕 (再発性う蝕) について述べるができる。 (3) エナメル質う蝕 (初期エナメル質う蝕、実質欠損をきたしたエナメル質う蝕)、象牙質う蝕、セメント質う蝕について述べることができる。	教科書1. のP88-96を 精読する 4時間	認知 (想起)
9	11/16 (木) 2限	吉本	ユニット8 4章 象牙質・ 歯髄複合体の 病態 講義	1) 歯髄炎、歯髄の退行性変化、象牙質の増生、象牙質知覚過敏症について理解する。	(1) 歯髄炎の臨床病態、病因と発生機序 (細菌学的原因、物理的原因、化学的原因)、急性歯髄炎 (急性単純性 (漿液性) 歯髄炎 (一部性、全部性)、急性化膿性歯髄炎、急性壊疽性歯髄炎)、慢性歯髄炎 (慢性潰瘍性歯髄炎、慢性増殖性歯髄炎、慢性閉鎖性歯髄炎) について述べるができる。 (2) 歯髄の萎縮、歯髄の変性、歯髄壊死と歯髄壊疽について述べるができる。 (3) 第二象牙質および第三象牙質、象牙 (質) 粒について述べるができる。	教科書1. のP97-104を 精読する 4時間	認知 (想起)
10	11/30 (木) 2限	吉本	ユニット9 5章 歯周組織 の病態 講義	1) 根尖部歯周組織の病変について理解する。	(1) 根尖性歯周炎の病因と発生機序、分類、急性根尖性歯周炎 (急性単純性 (漿液性) 根尖性歯周炎、急性化膿性根尖性歯周炎 (急性歯槽膿瘍)、慢性根尖性歯周炎 (慢性単純性 (漿液性) 根尖性歯周炎、慢性化膿性根尖性歯周炎 (慢性歯槽膿瘍)、歯根肉芽腫、歯根嚢胞) について述べることができる。 (2) 歯性上顎洞炎について述べることができる。	教科書1. のP105-109 を精読する 4時間	認知 (想起)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
11	12/7 (木) 2限	吉本	ユニット9 5章 歯周組織 の病態 講義	2) 辺縁部歯周組織の病変、セメント質増生、セメント(質)粒について理解する。	(1) 歯周組織の構造、病因と発生機序(歯周病の病因(原因)、歯周病の発生病態)、プラーク性歯肉炎、慢性歯周炎、その他の辺縁部歯周組織の病変(非プラーク性歯肉病変、歯肉増殖症、侵襲性歯周炎、遺伝性疾患に伴う歯周炎、壊死性歯周疾患、歯肉の退縮、咬合性外傷)、インプラント周囲炎について述べるができる。 (2) エプーリス、セメント質増生、セメント(質)粒について述べるができる。	教科書1. のP110-121 を精読する 4時間	認知 (想起)
12	12/14 (木) 2限	岡村	ユニット10 6章 口腔粘膜 の病変 講義	1) 多彩な口腔粘膜疾患について理解する。	(1) 口腔粘膜の特徴、メラニン色素沈着症、ヘルペスウイルス感染、手足口病、口腔カンジダ症、再発性アフタ、口腔扁平苔癬、天疱瘡、類天疱瘡、その他の口腔粘膜疾患について述べるができる。	教科書1. のP122-132 を精読する 4時間	認知 (想起)
13	12/21 (木) 2限	岡村	ユニット11 7章 口腔領域 の嚢胞と腫瘍 8章 口腔癌 講義	1) 口腔領域の腫瘍—歯原性腫瘍、非歯原性腫瘍について理解する。 2) 前癌病変、上皮性異形成と上皮内癌、扁平上皮癌について理解する。	(1) 歯原性腫瘍(良性腫瘍、悪性腫瘍)、非歯原性腫瘍(良性上皮性腫瘍【扁平上皮乳頭腫】、良性非上皮性腫瘍【線維腫、血管腫とリンパ管腫】、悪性上皮性腫瘍【癌腫】、悪性非上皮性腫瘍【肉腫】、その他の悪性腫瘍)について述べるができる。	教科書1. のP137-151 を精読する 4時間	認知 (想起)
14	1/11 (木) 2限	岡村	ユニット12 9章 顎骨の病 変 第10章 唾液 腺の病変 講義	1) 顎骨骨髓炎、腫瘍様病変、顎関節の病変について理解する。 2) 唾液腺の病変について理解する。	(1) 急性化膿性骨髓炎、慢性化膿性骨髓炎、慢性硬化性骨髓炎、増殖性骨膜炎を伴う慢性骨髄炎、顎放線菌症、放射線骨壊死、ビスフォスフォネート関連顎骨壊死、線維性異形成症、骨性異形成症、骨腫(下顎隆起、口蓋隆起、外骨症)について述べるができる。 (2) 流行性耳下腺炎、シェーグレン症候群、唾石症、粘液嚢胞、唾液腺腫瘍(良性腫瘍【多形腺腫、ワルチン腫瘍】、悪性腫瘍【粘表皮癌、腺様嚢胞癌】)について述べるができる。	教科書1. のP152-167 を精読する 4時間	認知 (想起)
15	1/18 (木) 2限	吉本	ユニット13 第11章 口腔 領域の奇形 第12章 口腔 組織の加齢変 化 講義	1) 顔面と口腔の披裂、口腔の発育異常、口腔顎顔面に異常を来たす奇形症候群について理解する。 2) 歯の硬組織の変化、歯髄の変化、歯周組織の変化について理解する。	(1) 口腔顎顔面の発生、口唇裂、口蓋裂、唇顎口蓋裂、顔面披裂、小帯異常、その他の口腔の発育異常、トリッチャー・コリンズ症候群(下顎顔面異骨症)、ビエール・ロバン症候群、鰓弓症候群、尖頭合指趾症(アベルト症候群)、ダウン症候群について述べるができる。 (2) エナメル質の変化、象牙質の変化、セメント質の変化、歯髄の萎縮や変性、歯肉の変化、歯根膜の変化について述べるができる。	教科書1. のP168-180 を精読する 4時間	認知 (想起)

口腔微生物学

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 15 コマ ; 30 時間 2 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011122
 評価責任者： 松尾 忠行
 授業担当者： 永尾 潤一、岸川 咲吏、
 豊永 憲司

1. 一般目標

本講義では、口腔の健康管理に関心を持ち、医療人としての自覚と倫理観を備えた歯科衛生士として根拠や理論に基づく口腔保健管理の実践に必要な基本的知識を修得するために、微生物が原因となる口腔領域の疾患（主にう蝕および歯周病）において、感染症をひき起こす病原微生物の一般性状、病原因子、感染と発症のメカニズム、生体防御としての免疫機構、感染予防における滅菌や消毒の意義について理解する。

2. 教育方法

講義

3. 教育教材

教科書、プリント資料、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業には指定の教科書、配布プリント資料を必ず持参すること。予習項目に記載された教科書の該当箇所を精読し講義に望むこと。授業後は、教科書や配布プリント資料や確認テストの復習を当日中に行うこと。講義内容および演習問題について理解できない項目については、教員あるいはティーチングアシスタントに質問し積極的に解決を図ること。

本講義は口腔衛生学、歯科保存修復・歯内治療学、歯周病治療学、歯科予防処置論などの理解に不可欠である。

[単位修得に必要な授業外学修時間：60 時間]

5. 評価方法

[形成的評価] 確認テスト

[フィードバック] 講義中に確認テストの解説を行い、弱点項目を把握できるようにする。

[総括的評価] 記述試験 (95%)・授業参加状況 (授業態度等) (5%)

[フィードバック] 試験結果 (成績) は、試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1. 「新・歯科衛生士教育マニュアル 微生物学」 上西秀則 クインテッセンス出版 2012 年

7. 参考書

1. 「歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ちおよび回復過程の促進 2 微生物学」 医歯薬出版 2023 年

2. 「歯科衛生士国試対策集 2024 年対応」 歯科衛生士国試対策研究会 クインテッセンス出版 2023 年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	4/17 (月) 3 限	永尾	オリエンテーシ ョン ユニット 1 感染論概論 [講義]	1) 感染症とそれに関わる微生物について理解する。	(1) 感染の概念を説明できる。 (2) 微生物の種類を説明できる。	教科書 p12-15 を精読。(予習 2 時間・復習 2 時間)	認知 (想起)
2	4/24 (月) 3 限	永尾	ユニット 2 微生物概論(1) :細菌の一般性状 [講義]	1) 細菌の一般性状を理解する	(1) 細菌の形態、構造、増殖を説明することができる。 (2) 細菌の培養と観察法を説明できる。 (3) 主な細菌感染症を説明できる。	教科書 p16-25、p77-94 を精読。細菌の構造を図示し、各部位の名称と特徴をまとめる。(予習2時間・復習2時間)	認知 (想起)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (G10)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
3	5/1 (月) 3限	豊永	ユニット 2 微生物概論(2) : ウイルスと真 菌の一般性状 [講義]	1) ウイルスと真菌の 一般性状を理解す る。	(1) ウイルスと真菌の形態、構造、増 殖を説明できる。 (2) ウイルスと真菌の培養と観察法を 説明できる。 (3) ウイルスと真菌による主な感染症 を説明できる。	教科書p25-33, p74-77, p94- 100を精読。ウイルスと真菌 の構造を図示し、各部位の名 称と特徴をまとめる。(予習 2時間・復習2時間)	認知 (想起)
4	5/8 (月) 3限	豊永	ユニット 5 感染と発症(1) : 感染機構 [講義]	1) 微生物による感染 メカニズムを理解 する。	(1) 感染源や感染経路を説明できる。 (2) 感染の種類を説明できる。	教科書p34-38を精読。病原体 とその伝播様式をまとめる。 (予習2時間・復習2時間)	認知 (想起)
5	5/15 (月) 3限	豊永	ユニット 5 感染と発症(2) : 感染症 [講義]	1) 感染に関わる微生 物側と宿主側の要 因を理解する。	(1) 微生物の病原性および病原因子を 説明できる。 (2) 宿主の感染防御因子を説明でき る。	教科書p38-41を精読。感染と 発症に関わる微生物の病原 因子、宿主の防御因子を列挙 し特徴をまとめる。(予習2時 間・復習2時間)	認知 (想起)
6	5/22 (月) 3限	豊永	ユニット 6 免疫(1) : 自然免疫 [講義]	1) 感染に対する自然 免疫を理解する。	(1) 自然免疫の特徴を説明できる。 (2) 自然免疫に関わる細胞や体液性因 子を説明できる。	教科書p42-45を精読。自然免 疫に関わる因子や細胞を列 挙し、特徴をまとめる。(予 習2時間・復習2時間)	認知 (想起)
7	5/29 (月) 3限	豊永	ユニット 6 免疫(2) : 獲得免疫 [講義]	1) 感染に対する獲得 免疫を理解する。	(1) 獲得免疫の特徴を説明できる。 (2) 獲得免疫に関わる細胞や体液性因 子を説明できる。	教科書p45-50を精読。獲得免 疫に関わる因子や細胞を列 挙し、特徴をまとめる。(予 習2時間・復習2時間)	認知 (想起)
8	6/5 (月) 3限	豊永	ユニット 6 免疫(3) : 免疫病 [講義]	1) 免疫異常による疾 患を理解する。	(1) アレルギーの種類と機序を説明で きる。 (2) 自己免疫疾患と免疫不全について 説明できる。 (3) ワクチンの意義と種類を説明でき る。	教科書p51-54を精読。アレル ギー反応の分類と特徴をま とめる。ワクチンの種類と対 象疾患をまとめる。(予習2時 間・復習2時間)	認知 (想起)
9	6/12 (月) 3限	岸川	ユニット 3 消毒と滅菌 [講義]	1) 滅菌法と消毒法を 理解する。	(1) 滅菌と消毒の意義、原理と方法を 説明できる。	教科書p55-62, 160-161を精 読。滅菌法の原理と方法につ いて特徴をまとめる。 消毒薬の有効な微生物の範 囲および適用可能な対象物 についてまとめる。(予習2時 間・復習2時間)	認知 (想起)
10	6/19 (月) 3限	岸川	ユニット 4 化学療法 [講義]	1) 化学療法の特性を 理解する。	(1) 化学療法の目的と原理を説明でき る。 (2) 化学療法薬の作用機序と副作用を 説明できる。 (3) 薬剤耐性のメカニズムを説明でき る。	教科書p63-73を精読。細菌、 真菌、ウイルスに対する化学 療法薬について、作用機序ご とに分類してまとめる。(予 習2時間・復習2時間)	認知 (想起)
11	6/26 (月) 3限	岸川	ユニット 7 口腔環境と常在 微生物 [講義]	1) 口腔環境における 常在細菌叢を理解 する。 2) デンタルプラーク 形成のメカニズム を理解する。	(1) 口腔環境の特性と常在細菌叢の成 り立ち、変遷を説明できる。 (2) デンタルプラークの形成機序とプ ラーク形成細菌を説明できる。 (3) バイオフィーム感染症について説 明できる。	教科書p115-138を精読。デン タルプラークの形成に関わ る代表的な細菌を列挙し、特 徴をまとめる。(予習2時間・ 復習2時間)	認知 (想起)
12	7/3 (月) 3限	岸川	ユニット 8 口腔感染症(1) : う蝕 [講義]	1) う蝕病原細菌の種 類と病原性を理解 する。	(1) う蝕の主な原因菌と病原性につい て説明できる。	教科書p139-143を精読。ミュ ータンスレンサ球菌のう蝕 原性を列挙する。(予習2時 間・復習2時間)	認知 (想起)
13	7/7 (金) 4限	岸川	ユニット 8 口腔感染症(2) : 歯周病 [講義]	1) 歯周病原細菌の種 類と病原性を理解 する。	(1) 歯周病の主な原因菌と病原性につ いて説明できる。 (2) 歯周病における宿主免疫応答のメ カニズムを説明できる。	教科書p144-152を精読。代表 的な歯周病原細菌の特徴を まとめる。(予習2時間・復習 2時間)	認知 (想起)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
14	7/10 (月) 3限	岸川	ユニット 8 口腔感染症(3) : う蝕と歯周病 以外の口腔感 染症 [講義]	1) う蝕と歯周病以外 の口腔感染症を理 解する。	(1) 口腔内とその周辺部に症状が現れ る感染症の病態と原因微生物の病原 性について説明できる。	教科書p153-159を精読。口腔 とその周辺部に出現する感 染症について、原因微生物と 症状の特徴をまとめる。 (予習2時間・復習2時間)	認知 (想起)
15	7/24 (月) 3限	永尾	ユニット 9 微生物各論 : 主な感染症と 病原体 [講義]	1) 主な感染症と病原 体について理解す る。	(1) 微生物感染による全身での感染症 の病態、感染経路と原因微生物の病原 性について説明できる。	教科書p74-114を精読。 感染型食中毒、毒素型食中毒 の原因菌、原因物質、潜伏期 間、症状の特徴をまとめる。 体液・血液を介して感染する 病原ウイルスの感染経路お よび感染予防法をまとめる。 (予習2時間・復習2時間)	認知 (想起)

歯科薬理学

開講時期： 1年次後期
 授業時間数： 15コマ;30時間 2単位
 受験資格要件： 2/3 (10コマ) 以上の出席
 科目番号： DH01123
 評価責任者： 松尾 忠行
 担当教員： 八田 光世、長岡 良礼、
 武石 幸容

1. 一般目標

薬物療法を理解するために薬理的な思考法（すなわち薬物と生体間の相互作用としての考え方）を身につける。さらに、医科および歯科疾患の治療に繁用される薬物に関する知識を修得する。

2. 教育方法

教科書を中心に配布資料、板書、パワーポイントを用いて講義する。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

[予習方法] 授業前に教科書の該当箇所を読むこと。

[復習方法] 授業後に教科書・参考書、配布資料、板書ノートなどを用いて講義内容を復習する。

【単位修得に必要な授業外学修時間：60時間】

5. 評価方法

[総括的評価] 定期試験（100%）

[フィードバック] 試験結果（成績）は試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1. 「歯科衛生学シリーズ 疾病の成り立ち及び回復過程の促進3 薬理学」 医歯薬出版 2023年

7. 参考書

1. 「歯科衛生士テキスト 最新薬理学-疾病の成り立ち及び回復過程の促進-」 第1版 学建書院 2021年

2. 「新・歯科衛生士教育マニュアル Pharmacology 薬理学」 第1版 クインテッセンス出版 2015年

3. 「ポイントがよくわかるシンプル歯科薬理学」 第2版 永末書店 2019年

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
1	9/22 (金) 1限	八田	オリエンテーシ ョン	1) ガイダンス	(1) 今後の歯科薬理学の進行および学 習方法について説明する。		情意 (受入)
			ユニット 1 薬物の作用 [講義]	1) 薬理学の定義と薬物の 作用を理解する。	(1) 薬物療法（原因療法、対症療法） を分類する。 (2) 薬理作用の基本形式・分類を述べ る。 (3) 薬物の用量と治療係数について説 明する。 (4) 薬理作用の機序について説明す る。	教科書 薬物療法の種類、 用量-反応曲線、治 療係数 P2-10 予習復習項目 4時間	認知 (想起)
2 3	9/29 (金) 1限 10/6 (金) 1限	八田	ユニット 2 薬物の適用方法 と薬物動態 [講義]	1) 薬物の適用方法を理解 する。 2) 薬物動態を理解する。	(1) 薬物の生体膜通過様式を述べる。 (2) 薬物の剤形を説明する。 (3) 薬物の適用方法の種類とその特徴 を説明する。 (4) 薬物動態（吸収、分布、代謝、排 泄）を説明する。 (5) 薬物動態パラメーター（生物学的 半減期、クリアランス、バイオア ベイラビリティ（生物学的利用 能））を説明する。	教科書 薬物の適用方法、 剤形、薬物動態、 生物学的半減期、 バイオアベイラビ リティ、クリアラ ンス P11-27 予習復習項目 各4時間	認知 (解釈)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育目標 領域
4 5	10/13 (金) 1限 10/20 (金) 1限	八田	ユニット 3 薬物の連用、相互作用および薬物の副作用・有害作用 [講義]	1) 薬物の連用の影響について理解する。 2) 薬物の併用による薬物相互作用を理解する。 3) 薬物の副作用、有害作用を知る。	(1) 蓄積、耐性、依存について説明する。 (2) 協力作用・拮抗作用を説明する。 (3) 薬物相互作用の機序を説明する。 (4) 薬物の一般的副作用、有害作用を説明する。 (5) 口唇・顎顔面領域に現れる副作用、有害作用を説明する。	教科書 蓄積、耐性、依存 協力作用、拮抗作用 歯肉増殖症、口腔乾燥症、歯の着色 P28-43 予習復習項目 各4時間	認知 (解釈)
6	10/27 (金) 1限	八田	ユニット 4 薬物と法律・薬物と医薬品 [講義]	1) 薬物・医薬品の法規制を理解する。 2) 薬物・医薬品の取扱いについて理解する。 3) 医薬品の開発プロセスを知る。 4) 処方せん、服薬指導について知る。	(1) 医薬品医療機器法、日本薬局方について知る。 (2) 薬物の保存方法を説明する。 (3) 毒薬・劇薬の表示と保管を説明する。 (4) 麻薬、向精神薬の表示と保管を説明する。 (5) 臨床試験(治験)について説明する。 (6) 処方せんに記載する事項を述べる。 (7) 服薬指導について説明する。	教科書 医薬品医療機器法、日本薬局方、密閉容器、気密容器、密封容器、毒薬、劇薬、プラセボ効果、二重盲検法 P44-64 予習復習項目 4時間	認知 (想起)
7	11/10 (金) 1限	長岡	ユニット 5 末梢神経系に作用する薬物 [講義]	1) 末梢神経系に作用する薬物について理解を深める。	(1) 自律神経系のはたらきと神経伝達物質を述べる。 (2) 自律神経系作用薬を説明する。 (3) 運動神経と骨格筋の収縮について説明する。 (4) 筋弛緩薬を説明する。	教科書 神経伝達物質、自律神経系作用薬 P73-80 予習復習項目 4時間	認知 (想起)
8	11/17 (金) 1限	長岡	ユニット 6 局所麻酔薬 [講義]	1) 局所麻酔薬を理解する。 2) 血管収縮薬の添加を理解する。	(1) 局所麻酔薬の分類を述べる。 (2) 局所麻酔薬の作用機序を説明する。 (3) 血管収縮薬の添加とその効果を説明する。 (4) 局所麻酔薬の副作用を説明する。	教科書 ナトリウムチャンネル、血管収縮薬 P150-158 予習復習項目 4時間	認知 (想起)
9	11/24 (金) 1限	長岡	ユニット 7 中枢神経系に作用する薬物 [講義]	1) 中枢神経系に作用する薬物について理解する。	(1) 全身麻酔薬を説明する。 (2) 催眠鎮静薬・抗不安薬、抗てんかん薬、抗精神病薬、抗パーキンソン病薬を述べる。	教科書 中枢神経系作用薬 P81-91 予習復習項目 4時間	認知 (想起)
10 11	12/1 (金) 1限 12/8 (金) 1限	長岡	ユニット 10 病原微生物に対して使用する薬物 [講義]	1) 抗微生物薬を理解する。 2) 消毒薬を理解する。	(1) 抗菌薬の分類を述べる。 (2) 抗菌薬の作用機序を説明する。 (3) 抗真菌薬・抗ウイルス薬を説明する。 (4) 消毒薬の分類を述べる。 (5) 消毒薬の作用機序を説明する。	教科書 選択毒性薬、抗菌薬、抗真菌薬、抗ウイルス薬、消毒薬、フェノール係数 P159-180 予習復習項目 各4時間	認知 (想起)
12	12/15 (金) 1限	武石	ユニット 8 止血薬・抗血栓薬 [講義]	1) 局所性止血薬を理解する。 2) 全身性止血薬を理解する。 3) 抗血栓薬を理解する。	(1) 止血の機序を述べる。 (2) 局所性および全身性止血薬を説明する。 (3) 抗血栓薬(a 抗凝固薬 b 抗血小板薬)を説明する。	教科書 止血薬、抗血栓薬 P112-117 予習復習項目 4時間	認知 (想起)
13 14	12/22 (金) 1限 1/12 (金) 1限	武石	ユニット9 抗炎症薬および鎮痛薬 [講義]	1) 抗炎症薬を理解する。 2) 鎮痛薬を理解する。	(1) 炎症反応とケミカルメディエーターについて述べる。 (2) ステロイド性抗炎症薬・非ステロイド性抗炎症薬を説明する。 (3) 痛みの発生と伝導を概説する。 (4) オピオイド系鎮痛薬、神経障害性疼痛治療薬を説明する。 (5) 解熱鎮痛薬を説明する。	教科書 ステロイド性抗炎症薬、非ステロイド性抗炎症薬、オピオイド系鎮痛薬 P135-149 P121-122 予習復習項目 各4時間	認知 (想起)
15	1/19 (金) 1限	武石	ユニット 11 疾患治療に用いる薬物 [講義]	1) 疾患治療に用いる薬物を理解する。	(1) 免疫抑制薬や抗悪性腫瘍薬を説明する。 (2) 循環器系、呼吸器系および消化器系疾患の治療に使用する薬物を述べる。 (3) 代謝性疾患の治療に使用する薬物を述べる。	教科書 P93-107 P123-134 予習復習項目 4時間	認知 (想起)

口腔衛生学 I

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間 2 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011131
 評価責任者： 松尾 忠行
 授業担当者： 松尾 忠行

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として歯・口腔の健康に関わる社会の仕組みを理解し、歯科疾患の予防能力を高めるための論理的な分析および考察ができる能力を修得する。

2. 教育方法

講義を行う。大学病院および歯科医院において、歯科医師として患者の口腔保健管理に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC + プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。本授業を理解する上で微生物学の知識が必要である。また、本授業は歯科予防処置論と関連があり、理解に不可欠である。[単位修得に必要な授業外学修時間：60 時間]

5. 評価方法

[形成的評価] 確認テスト

確認テストは、各ユニットで 3 ～ 5 回授業時間内にミニテストとして行う予定

[フィードバック] 次の回の講義時に答案を返却し、模範解答を示す。

[総括的評価] 定期試験：記述試験（80%）確認テスト：（20%）

[フィードバック] 試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

1. 「口腔衛生学-口腔保健統計を含む-第 4 版」 荒川浩久等、学建書院、2022 年

7. 参考書

1. 「歯科衛生学シリーズ 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学 第 3 版」 可児徳子等、医歯薬出版、2022 年

2. 「新フッ化物で始める虫歯予防」 筒井昭仁等、医歯薬出版、2019 年

3. 「歯科衛生士国試対策集 2024 対応」 歯科衛生士国試対策研究会、クインテッセンス出版、2023 年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	4/12 (水) 3 限	松尾	ユニット 1-1 口腔と健康 1 [講義]	1) 口腔と健康の 関連性を理解す る。	(1) 口腔の健康の定義を述べ ることができる。 (2) 口腔と全身の健康の関 係について述べるこ とができる。	口腔の健康の定義、 口腔と全身の健康 の関係(教科書の P2-3)を記載するこ と (4 時間)	認知 (解釈)
2	4/19 (水) 3 限	松尾	ユニット 1-2 口腔と健康 2 [講義]	1) 歯科疾患の予 防と歯・口腔の機 能について理解 する。	(1) 口腔の健康を保持・増進 する手段について説 明することができる。 (2) 歯・口腔の機能につ いて説明することが できる。	口腔の健康を保 持・増進する手段、 歯・口腔の機能(教 科書の P4-8)を記 載すること (4 時間)	認知 (解釈)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
3	4/26 (水) 3限	松尾	ユニット2 歯・口腔の発育 と変化 [講義] 確認テスト1	1) 歯の形成と萌出、交換時期、歯の喪失、歯の形成期の栄養、歯・口腔の形成異常を理解する。	(1) 歯・口腔の形成および発育・発達について説明することができる。 (2) 歯・口腔の形成異常について説明することができる。	歯・口腔の形成および発育・発達、歯・口腔の形成異常(教科書のP8-12)を記載すること(4時間)	認知 (解釈)
4	5/10 (水) 3限	松尾	ユニット3 口腔環境 [講義]	1) 歯と口腔環境について理解する。	(1) 唾液腺の種類および唾液の働きについて説明することができる。	唾液腺の種類および唾液の働き(教科書のP13-17)を記載すること(4時間)	認知 (解釈)
5	5/17 (水) 3限	松尾	ユニット4 歯・口腔の不潔 [講義] 確認テスト2	1) 歯・口腔の付着物・沈着物を理解する。	(1) プラーク(歯垢)、食物残渣、歯石、着色性沈着物舌苔について説明することができる。	プラーク、食物残渣、歯石、着色性沈着物、舌苔(教科書P17-25)を記載すること(4時間)	認知 (解釈)
6	5/24 (水) 3限	松尾	ユニット5 口腔清掃 [講義]	1) 歯磨剤と洗口剤について理解する。	(1) 歯磨剤と洗口剤の種類を列挙することができる。 (2) 歯磨剤と洗口剤の組成について説明することができる。	歯磨剤と洗口剤の種類・組成(教科書P34-38)を記載すること(4時間)	認知 (解釈)
7	5/31 (水) 3限	松尾	ユニット6-1 う蝕の予防1 [講義] 確認テスト3	1) う蝕の発生要因と機序を理解する。	(1) う蝕の発生要因(宿主、口腔細菌叢、食餌性基質について説明することができる。 (2) う蝕発生のメカニズムについて説明することができる。	う蝕の発生要因・う蝕発生のメカニズム(教科書P43-46)を記載すること(4時間)	認知 (解釈)
8	6/7 (水) 3限	松尾	ユニット6-2 う蝕の予防2 [講義]	1) う蝕の予防方法を理解する。	(1) う蝕の発生要因に対する予防法を列挙することができる。 (2) う蝕発生の第一次予防、第二次予防および第三次予防について説明することができる。	う蝕の発生要因に対する予防法(教科書P52-54)を記載すること(4時間)	認知 (解釈)
9	6/14 (水) 3限	松尾	ユニット7-1 フッ化物による う蝕予防1 [講義] 確認テスト4	1) 人間生態系におけるフッ化物の分布およびフッ化物の摂取と代謝について理解する。	(1) フッ化物の分布について説明することができる。 (2) 生体におけるフッ化物の代謝について説明することができる。	フッ化物の分布、フッ化物の代謝(教科書P55-59)を記載すること(4時間)	認知 (解釈)
10	6/21 (水) 3限	松尾	ユニット7-2 フッ化物による う蝕予防2 [講義] 確認テスト5	1) フッ化物の毒性について理解する。	(1) フッ化物の毒性を認識し、正しい対処法を説明することができる。 (2) フッ化物の急性中毒に関する計算ができる。	フッ化物の毒性、フッ化物の急性中毒に関する計算(教科書P55-62)を記載すること(4時間)	認知 (解釈)
11	6/28 (水) 3限	松尾	ユニット7-3 フッ化物による う蝕予防3 [講義]	1) フッ化物によるう蝕予防機序およびフッ化物によるう蝕予防方法(全身応用法)を理解する。	(1) フッ化物のう蝕予防機序を説明することができる。 (2) フッ化物の全身応用法について説明することができる。	フッ化物のう蝕予防機序、フッ化物の全身応用法(教科書P62-66)を記載すること(4時間)	認知 (解釈)
12	7/5 (水) 3限	松尾	ユニット7-4 フッ化物による う蝕予防4 [講義]	1) フッ化物によるう蝕予防方法(局所応用法)およびフッ化物のう蝕予防効果を理解する。	(1) フッ化物の局所応用法について説明することができる。 (2) フッ化物のう蝕予防効果について説明することができる。	フッ化物の局所応用法、フッ化物のう蝕予防効果(教科書P67-72)を記載すること(4時間)	認知 (解釈)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
13	7/12 (水) 3限	松尾	ユニット8-1 歯周病の予防 1 [講義]	1) 歯周組織の概要、歯周病の有病状況、歯周病の分類について理解する。	(1) 健康な歯周組織の構造を概説することができる。 (2) 歯周病の分類について概説することができる。	健康な歯周組織の構造、歯周病の分類(教科書 P73-78)を記載すること (4時間)	認知 (解釈)
14	7/19 (水) 3限	松尾	ユニット8-2 歯周病の予防 2 [講義]	1) 歯周病の発主要因、進行と症状、歯周病と全身との関連を理解する。	(1) 歯周病の原因を概説することができる。 (2) 歯周病の炎症の広がりと症状を概説することができる。 (3) 歯周病の全身に与える影響について概説することができる。	歯周病の原因、歯周病の全身に与える影響(教科書 P80-83)を記載すること (4時間)	認知 (解釈)
15	7/26 (水) 3限	松尾	ユニット8-3 歯周病の予防 3 [講義]	1) 歯周病の予防方法を理解する。	(1) 歯周病の予防法(第一次予防、第二次予防、第三次予防)を列挙できる。 (2) 歯周病における定期的予防処置の必要性(プロフェッショナルケア)を説明することができる。	歯周病の予防法(教科書 P84-86)を記載すること (4時間)	認知 (解釈)

口腔衛生学Ⅱ

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間 2 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011132
 評価責任者： 松尾 忠行
 授業担当者： 松尾 忠行

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として地域社会における保健対策の基本を理解し、多職種との協働・連携して地域集団に対する疾病の予防能力を高めることのできる知識を修得する。

2. 教育方法

講義を行う。大学病院および歯科医院において、歯科医師として患者の口腔保健管理に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC + プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。本授業を理解する上で口腔衛生学Ⅰの知識が必要である。また、本授業は歯科予防処置論と関連があり、理解に不可欠である。
 [単位修得に必要な授業外学修時間：60 時間]

5. 評価方法

[形成的評価] 確認テスト

確認テストは、各ユニットで 3 ～ 5 回授業時間内にミニテストとして行う予定

[フィードバック] 次の回の講義時に答案を返却し、模範解答を示す。

[総括的評価] 定期試験: 記述試験 (80%) 確認テスト: (20%)

[フィードバック] 試験結果 (成績) は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

1. 「口腔衛生学-口腔保健統計を含む-第4版」 荒川浩久等、学建書院、2022 年

7. 参考書

1. 「最新歯科衛生士教本 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 1 保健生態学 第3版」 可児徳子等、医歯薬出版、2022 年

2. 「新フッ化物で始める虫歯予防」 筒井昭仁等、医歯薬出版、2019 年

3. 「歯科衛生士国試対策集 2024 対応」 歯科衛生士国試対策研究会、クインテッセンス出版、2023 年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	9/25 (月) 3 限	松尾	ユニット 1-1 その他の歯科疾患の予防 1 [講義]	1) 不正咬合の予防について理解する。 2) 口臭の予防について理解する。	(1) 不正咬合をおこす要因を列挙し、予防方法について説明できる。 (2) 口臭をおこす要因を列挙でき、予防について説明できる。	不正咬合をおこす要因、口臭をおこす要因(教科書 P87-92) を記載すること (4 時間)	認知 (解釈)
2	10/4 (水) 2 限	松尾	ユニット 1-2 その他の歯科疾患の予防 2 [講義]	1) その他の歯科疾患・異常の予防について理解する。	(1) 歯の損耗、歯・口腔の外傷、顎関節症、口腔癌着色歯・変色歯、口内炎、口腔乾燥症、味覚異常の要因を列挙し、予防方法について説明できる。	歯の損耗、歯・口腔の外傷等の要因(教科書 P93-97) を記載すること (4 時間)	認知 (解釈)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
3	10/11 (水) 1限	松尾	ユニット2-1 その他の歯科疾患の予防2 [講義] 確認テスト1	1) 地域における「健康」の考え方の変遷を理解する。 2) ライフステージ別の歯科口腔保健の概要を理解する。 3) 地域口腔保健活動の進め方について理解する。	(1) WHO 憲章、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーションについて説明することができる。 (2) 対象と活動分野について説明することができる。 (3) 地域特性の把握と問題解決のプロセスについて説明することができる。	WHO 憲章、プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション(教科書のP151-159)について記載すること(4時間)	認知 (解釈)
4	10/23 (月) 2限	松尾	ユニット2-2 地域歯科保健活動 [講義]	1) 地域口腔保健のあゆみについて理解する。 2) 地域保健を担う組織の仕組みと特徴を概説できる。	(1) 地域歯科保健に関係する保健福祉関係施策の変革について概説できる。 (2) 市町村と都道府県の歯科保健業務の違いについて説明することができる。 (3) 8020 運動、第2次健康日本21、健康増進法、歯科口腔保健法について説明できる。	市町村と都道府県の歯科保健業務の違い(教科書のP160-168)について記載すること(4時間)	認知 (解釈)
5	10/30 (月) 2限	松尾	ユニット2-3 地域歯科保健活動 [講義] 確認テスト2	1) 母子歯科保健について理解する。	(1) 妊産婦・乳幼児の歯科健康診査と保健指導について説明できる。	妊産婦・乳幼児の歯科健康診査と保健指導(教科書のP169-173)について記載すること(4時間)	認知 (解釈)
6	11/6 (月) 2限	松尾	ユニット2-4 地域歯科保健活動 [講義]	1) 母子歯科保健について理解する。	(1) 1歳6ヵ月児健康診査と保健指導について説明できる。 (2) 1歳6ヵ月児健康診査の結果からう蝕罹患型を正確に分類できる。 (3) う蝕罹患型に応じた歯科保健指導の要点を列挙できる。	1歳6ヵ月児健康診査のうち蝕罹患型(教科書のP173-176)について記載すること(4時間)	認知 (解釈)
7	11/13 (月) 2限	松尾	ユニット2-5 地域歯科保健活動 [講義]	1) 母子歯科保健について理解する。	(1) 3歳児健康診査と保健指導について説明できる。 (2) 3歳児健康診査の結果からう蝕罹患型を正確に分類できる。 (3) う蝕罹患型に応じた歯科保健指導の要点を列挙できる。	3歳児健康診査のうち蝕罹患型(教科書のP176-178)について記載すること(4時間)	認知 (解釈)
8	11/20 (月) 2限	松尾	ユニット2-6 地域歯科保健活動 [講義] 確認テスト3	1) 学校保健について理解する。	(1) 学校保健の対象者を列挙し、意義を説明できる。 (2) 学校保健の領域と構造を概説できる。 (3) 学校において被患率の高い疾病(学校病)を列挙できる。 (4) 学校保健関係職員を列挙し、その役割を説明できる。	学校保健の領域と構造(教科書のP179-183)について記載すること(4時間)	認知 (解釈)
9	11/27 (月) 2限	松尾	ユニット2-7 地域歯科保健活動 [講義]	1) 学校歯科保健について理解する。	(1) 歯科保健教育について説明することができる。 (2) 特別支援教育での保健指導について説明することができる。 (3) 定期健康診断における歯・口腔の検査について説明することができる。 (4) 就学時の健康診断における歯・口腔の検査について説明することができる。	歯科保健教育(教科書のP184-188)について記載すること(4時間)	認知 (解釈)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
10	12/4 (月) 2限	松尾	ユニット2-8 地域歯科保健活動 [講義] 確認テスト4	1) 産業歯科保健について理解する。	(1) 産業保健の目的を説明することができる。 (2) 職業性疾病を起こす要因を列挙できる。 (3) 作業環境管理、作業管理および健康管理について説明できる。 (4) 口腔領域に関連のある職業性疾病とそれに対する特殊健康診断について説明できる。	口腔領域に関連のある職業性疾病とそれに対する特殊健康診断(教科書のP189-199)について記載すること(4時間)	認知 (解釈)
11	12/11 (月) 2限	松尾	ユニット2-9 地域歯科保健活動 [講義] 確認テスト5	1) 成人・高齢者・要介護者・障害者歯科保健について理解する。	(1) 成人・高齢者の歯科保健に関連する法律等に基づく保健事業について説明できる。 (2) 要介護者・障害者への歯科保健について説明することができる。	成人・高齢者の歯科保健に関連する法律等に基づく保健事業(教科書のP200-207)について記載すること(4時間)	認知 (解釈)
12	12/18 (月) 2限	松尾	ユニット2-10 地域歯科保健活動 [講義]	1) 災害時の歯科保健について理解する。	(1) 大規模災害時の保健医療対策について説明することができる。 (2) 被災地での歯科保健について説明することができる。	大規模災害時の保健医療対策(教科書のP208-210)について記載すること(4時間)	認知 (解釈)
13	1/11 (木) 3限	松尾	ユニット2-11 地域歯科保健活動 [講義]	1) 国際歯科保健について理解する。	(1) 国際協力と関連機関について説明することができる。 (2) 世界の口腔保健の現状を概説することができる。 (3) 開発途上国への歯科保健医療協力について概説することができる。	国際協力と関連機関(教科書のP211-215)について記載すること(4時間)	認知 (解釈)
14	1/15 (月) 2限	松尾	ユニット3-1 歯科疾患の疫学1 [講義]	1) 疫学について理解する。	(1) 疫学の目的について説明できる。 (2) 疫学方法について概説できる。	疫学方法(教科書のP99-103)について記載すること(4時間)	認知 (解釈)
15	1/22 (月) 2限	松尾	ユニット3-2 歯科疾患の疫学1 [講義]	1) 歯科疾患の指標について理解する。	(1) う蝕に関する指標について説明できる。 (2) う蝕に関する指標を用いた計算ができる。	う蝕に関する指標(教科書のP104-106)について記載すること(4時間)	認知 (解釈)

歯科衛生士概論

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 15 コマ ; 30 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011201
 評価責任者： 黒木まどか
 授業担当者： 石井 綾子、南 レイラ
 川尻 望、森 沙耶香
 泉 喜和子、黒木まどか

1. 一般目標

将来、科学的な根拠を持って歯科衛生活動を展開し、人々の健康づくりを多職種と協働・連携を通して支援する歯科衛生士となるために、保健・医療・福祉に関わることの意義を見つけ、その基本的態度について理解する。また、医療専門職としての自覚を持ち、必要な知識・技術を修得する態度および論理的思考の基礎を修得する。なお、本科目では初年次教育（レポートの書き方、ノートの取り方など）を含めた講義を行い、速やかな学修体制への移行も目指す。

2. 教育方法

講義・演習・グループワークを行う。

大学病院、歯科医院、高齢者施設などにおいて、歯科衛生士として患者の口腔保健管理に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、配布資料、PC+プロジェクター、DVD

4. 学修方法

授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席になる。授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。また、予習していることを前提に開始する。レポート課題は締切期日を守る。本授業は臨床歯科医学、歯科予防処置、歯科診療補助、歯科保健指導の理解に不可欠である。[単位修得に必要な授業外学修時間：15 時間]

5. 評価方法

[形成的評価] ミニテスト、レポート

[フィードバック] 不十分な部分についてコメントを付して返却し、場合によっては再提出を求める。

[総括的評価] 記述試験 (60% : ユニット 1・2・4)、課題レポート (30% : ユニット 3・5・6)、授業参加状況 (発問・質疑・グループワークでの発言や協力等授業への貢献度) (10%)

[フィードバック] 以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1. 「歯科衛生士学シリーズ 歯科衛生学総論」医歯薬出版 2023

7. 参考書

1. 「最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版」医歯薬出版 2020

2. 「最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版」医歯薬出版 2017

3. 「新歯科衛生士教育マニュアル 歯科臨床の基礎と概論」クインテッセンス出版 2015

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	4/11 (火) 3 限	黒木	ユニット 1 総論 1: 歯科衛生学 とは 講義 グループワーク	1) 歯科衛生士の活動を理解する。 2) 歯科衛生活動に必要な学問を体系的に理解する。	(1) 歯科衛生学の定義を述べることができる。 (2) 歯科衛生と健康のかかわりを説明できる。 (3) 歯科衛生活動の対象を列挙できる。 (4) 歯科衛生活動の領域を説明できる。 (5) ノートの取り方について説明できる。	教科書 1 「歯科衛生学の定義 P1-7」を精読する。 (1 時間)	認知 (想起) 情意 (受入)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
2	4/20 (木) 1限	黒木	ユニット1 総論2: 歯科衛生の歴史 [講義]	1) 歯科衛生士の歴史的背景を理解する。 2) 歯科衛生士に求められる社会的役割を理解する。	(1) 日本の歯科衛生士の誕生について概要を説明できる。 (2) 歯科衛生士の誕生について概要できる。 (3) 歯科衛生士養成教育の変遷を概説できる。 (4) レポート、論文、作文、感想文の違いを理解する。 (5) 歯科衛生士の歴史的背景を踏まえ、社会的役割をレポートにまとめることができる。	教科書1の「歯科衛生士の歴史P8-19」を精読する。受講後、「歯科衛生士を目指す理由」をまとめる。(1.5時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
3	4/20 (木) 2限	南	ユニット2 歯科衛生士法と歯科衛生業務 [講義]	1) 歯科衛生士法に基づく業務範囲と業務内容を理解する。	(1) 歯科衛生士法に基づく歯科衛生業務について概説できる。 (2) 歯科衛生士の業務独占、名称独占について説明できる。 (3) 歯科衛生士の専門性について概説できる。	教科書1の「歯科衛生士と歯科衛生士法 P42-53」を精読する。受講後、「歯科衛生士誕生と歯科衛生業務と教育の変遷」をまとめる。(1時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
4	4/25 (火) 3限	森川尻	ユニット3 医療接遇 [講義]	1) 医療従事者としての心構えや倫理観、身だしなみについて理解する。	(1) 医療従事者として相応の身だしなみについて理解できる。 (2) 医療従事者としての心構えや倫理観を理解できる。	参考書2の「医療従事者としての感染予防に対する対応P22-23」を精読する。(1時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
5	5/9 (火) 3限	南	ユニット4 歯科衛生活動1: 歯科衛生活動のための理論 [講義]	1) 科学的思考を展開するための枠組みを理解する。	(1) 予防の概念を理解できる (2) ICF、EBM、批判的思考を説明できる (3) 保健行動の理論を説明できる (4) ヒューマンニーズ理論を説明できる	教科書1の「歯科衛生士の考え方P20-31」を精読する。受講後、4つの分析モデルをまとめる。(1時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
6	5/10 (水) 1限	森川尻	ユニット3 医療接遇 [講義] グループワーク	1) 医療従事者としての心構えや倫理観、身だしなみについて理解する。	(1) 医療従事者として相応の身だしなみについて説明することができる。 (2) 自分の考える医療従事者としての心構えや倫理観を述べることができる。 (3) 医療従事者として相応の身だしなみについてグループワークで討議することができる。	「医療従事者」接遇の意味を調べる。(2時間)	認知 (解釈) 情意 (反応) 精神運動 (模倣)
7	5/10 (水) 2限						
8	5/16 (火) 3限	石井	ユニット4 歯科衛生活動2: 歯科衛生士と医療倫理 [講義]	1) 倫理の定義を理解する。 2) 歯科衛生士と倫理の関係を理解する。	(1) 倫理の必要性について説明できる。 (2) 医の倫理について概説できる。 (3) インフォームド・コンセント、インフォームド・チョイス、セカンド・オピニオンについて説明できる。	教科書1の「歯科衛生士と医療倫理 P66-76」を精読する。(1時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
9	5/24 (水) 2限	石井	ユニット4 歯科衛生活動3: 歯科衛生士の活動と組織1 [講義]	1) 歯科衛生活動の現状を理解する。	(1) 歯科衛生士の活動の領域と就業の推移を説明できる (2) 歯科衛生活動の種類と業務の概略を説明できる	教科書1の「歯科衛生活動の場 P84-88」を精読する。(1時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
10	6/12 (月) 4限	石井	ユニット6 歯科衛生活動4: 歯科衛生士の活動と組織2 [講義]	1) 口腔介護の視点から歯科衛生活動の現状を理解する。	(1) チーム医療を説明できる (2) 医療保険制度の仕組みを概説できる (3) 介護保険制度の仕組みを概説できる	教科書1の「歯科衛生士の活動と組織 P77-80」「歯科衛生士と組織 P89-92」を精読する。(1時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
11	6/21 (水) 2限	石井	ユニット6 歯科衛生活動5: 海外における歯科衛生士 [講義]	1) 海外の歯科衛生士現状を理解する。	(1) 海外における歯科衛生士教育内容を概説できる (2) 海外における歯科衛生業務内容を概説できる	教科書1の「海外における歯科衛生士 P93-97」を精読する。受講後、興味を持った国の歯科衛生士について調べレポートにまとめる。(1.5時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
12	7/11 (火) 3限	黒木	ユニット6 歯科衛生活動6: 歯科衛生過程 [講義・演習]	1) 歯科衛生士業務における歯科衛生過程の位置付けを理解する。	(1) 歯科衛生過程の6つのステップを説明できる (2) POS、SOAPを概説できる 【授業評価アンケート実施】	教科書1の「歯科衛生過程 P32-41」参考書1の「歯科衛生過程の進め方 P62-76」を精読する。(2時間)	認知 (解釈) 情意 (反応)
13	7/18 (火) 3限	黒木					
14	7/21 (金) 1-2限	泉石井 川尻	ユニット5 病院見学 [講義・演習・グループワーク]	1) 大学病院における歯科衛生士業務を理解する。 2) 自分の目指す歯科衛生士像を示す。	(1) 医療従事者として相応の身だしなみを示すことができる。 (2) 自分の目指す歯科衛生士像を述べるることができる。	「医療安全」の意味を調べ、レポートにまとめる。(1時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
15							

歯科臨床概論

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 15 コマ ; 30 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011211
 評価責任者： 井上 庸子
 授業担当者： 松尾 忠行、力丸 哲也、
 泉 喜和子、後藤 加寿子、
 井上 庸子

1. 一般目標

本授業は歯科衛生士として多様な対象者に根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するのに必要な、歯科診療の流れや診断と治療の基本的知識を体系的に学ぶ。また、専門診療各科が取り扱う疾患と治療法の概要を修得することにより、口腔保健活動における問題発見能力ならびに医療人としての自覚と倫理観を涵養する。

2. 教育方法

講義を行う。

歯科医療機関（歯科大学医科歯科総合病院、歯科医院）や介護保険施設において、歯科医師として診療に携わった実務経験を活かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、配布資料、PC+プロジェクター

4. 学修方法

指定教科書と配布プリントを必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を精読するなど予習を怠らないこと。授業中はノートを取り、その日のうちに授業内容の確認を行うこと。レポート課題は締め切り期日を守ること。

本授業を理解する上で、生物学、口腔解剖学、口腔衛生学等の知識が必要であり、本授業は全ての臨床科目の理解に不可欠である。 [単位修得に必要な授業外学修時間：15 時間]

5. 評価方法

[形成的評価] ミニテスト、レポート

[フィードバック] 不十分な部分はコメントを付して返却し、場合によっては再提出を求める。

[総括的評価] 記述試験 (90%)・ミニテスト・課題レポート (10%)

[フィードバック] 試験結果は採点后掲示する。

6. 教科書

新・歯科衛生士教育マニュアル「歯科臨床の基礎と概論」栢・升井・石川・山田 編著
 クインテッセンス出版 2020

7. 参考書

指定なし

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	4/17 (月) 2 限	升井	ユニット1 歯科医療とは [講義]	1) 歯科医療の概要と歯科医療従事者を理解する。 2) 歯科医療の特徴を理解する。 3) 歯科の専門診療科について理解する。 4) 歯科医療における歯科衛生士の役割を理解する。	(1) 歯科医療の概要と歯科医療従事者を説明できる。 (2) 歯科医療の特徴を説明できる。 (3) 歯科の専門分野（専門診療科）を説明できる。 (4) 歯科医療における歯科衛生士の役割を説明できる。	教科書の P8-20を精読する (1 時間)	認知 (解釈)
2	4/24 (月) 2 限	松尾	ユニット1 歯科医療とは [講義]	1) 医の原則について理解する。 2) 医療安全とその対策について理解する。	(1) 医の原則について説明できる。 (2) 医療安全とその対策について概要を説明できる。	医の倫理に関する規範を記載すること (1 時間)	認知 (解釈)
3	5/1 (月) 2 限	井上	ユニット2 歯科診療の流れと歯科衛生士の関わり [講義]	1) 歯科医療面接を理解する。 2) 歯科医師と歯科衛生士のチーム医療を理解する。	(1) 歯科医療面接を理解する。 (2) 歯科医師と歯科衛生士のチーム医療を理解する。	教科書の P34-39を精読する (1 時間)	認知 (想起) 情意 (受入)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
4	5/8 (月) 2限	泉	ユニット2 歯科診療の流れ と歯科衛生士の 関わり [講義]	1) 歯科診療所の一日の 流れを理解する。 2) 歯科診療の流れを理 解する。 3) 歯科衛生過程と歯科 診療への関わりを理解す る。	(1) 歯科診療所の一日の流れ を概説できる。 (2) 歯科診療の流れを説明で きる。 (3) 歯科診療における歯科衛 生過程との関わりを説明でき る。	教科書の P28-33を精読 する (1時間)	認知 (解釈)
5	5/15 (月) 2限	井上	ユニット2 歯科診療の流れ と歯科衛生士の 関わり [講義]	1) 下記歯科治療の流れを 理解する。 ①う蝕・失活歯の治療、② 歯周病の治療、③周術期の 口腔機能管理、④その他	下記歯科治療の流れを大まか に説明できる。 う蝕・失活歯の治療、歯周病の 治療、周術期の口腔機能管理、 その他の歯科衛生士業務	教科書の P40-43を精読 する (1時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
6	5/22 (月) 2限	後藤	ユニット2 歯科診療の流れ と歯科衛生士の 関わり [講義]	下記歯科治療の流れを理 解する。 ①有病者の歯科治療、②高 齢者の在宅医療、③障害者 の歯科治療、④感染症患者 の歯科治療、⑤妊娠中の歯 科治療	下記歯科治療の流れを大まか に説明できる。 有病者の歯科治療、高齢者の在 宅医療、障害者の歯科治療、感 染症患者の歯科治療、妊娠中の 歯科治療	教科書の P44-49を精読 する (1時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
7	5/29 (月) 4限	力丸	ユニット3 歯科専門診療科 (保存科保存修 復) [講義]	歯の硬組織疾患の種類と 処置方法を理解する。 ①う蝕の進行度による分 類、②窩洞の分類、③歯の 変色と漂白法	歯の硬組織疾患の種類と処置 方法を概説できる。	教科書の P50-56を精読 する (1時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
8	6/5 (月) 2限	後藤	ユニット3 歯科専門診療科 (歯科補綴科) [講義]	歯科補綴治療の基礎知 識、①補綴装置の種類、 ②器材、③補綴治療の臨 床ステップ、④義歯装着 後の患者指導を理解す る。	(1) 歯科補綴治療の概要を 説明できる。 (2) 補綴装置の種類、器 材、補綴治療の臨床ステッ プ、義歯装着後の患者指導を 理解できる。	教科書の P70-79を精読 する (1時間)	認知 (想起)
9	6/12 (月) 2限	松尾	ユニット3 歯科専門診療科 (高齢者歯科) [講義]	1) 加齢と老化について 理解する。 2) 高齢者の状態の把握 法を理解する。 3) 要介護者の口腔ケア を理解する。 4) 摂食嚥下リハビリを 理解する。	(1) 加齢と老化について説 明できる。 (2) 高齢者の状態の把握法 を説明できる。 (3) 要介護者の口腔ケアを 概説できる。 (4) 摂食嚥下リハビリを概 説できる。	高齢者の口腔 状態を記載す ること (1時間)	認知 (解釈)
10	6/19 (月) 4限	力丸	ユニット3 歯科専門診療科 (保存科歯内治 療) [講義]	歯髄疾患と根尖性歯周組 織疾患の種類と処置方法 を理解する。 ①臨床的分類、②歯の外傷 と治療法、③歯内治療にお ける医療安全対策	歯髄疾患と根尖性歯周組織疾 患の種類と処置方法を概説で きる。	教科書の P56-61を精読 する (1時間)	認知 (解釈)
11	6/26 (月) 4限	力丸	ユニット3 歯科専門診療科 (歯周病科) [講義]	歯周疾患と治療を理解す る。 ①歯周組織の構造、②歯周 病の病態、③原因、治療、 検査	歯周疾患と治療を概説できる。	教科書の P62-69を精読 する (1時間)	認知 (解釈)
12	6/30 (金) 4限	井上	ユニット3 歯科専門診療科 (小児歯科) [講義]	1) 小児歯科治療の概要 を理解する。 2) 小児の発育、歯の発 育、小児の特徴と留意 点、小児患者への歯科的 対応を理解する。	(1) 小児歯科治療の概要を 説明できる。 (2) 小児の発育、歯の発 育、小児の特徴と留意点、小 児患者への歯科的対応を概説 できる。	教科書の P100-109を精 読する (1時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
13	7/3 (月) 2限	後藤	ユニット3 歯科専門診療科 (口腔外科) [講義]	口腔外科が対象とする顎 口腔領域の疾患の概要と 治療の原則について理解 する。	口腔・顎顔面領域の疾患の種 類と特徴および口腔外科治療 の原則を大まかに説明でき る。	教科書の P80-90を精読 する (1時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
14	7/10 (月) 2限	泉	ユニット3 歯科専門診療科 (矯正歯科) [講義]	1) 矯正歯科治療の概要 を理解する。 2) 不正咬合の分類と各 種の治療法を理解する。	(1) 矯正歯科治療について 概説できる。 (2) 不正咬合の分類と各種 の治療法を概説できる。	教科書の P91-99を精読 する (1時間)	認知 (解釈) 情意 (受入)
15	7/24 (月) 2限	松尾	ユニット3 歯科専門診療科 (障害者歯科) [講義]	1) 障害の概念を理解す る。 2) 障害の種類と歯科的 特徴を理解する。 3) 障害児・者の歯科治 療と行動調性法を理解す る。	(1) 障害の概念を大まかに 説明できる。 (2) 障害の種類と歯科的特 徴を大まかに説明できる。 (3) 障害児・者の歯科治療 と行動調性法を大まかに説明 できる。	障害の種類を 記載すること (1時間)	認知 (解釈)

歯科保存修復・歯内療法学

開講時期： 1年次後期
 授業時間数： 15コマ；30時間 1単位
 受験資格要件： 2/3（10コマ）以上の出席
 科目番号： DH011212
 評価責任者： 力丸 哲也
 授業担当者： 力丸 哲也

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として多様な対象者に、根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な歯の硬組織疾患や、歯髄疾患に関する基本的知識を体系的に修得し、理論的に分析・考察するための科学的思考力を修得する。

2. 教育方法

講義 大学病院において、歯科医師として歯科保存修復・歯内治療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業には指定教科書を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の当該箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中は教科書中の指示された重要箇所にアンダーラインを引き、必要に応じてノートを取る。授業後は教科書やノート等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。

本授業を理解する上で、口腔解剖学、口腔病理学、歯科材料学等の知識が必要であり、本授業は小児歯科学、歯科診療補助論、臨床実習の理解に不可欠である。 [単位修得に必要な授業外学修時間：15時間]

5. 評価方法

[形成的評価] ミニテスト

[フィードバック] 試験結果ならびに正解例は試験終了後掲示する。

[総括的評価] 記述試験（80%）・ミニテスト（20%）

[フィードバック] 試験結果ならびに正解例は試験終了後掲示する。

6. 教科書

1. 『新・歯科衛生士教育マニュアル 保存修復』片山 直、小松正志、松尾敬志編集
クインテッセンス出版、2020
2. 『新・歯科衛生士教育マニュアル 歯内療法』笠原悦男、林 宏行、吉田隆一編集
クインテッセンス出版、2020

7. 参考書

1. 『最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第2版』松井恭平、合場千佳子、高阪利美 編集
医歯薬出版、2018

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
1	9/20 (水) 1限	力丸	ユニット1 保存修復学概論 歯の硬組織疾患 [講義]	1) 保存修復学の目的と意義を理解する。 2) 歯の硬組織疾患の種類を理解する。	(1) 歯科保存修復学を説明できる。 (2) ミニマルインターベンション(MI)を説明できる。 (3) 歯の硬組織疾患の種類を説明できる。	教科書 p 11-20 を精読する。 (1時間)	認知 (想起)
2	9/27 (水) 1限	力丸	ユニット2 う蝕の分類と病変の成り立ち [講義]	1) う蝕の病因、病態、進行を理解する。 2) う蝕の分類とその特徴を理解する。	(1) う蝕の病因、病態、進行を説明できる。 (2) う蝕を分類できる。 (3) う蝕の特徴を説明できる。	教科書P20-29 を精読する。 (1時間)	認知 (想起)
3	10/2 (月) 2限	力丸	ユニット2 歯の硬組織検査 ユニット3 歯の切削と修復の準備法 [講義]	1) う蝕の検査法を理解する。 2) 歯を切削する器具・機械を理解する。 3) 修復の準備法を理解する。	(1) う蝕の検査法を説明できる。 (2) 歯の切削器具・器械の種類と特徴を説明できる。 (3) 修復の準備法を説明できる。	教科書P30-47 を精読する。 (1時間)	認知 (想起)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 〔授業方法〕	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
4	10/16 (月) 2限	力丸	ユニット 3 窩洞 ユニット 4 修復方法 〔講義〕	1) 窩洞の分類や名称を理解する。 2) 修復方法を理解する。	(1) 窩洞の分類と名称を説明できる。 (2) 窩洞形態の原則を説明できる。 (3) 修復方法の種類を説明できる。 (4) 修復処置後のメンテナンスを説明できる。	教科書P60-75 を精読する。 (1時間)	認知 (想起)
5	10/18 (水) 1限	力丸	ユニット 4 直接修復法 〔講義〕	1) 成形修復法を理解する。 2) 修復時の前準備を理解する。	(1) グラスアイオノマーセメント修復の特徴と術式を大まかに説明できる。 (2) コンポジットレジン修復の特徴と術式を大まかに説明できる。	教科書P76-95 を精読する。 (1時間)	認知 (想起)
6	10/25 (水) 1限	力丸	ユニット 4 間接修復法 〔講義〕	1) インレー修復を理解する。 2) 鑄造修復法を理解する。	(1) インレー修復を説明できる。 (2) メタルインレー修復の特徴と術式を大まかに説明できる。	教科書P96-112 を精読する。 (1時間)	認知 (想起)
7	11/1 (水) 1限	力丸	ユニット 4 間接修復法 〔講義〕	1) コンポジットレジンインレー・セラミックインレー修復を理解する。 2) ラミネートベニア修復を理解する。	(1) コンポジットレジンインレー・セラミックインレー修復の特徴を説明できる。 (2) ラミネートベニア修復の特徴を説明できる。	教科書P113-129 を精読する。 (1時間)	認知 (想起)
8	11/8 (水) 1限	力丸	ユニット 5 歯の漂白法 〔講義〕	1) 歯の変色の原因を理解する。 2) 歯の漂白法を理解する。	(1) ウォーキングブリーチ法を説明できる。 (2) オフィスブリーチング・ホームブリーチングを説明できる。	教科書P146-157 を精読する。 (1時間)	認知 (想起)
9	11/22 (水) 2限	力丸	ユニット 6 歯内治療学概論 象牙質知覚過敏症 ユニット 7 歯髄疾患 〔講義〕	1) 歯内治療学の目的と意義を理解する。 2) 象牙質知覚過敏症を理解する。 3) 歯髄疾患の概要を理解する。	(1) 歯内治療学を説明できる。 (2) 象牙質知覚過敏症の原因と処置法を説明できる。 (3) 歯髄疾患の原因を説明できる。	教科書P10-13, P24-32を精読する。 (1時間)	認知 (想起)
10	11/29 (水) 1限	力丸	ユニット 7 歯髄疾患 〔講義〕	1) 歯髄疾患の分類と症状を理解する。 2) 仮封法を理解する。	(1) 歯髄疾患の分類と症状を説明できる。 (2) 仮封法を説明できる。	教科書P31-35, P47-48を精読する。 (1時間)	認知 (想起)
11	12/6 (水) 2限	力丸	ユニット 8 歯髄の保存療法 〔講義〕	1) 歯髄保存療法の分類と目的、術式を理解する。	(1) 歯髄鎮痛消炎療法を説明できる。 (2) 覆髄法を説明できる。	教科書P48-53 を精読する。 (1時間)	認知 (想起)
12	12/14 (木) 3限	力丸	ユニット 9 歯髄の除去療法 〔講義〕	1) 歯髄除去療法の分類と目的、術式を理解する。	(1) 生活歯髄切断法の目的と術式を大まかに説明できる。 (2) 麻酔抜髄法の目的と術式を大まかに説明できる。	教科書P53-61 を精読する。 (1時間)	認知 (想起)
13	12/20 (水) 1限	力丸	ユニット 10 根尖性歯周組織疾患 〔講義〕	1) 根尖性歯周組織疾患の概要を理解する。 2) 感染根管と根尖性歯周組織疾患の関連を理解する。	(1) 根尖性歯周組織疾患の原因を説明できる。 (2) 根尖性歯周組織疾患の分類と症状を説明できる。 (3) 感染根管を説明できる。	教科書P62-76 を精読する。 (1時間)	認知 (想起)
14	1/9 (火) 2限	力丸	ユニット 11 感染根管治療 〔講義〕	1) 感染根管治療の目的、術式を理解する。	(1) 感染根管治療の目的と術式を大まかに説明できる。	教科書P82-92 を精読する。 (1時間)	認知 (想起)
15	1/17 (水) 2限	力丸	ユニット 12 根管充填 ユニット 12 外科的歯内療法 〔講義〕	1) 根管充填の目的、術式を理解する。 2) 外科的歯内療法の分類と目的、適応症を理解する。	(1) 根管充填の目的と側方加圧充填法の術式を大まかに説明できる。 (2) 外科的歯内療法を分類できる。 (3) 外科的歯内療法の目的と適応症を説明できる。	教科書P94-101, P118-124 を精読する。 (1時間)	認知 (想起)

歯科補綴学

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011214
 評価責任者： 後藤 加寿子
 授業担当者： 後藤 加寿子

1. 一般目標

本授業は、歯質欠損に対する歯冠修復と歯列の一部、あるいは全部欠損に対する咬合修復方法に関する基本的知識を体系的に修得する。また、歯科補綴の臨床例を通して、口腔保健活動における問題発見能力ならびに医療人としての自覚と倫理観を備える。

2. 教育方法

教科書、プリントを用いた講義を行う。
 大学病院において、歯科医師として補綴治療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、配布資料、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。理解できなかった項目については教員・ティーチングアシスタントに質問し、説明を受けて確実に理解すること。レポート課題は、締め切り期日を守る。本授業を理解するうえで、歯科材料学、口腔解剖学の理解が必要となる。 [単位修得に必要な授業外学修時間：15 時間]

5. 評価方法

[形成的評価] 確認テスト、レポートなど
 [フィードバック] 不十分な部分についてコメントを付して返却し、場合によっては再提出を求める。
 [総括的評価] 中間試験を含む記述試験 (80%)・客観試験 (確認テスト)・課題レポート (10%) 授業参加状況 (予習・復習の実施状況等) (10%)
 [フィードバック] 以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1. 「歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学」 医歯薬出版 2023 年

7. 参考書

1. 「歯科診療補助論」 第 2 版 医歯薬出版 2018 年
2. 「新歯科衛生士教本 歯科材料」 医歯薬出版 2018 年
3. 「新歯科衛生士教本 歯科器械」 医歯薬出版 2018 年
4. 「歯科衛生士国試対策集 2024 年対応」 歯科衛生士国試対策研究会 クインテッセンス出版 2023 年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	9/19 (火) 2 限	後藤	オリエンテーション ユニット 1-1 補綴歯科治療の 基礎(1) [講義]	1) 歯科補綴の概要 を理解する。	(1) 補綴とは何か説明できる。 (2) 補綴歯科治療の意義と目的 を説明できる。 (3) 歯の欠損に伴う生理的変化 を説明できる。	教科書 1 の P2-12を精読す る。 (1 時間)	認知 (想起)
2	9/26 (火) 2 限	後藤	ユニット 1-2 補綴歯科治療の 基礎(2) [講義]	1) 歯科補綴の概要 を理解する。	(1) 補綴歯科治療の方法と歯科 装置について説明できる。 (2) 補綴歯科治療における歯科 衛生士の役割を説明できる。	教科書 1 の P13-30を精読 する。 (1 時間)	認知 (想起)
3	10/3 (火) 2 限	後藤	ユニット 1-3 補綴歯科治療の 基礎(3) [講義]	1) 歯科補綴の概要 を理解する。	(1) 補綴歯科治療の方法と歯科 装置について説明できる。 (2) 補綴歯科治療における歯科 衛生士の役割を説明できる。	教科書 1 の P13-30を精読 する。 (1 時間)	認知 (想起)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
4	10/10 (火) 2限	後藤	ユニット 2 補綴歯科治療の 基礎(4) [講義]	1) 補綴歯科治療の 基礎知識について 理解する。	(1) 歯列と咬合について説明で きる。 (2) 補綴学的基準平面について 説明できる。 (3) 口腔の機能について説明で きる。 (4) 顎関節の構造・機能と病態 について説明できる。	教科書1の P31-47を精読 する。 (1時間)	認知 (想起)
5	10/17 (火) 2限	後藤	ユニット 3-1 補綴歯科治療の実際と 歯科衛生士の 役割(1) [講義]	1) 補綴歯科治療に おける検査について 理解する。	(1) 医療面接と診察について説 明できる。 (2) 口腔内の検査について説明 できる。 (3) 画像検査について説明でき る。 (4) 咬合と顎口腔機能の検査に ついて説明できる。	教科書1の P50-69を精読 する。 (1時間)	認知 (想起)
6	10/24 (火) 2限	後藤	ユニット 3-2 補綴歯科治療の実際と 歯科衛生士の 役割(2) [講義]	1) クラウン・ブリ ッジ治療について 理解する。	(1) クラウン・ブリッジ治療の 概要について説明できる。	教科書1の P70-78を精読 する (1時間)	認知 (解釈)
7	10/31 (火) 2限	後藤	ユニット 3-2 補綴歯科治療の実際と 歯科衛生士の 役割(3) [講義]	1) クラウン・ブリ ッジ治療について 理解する。	(1) クラウン・ブリッジ治療の 流れと診療の補助について説 明できる。	教科書1の P78-100を精読 する (1時間)	認知 (解釈)
8	11/7 (火) 2限	後藤	ユニット 3-2 補綴歯科治療の実際と 歯科衛生士の 役割(4) [講義]	1) クラウン・ブリ ッジ治療について 理解する。	(1) クラウン・ブリッジ治療に 伴うトラブルとその対応につ いて説明できる。	教科書1の P100-109を精 読する (1時間)	認知 (問題解決)
9	11/14 (火) 2限	後藤	ユニット 3-3 補綴歯科治療の実際と 歯科衛生士の 役割(5) [講義]	1) 有床義歯治療の 概要について理解 する。	(1) 全部床義歯治療の概要につ いて説明できる。 (2) 全部床義歯治療の流れと診 療補助について説明できる。	教科書1の P110-143を精 読する (1時間)	認知 (解釈)
10	11/21 (火) 2限	後藤	ユニット 3-3 補綴歯科治療の実際と 歯科衛生士の 役割(6) [講義]	1) 有床義歯治療の 概要について理解 する。	(1) 全部床義歯治療に伴うトラ ブルとその対応について説明 できる。	教科書1の P144-150を精 読する (1時間)	認知 (問題解決)
11	11/30 (木) 2限	後藤	ユニット 3-4 補綴歯科治療の実際と 歯科衛生士の 役割(7) [講義]	1) 有床義歯治療の 概要について理解 する。	(1) 部分床義歯治療の概要につ いて説明できる。 (2) 部分床義歯治療の流れと診 療補助について説明できる。	教科書1の P150-178を精 読する (1時間)	認知 (解釈)
12	12/5 (火) 2限	後藤	ユニット 3-4 補綴歯科治療の実際と 歯科衛生士の 役割(8) [講義]	1) 有床義歯治療の 概要について理解 する。	(1) 部分床義歯治療に伴うトラ ブルとその対応について説明 できる。	教科書1の P178-181を精 読する (1時間)	認知 (問題解決)
13	12/12 (火) 2限	後藤	ユニット 3-5 補綴歯科治療の実際と 歯科衛生士の 役割(9) [講義]	1) インプラント治 療について理解す る。	(1) インプラント治療の概要につ いて説明できる (2) インプラント治療の流れと 診療補助について説明でき る。 (3) 上下無歯顎症例に対するイ ンプラント治療について説 明できる。 (4) インプラント治療に伴うト ラブルとその対応について説 明できる。	教科書1の P182-214を精 読する (1時間)	認知 (解釈)
14	12/19 (火) 2限	後藤	ユニット 3-6 補綴歯科治療の実際と 歯科衛生士の 役割(10) [講義]	1) 特殊な口腔内装 置を用いる治療に ついて理解する。	(1) 顎顔面補綴治療について説 明できる。 (2) 構音・嚥下機能の補助治療 について説明できる。 (3) 顎関節症と歯ぎしりの治療 について説明できる。 (4) スポーツ外傷の予防につ いて説明できる。 (5) 睡眠時無呼吸症候群の歯科 的治療について説明できる。	教科書1の P214-225を精 読する (1時間)	認知 (想起)
15	1/16 (火) 1限	後藤	ユニット 3-7 補綴歯科治療の実際と 歯科衛生士の 役割(11) [講義]	1) 補綴歯科治療に おける器材の管理 について理解す る。	(1) 器具・器材別滅菌、消毒、 洗浄、保管について説明でき る。 (2) 歯科技工士との連携につ いて説明できる。	教科書1の P226-233を精 読する (1時間)	認知 (想起)

口腔外科学

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 15 コマ;30 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011215
 評価責任者： 泉 喜和子
 授業担当者： 泉 喜和子、勝俣 由里、佐々木三奈

1. 一般目標

歯科衛生士として多様な対象者に根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するのに必要な、口腔・顎顔面領域の疾患の特徴と診断法および治療法に関する情報や知識を修得し、理論的に分析・考察するための科学的思考力を醸成する。また、口腔外科の臨床例を通して、口腔保健活動における問題発見能力ならびに医療人としての自覚と倫理観を涵養する。

2. 教育方法

講義

大学病院において歯科医師として口腔外科学に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC、プロジェクター

4. 学修方法

本授業を理解する上で、解剖学や生理学などで学修した口腔・顎顔面領域の構造や機能についての知識が必須である。授業には指定教科書と配布資料を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を精読し、授業中はノートやメモを取る。授業後は、講義終了時に配布された配布資料を完成させ、授業内容の確認をその日のうちに行うこと。また本授業は保存修復学、歯周病学、歯科補綴学、小児歯科学、矯正歯科学、口腔病理学、診療補助論と関連があり、理解に不可欠である。
【単位修得に必要な授業外学修（予習・復習）時間：22.5 時間】

5. 評価方法

〔総括的評価〕 記述試験 (80%)・授業参加状況 (予習・復習の実施状況等) (20%)

〔フィードバック〕 以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。

6. 教科書

古森孝秀 編著：歯科衛生士講座 口腔外科学 第2版 永末書店 2017年

7. 参考書

野間, 福田, 栗田ら編集：イラストでみる口腔外科手術 第1~3巻 クインテッセンス出版 2010年

新刊 歯科衛生士講座 口腔外科の治療と診療補助 永末書店 2023年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1	9/25 (月) 1限	泉	ユニット 1 口腔外科学総論 〔講義・スライド〕	1) 歯科における口腔外科の位置づけを理解する。 2) 口腔外科手術に必要な全身管理、臨床検査を理解する。	1) 口腔・顎顔面領域の機能と特徴、口腔外科の診療範囲と扱う疾患を説明できる。 2) 口腔外科手術に必要な全身管理、臨床検査の目的や結果について説明できる。	予習) 教科書の P2-30を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)
2	10/2 (月) 1限	泉	ユニット 2 先天異常・発育異常 〔講義・スライド〕	1) 歯の異常を理解する。 2) 口腔軟組織の先天異常を理解する。 3) 唇顎口蓋裂の疫学、症状、治療の流れを理解する。	1) 萌出時期・歯数の異常、萌出位置の異常の病態と治療法を説明できる。 2) 小帯の異常、舌の異常、口唇の異常、口腔粘膜の異常の病態と治療法を説明できる。 3) 唇顎口蓋裂の発生率や原因および唇顎口蓋裂に伴う障害と治療の流れについて説明、記述できる。	予習) 教科書の P44-58、P67-71、P245-247、P268-271を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)
3	10/16 (月) 1限	泉	ユニット 3 先天異常・発育異常 〔講義・スライド〕	1) 顎変形症の症状や症型分類、治療の流れ、手術法を理解する。 2) 代表的な症候群を理解する。	1) 顎変形症の症型分類、外科的矯正治療の流れ、代表的な顎矯正手術法を説明、記述できる。 2) 代表的な症候群を説明できる。	予習) 教科書の P59-66、P72-75、P272-279を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。1.0時間	認知 (解釈)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
4	10/23 (月) 1限	泉	ユニット4 顎顔面の外傷 [講義・ スライド]	1) 歯の損傷・歯槽骨骨折の原因と種類、治療法を理解する。 2) 顎骨骨折の原因と種類、症状および治療法を理解する。 3) 軟組織の損傷の原因と種類、症状および治療法を理解する。	1) 歯の破折と脱臼の症状と治療法を説明、記述できる。 2) 顎骨骨折を分類し、症状や治療法を説明、記述できる。 3) 軟組織損傷を分類し説明できる。	予習) 教科書のP76-86、P245-254、P281-282を精読する。 0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。 1.0時間	認知 (解釈)
5	10/30 (月) 1限	泉	ユニット5 口腔粘膜疾患1 [講義・ スライド]	1) 粘膜疾患の基本症状を理解する。 2) 水疱形成、紅斑・びらん、潰瘍、白斑を主徴とする疾患の特徴と治療法を理解する。	水疱形成、紅斑・びらん、潰瘍、白斑を主徴とする疾患の病態を把握し、症状と治療法について説明、記述できる。	予習) 教科書のP87-99を精読する。 0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。 1.0時間	認知 (解釈)
6	11/6 (月) 1限	泉	ユニット6 口腔粘膜疾患2 [講義・ スライド]	1) 色素沈着を主徴とする疾患の特徴と治療法を理解する。 2) そのほか舌に現れる疾患の特徴を理解する。	1) 色素沈着を主徴とする疾患の病態を把握し、症状と治療法について説明、記述できる。 2) 口腔粘膜に限局して見られる疾患と全身疾患と関連して見られる疾患を説明できる。	予習) 教科書のP87-104を精読する。 0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。 1.0時間	認知 (解釈)
7	11/13 (月) 1限	泉	ユニット7 炎症 [講義・ スライド]	1) 歯性炎症の原因と症状、進路経路を理解する。 2) 歯性炎症の治療法を理解する。 3) 薬剤関連顎骨壊死の特徴と治療法を理解する。 4) 特異性炎の病態と治療法を理解する。	1) 歯性炎症の原因と症状、進路経路について説明、記述できる。 2) 歯性炎症の治療法を説明できる。 3) 薬剤関連顎骨壊死の特徴と治療法について説明、記述できる。 4) 特異性炎の病態と治療法を説明できる。	予習) 教科書のP105-115、P212-214を精読する。 0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。 1.0時間	認知 (解釈)
8	11/20 (月) 1限	泉	ユニット8 嚢胞 [講義・ スライド]	1) 嚢胞の定義と分類を理解する。 2) 顎骨嚢胞、軟組織嚢胞、偽嚢胞に分類し、分類された疾患の特徴と治療法を理解する。	1) 嚢胞の定義と分類を説明できる。 2) 顎骨嚢胞、軟組織嚢胞、偽嚢胞のそれぞれの疾患の特徴と治療法を説明、記述できる。	予習) 教科書のP116-125、P231-241、P284-285を精読する。 0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。 1.0時間	認知 (解釈)
9	11/27 (月) 1限	泉	ユニット9 良性腫瘍および腫瘍類似疾患 [講義・ スライド]	1) 腫瘍の性質と分類を理解する。 2) 良性腫瘍と悪性腫瘍の相違を理解する。 3) 口腔・顎顔面領域の良性腫瘍と腫瘍類似疾患の特徴と治療法を理解する。	1) 腫瘍の性質と分類を説明できる。 2) 良性腫瘍と悪性腫瘍の相違を説明できる。 3) 口腔・顎顔面領域の良性腫瘍と腫瘍類似疾患の特徴と治療法について説明、記述できる。	予習) 教科書のP126-142、P229-230、P242-244、P286を精読する。 0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。 1.0時間	認知 (解釈)
10	12/4 (月) 1限	佐々木	ユニット10 悪性腫瘍(口腔癌) [講義・ スライド]	1) 口腔癌の疫学を理解する。 2) 口腔癌の症状と診断分類、治療法を理解する。 3) 口腔癌の外科療法を理解する。	1) 口腔癌の口腔癌の症状と診断分類、治療法を説明、記述できる。 2) 口腔癌の外科療法を説明できる。	予習) 教科書のP143-153 P287-295を精読する。 0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。 1.0時間	認知 (解釈)
11	12/11 (月) 1限	泉	ユニット11 顎関節疾患 [講義・ スライド]	1) 顎関節の構造と機能を理解する。 2) 顎関節疾患の特徴と治療法を理解する。	1) 顎関節の構造と機能を説明できる。 2) 顎関節疾患の診断と治療法を説明、記述できる。	予習) 教科書のP154-165 P296-302を精読する。 0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。 1.0時間	認知 (解釈)
12	12/18 (月) 1限	勝俣	ユニット12 唾液腺疾患 [講義・ スライド]	1) 口腔・顎顔面領域の唾液腺の構造と機能を理解する。 2) 唾液腺疾患の特徴と治療法を理解する。	1) 唾液腺の機能と構造、唾液について説明できる。 2) 唾液腺疾患の特徴と治療法を説明、記述できる。	予習) 教科書のP166-179 P255-257を精読する。 0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。 1.0時間	認知 (解釈)
13	1/10 (水) 1限	泉	ユニット13 神経疾患 [講義・ スライド]	1) 口腔・顎顔面領域を支配する神経の構造と機能を理解する。 2) 口腔・顎顔面領域の神経疾患の特徴と治療法の原則を理解する。	1) 口腔・顎顔面領域を支配する神経について説明できる。 2) 神経疾患の特徴と治療法の原則を説明、記述できる。	予習) 教科書のP180-185を精読する。 0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。 1.0時間	認知 (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と必 要時間	教育 目標 領域
14	1/15 (月) 1限	泉	ユニット14 血液疾患 [講義・ スライド]	1) 止血機構を理解する。 2) 血液疾患の臨床病態や検査を理解する。	1) 代表的な血液疾患である貧血と白血病の臨床病態（原因、症状、問題点）について説明、記述できる。 2) 出血傾向を示す疾患の臨床病態（原因、症状、問題点）について説明、記述できる。	予習) 教科書のP186-192を精読する。0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。 1.0時間	認知 (解釈)
15	1/22 (月) 1限	泉	ユニット15 口腔外科手術論 [講義・ スライド]	1) 口腔外科手術（抜歯術）の術式や必要な器具を理解する。 2) 創傷治癒過程を理解する。3) 出血の分類と止血処置を理解する。	1) 口腔外科手術の術式を理解し、必要な器材、手術の偶発症について説明できる。 2) 創傷治癒過程について説明できる。 3) 出血の分類と止血処置について説明できる。	予習) 教科書のP194-211、P215-225、P339-350を精読する。 0.5時間 復習) 配布資料を完成させる。 1.0時間	認知 (解釈)

小児歯科学

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 15 コマ；30 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3 (10 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011216
 評価責任者： 松尾忠行
 講義担当： 馬場篤子、柏村晴子、熊谷徹弥

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために、胎生期から成人にいたる間の小児の口腔領域の正常な発育を促し、これを阻害する口腔疾患について、その種類と治療法を知ることによって、歯科衛生士が行う小児のう蝕予防、口腔管理法および小児歯科診療補助業務に関し多様な対象者を支援する力を修得する。

2. 教育方法

スライドを用いた講義を行う。

大学病院において、歯科医師として小児歯科に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、スライド (PC+プロジェクター)

4. 学修方法

授業には、指定教科書を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の対応項目に目を通すなど、事前学修 (予習) を怠らないこと。授業中はノート等記録を取ること。授業後は、教科書等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。本授業を理解する上で、口腔解剖学、口腔病理学、口腔生理学等の知識が必要である。また本授業は矯正歯科学、歯周病学、保存修復学、歯科補綴学、口腔外科学と関連があり、理解に不可欠である。

【単位修得に必要な授業外学修時間：15時間】

5. 評価

定期試験： (中間試験を含む) 記述試験 (90%)

平常評価：授業態度 (出席・発問・質疑等) (10%)

フィードバック：試験結果 (成績) は、試験終了後に掲示する。

尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

1. 「歯科衛生学シリーズ 小児歯科」 2023

7. 参考書

1. 「新・歯科衛生士教育マニュアル 小児歯科学」 編集：木村光孝他 クインテッセンス出版株式会社 2014年

2. 「歯科衛生士国試対策集 2024 年対応」 歯科衛生士国試対策研究会編 クインテッセンス出版 2023 年

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	9/20 (水) 2限	馬場	ユニット 1 小児歯科学概論 心身の発育 [講義]	1) 小児歯科学概論を説明できる 2) 小児の心身の発育を説明できる	(1) 小児歯科の意義と目的を説明できる (2) 小児の発育段階と口腔の変化を説明できる (3) 小児の発育の概念と分類を説明できる (4) 小児の発育状態の評価法を説明できる (5) 小児の生理的年齢を説明できる (6) 各器官の発育を説明できる (7) 小児の精神発達を説明できる	教科書 1. の P2-19 を読 んでくるこ と (0.5時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (想起)
2	9/27 (水) 2限	馬場	ユニット 2 小児の生理的特徴 顔面頭蓋の発育 [講義]	1) 小児の生理的特徴を説明できる 2) 小児の顔面頭蓋の発育を説明できる	(1) 小児のバイタルサインと生理的特徴を説明できる (2) 小児の薬剤処方と薬物療法について説明できる (3) 脳頭蓋と顔面頭蓋の発育変化を説明できる (4) 脳頭蓋の発育の特徴を説明できる (5) 顔面頭蓋の発育の特徴を説明できる (6) 顎顔面頭蓋の発育の評価法を説明できる	教科書 1. の P20-30 を 読んでくる こと (0.5時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (想起) (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
3	10/4 (水) 2限	馬場	ユニット 3 歯の発育とその異常 [講義]	1) 歯の発育とその異常を説明できる 2) 歯の形成について説明できる 3) 歯の発育時期と形成異常を説明できる 4) 歯の萌出を説明できる 5) 歯の萌出異常を説明できる	(1) 乳歯の特徴を説明できる (2) 幼若永久歯の特徴を説明できる (3) 歯の発育の概要を説明できる (4) 歯の形成異常を説明できる (5) 歯の萌出時期と順序を説明できる (6) 歯の萌出異常を説明できる	教科書 1. のP31-42を 読んでくる こと (0.5時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (想起) (解釈)
4	10/11 (水) 2限	馬場	ユニット 4 歯列・咬合の発育と異常 [講義]	1) 歯列・咬合の発育について説明できる	(1) 歯列の発育分類を説明できる (2) 各歯列期の臨床的特徴を説明できる (3) ヘルマンの咬合発育段階を説明できる (4) 歯列および咬合の発育異常を説明できる (5) 口腔習癖に起因する不正咬合の特徴を説明できる	教科書 1. のP43-52を 読んでくる こと (0.5時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (想起) (解釈)
5	10/20 (金) 2限	馬場	ユニット 5 小児の歯科疾患 [講義]	1) 小児にみられるう蝕を説明できる 2) 小児にみられる歯周疾患を説明できる 3) 小児にみられる口腔軟組織の異常と疾患を説明できる 4) 口唇裂・口蓋裂の問題点や患者支援について説明できる	(1) う蝕の病因と予防法を説明できる (2) 乳歯のう蝕の特徴、為害性、罹患型と年齢別の好発部位を説明できる (3) 幼若永久歯のう蝕の特徴を説明できる (4) 小児の歯周組織の特徴を説明できる (5) 小児の歯肉炎・歯周炎を説明できる (6) 全身疾患や薬物が影響する歯周疾患を説明できる (7) 小児の口腔粘膜や歯肉・口唇に現れる疾患を説明できる (8) 唇顎口蓋裂の問題点と小児歯科の関わりを説明できる	教科書 1. のP53-65を 読んでくる こと (0.5時間)	認知 (想起) (解釈)
6	10/27 (金) 2限	馬場	ユニット 6 中間試験 [講義]				
7	11/1 (水) 2限	馬場	ユニット 7 小児虐待 小児期の特徴と歯科的問題点 [講義]	1) 小児虐待について説明できる 2) 小児期の各時期の特徴と留意点と歯科疾患について説明できる	(1) 虐待の種類・頻度・起こる背景を説明できる (2) 身体的虐待による各部の所見を説明できる (3) ネグレクトとう蝕について説明できる (4) 歯科衛生士からのアプローチを説明できる (5) 小児期の特徴と歯科疾患を説明できる	教科書 1. のP66-77を 読んでくる こと (0.5時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (想起) (解釈)
8	11/8 (水) 2限	熊谷	ユニット 8 小児歯科における患者との対応法 [講義]	1) 患児・保護者・歯科医師歯科衛生士との関係を説明できる 2) 歯科診療室における小児の態度と行動を説明できる 3) 年齢別にみた小児の行動と対応法を説明できる 4) 歯科治療時の対応法を説明できる	(1) 小児歯科と成人歯科との対応法の違いについて説明できる (2) 小児の情動や考え方などの精神発達を理解し、年齢別対応法を説明する (3) 歯科診療室における小児の態度や行動に影響を及ぼす要因を説明する (4) 歯科診療室における小児の対応法の種類と概要を説明できる (5) 歯科衛生士として対応法の要点について説明できる (6) 小児歯科医療における緊急事態と偶発症を説明できる	教科書 1. のP78-95を 読んでくる こと (0.5時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (想起) (解釈)
9	11/15 (水) 2限	熊谷	ユニット 9 小児歯科における診療体系① [講義]	1) 小児歯科診療とその特徴を説明できる 2) 小児歯科治療における原則を説明できる 3) 小児の口腔の診察・検査・診断を説明できる 4) 歯の健康教室について説明できる 5) 小児歯科における麻酔法を説明できる 6) 小児歯科診療室および器材の管理を説明できる	(1) 小児歯科診療の特徴を説明できる (2) 歯の健康教室の目的を説明できる (3) 局所麻酔を説明できる (4) 小児歯科診療における歯科衛生士の役割を説明できる (5) 歯科診療室の管理を説明できる (6) 小児歯科診療室で用いられる器材管理の工夫を説明できる	教科書 1. のP96-111、 201-205を読 んでくるこ と (0.5時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (想起) (解釈)
10	11/22 (水) 1限	馬場	ユニット10 小児歯科における診療体系② [講義]	1) 小児の歯冠修復を説明できる	(1) ラバーダム防湿を説明できる (2) 乳歯歯冠修復処置を説明できる (3) 乳前歯の全部修復を説明できる (4) 乳臼歯の全部修復を説明できる (5) 幼若永久歯の歯冠修復処置を説明できる (6) 診療に必要な器材と留意点を説明できる	教科書 1. のP112-123 を読んでく ること (0.5時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (想起) (解釈)

回	授業日	授 業 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習 項目と 必要時間	教育 目標 領域
11	11/29 (水) 2限	馬場	ユニット11 小児歯科における 診療体系③ [講義]	1) 小児の歯内療法を説明できる 2) 小児の外科的処置を説明できる	(1) 乳歯歯髄疾患の種類とその処置を説明できる (2) 乳歯歯髄炎の診断を説明できる (3) 乳歯歯髄の処置を説明できる (4) 幼若永久歯の歯髄保存療法を説明できる (5) アペキソゲネシスを説明できる (6) アペキシフィケーションを説明できる (7) 乳歯の抜歯を説明できる (8) 抜歯後や服薬の注意事項について説明できる (9) 小手術を説明できる (10) 診療に必要な器材と留意点を説明できる	教科書 1. のP124-141 を読んでく ること (0.5時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (想起) (解釈)
12	12/6 (水) 1限	馬場	ユニット12 小児歯科における 診療体系④ [講義]	1) 小児の歯の外傷の特徴および処置を説明できる 2) 咬合誘導を説明できる	(1) 乳歯・幼若永久歯外傷の問題点と処置を説明できる (2) 外傷の予防を説明できる (3) 保険の目的・保険装置の種類を説明できる (4) 能動的咬合誘導装置を説明できる (5) 保険装置の管理を説明できる (6) 診療に必要な器材と留意点を説明できる	教科書 1. のP141-149 を読んでく ること (0.5時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (解釈) (問題解決)
13	12/20 (水) 2限	柏村	ユニット13 小児歯科における 診療体系⑤ う蝕予防 [講義]	1) フッ化ジアンミン銀塗布を説明できる 2) リコールシステムの意義、管理を理解する 3) リコールの来院時に行う項目、間隔、時期を理解する 4) 小児のう蝕予防を説明できる	(1) フッ化ジアンミン銀塗布を説明できる (2) リコールシステムの意義、管理を説明できる (3) リコールの来院時に行う項目、間隔、時期を説明できる。 (4) 小児歯科におけるブラークコントロールの意義を説明できる	教科書 1. のP149-153 P169-174を 読んでく ること (0.5時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (解釈) (問題解決)
14	1/10 (水) 2限	柏村	ユニット14 う蝕予防 [講義]	1) 小児のう蝕予防を説明できる	(1) 小児におけるフッ化物の応用について説明できる (2) 小窩裂溝充填法を説明できる (3) 代用甘味料を説明できる (4) う蝕予防のための食生活指導を説明できる	教科書 1. のP175-190 を読んでく ること (0.5時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (解釈) (問題解決)
15	1/17 (水) 1限	馬場	ユニット15 障害児の歯科診療 小児の口腔健康管理 [講義]	1) 障害児における歯科対応 2) 主な障害とその全身的・歯科的特徴を説明できる 3) 障害児への対応 4) 小児の摂食・嚥下障害の特徴 5) 口腔健康管理の目的・方法を理解し必要な検査と指導が説明できる	(1) 障害児の特徴と健常児との違いを説明することができる。 (2) 知的障害（精神遅滞）について説明することができる (3) 障害児の歯科保健について説明することができる (4) 障害児の歯科治療について器材を説明することができる (5) 乳児期・幼児期・学童期・思春期における口腔健康管理の説明や指導ができる	教科書 1. のP154-168 P191-200を 読んでく ること (0.5時間) 授業後に教 科書で復習 すること (0.5時間)	認知 (想起) (問題解決)

矯正歯科学

開講時期： 1 年次後期
 授業時間数： 15コマ；30時間 1単位
 受験資格要件： 2/3(10コマ)以上の出席
 科目番号： DH011217
 評価責任者： 松尾 忠行
 授業担当者： 梶原弘一郎

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として歯列、咬合、口腔機能に基づいた口腔保健管理を実施するために正常咬合、不正咬合、矯正治療に関する知識を習得し、対象者の生活の質（QOL）の向上を図るための口腔の健康管理が出来る知識を修得する。

2. 教育方法 講義

大学病院等で、歯科医師として歯科矯正学に携わった実務経験を生かし実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書・プリント・PC とプロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定された教科書を必ず持参する。必要に応じて補足資料プリントを配布する。下記の予習項目に記載された教科書の該当箇所を読み、事前予習を行うこと。講義中の要点をノートに記載すること。講義後は、教科書や配布プリント等で講義内容の復習をその日のうちに行うこと。
 本講義を理解する上で、口腔解剖学、口腔病理学、口腔生理学等の知識が必要である。また本授業は小児歯科学、歯周病学、保存修復学、歯科補綴学、口腔外科学と関連があり、これらの科目の理解に不可欠である。

[単位修得に必要な授業外学修時間：15時間]

5. 評価方法

[総括的評価] 記述試験（40%）・客観試験（60%）
 [フィードバック] 掲示により発表する。

6. 教科書

「歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学」医歯薬出版 2023

7. 参考書

「歯科衛生士国試対策集2024年対応」 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2023年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と必要時間	教育目標領域
1	9/22 (金) 2限	梶原	オリエンテーションユニット1 矯正歯科治療の概要 [講義]	1) 矯正歯科治療の目的、歴史、治療の流れ、種類と開始時期を理解する。	(1) 矯正歯科治療に関心を持ち、矯正歯科の概念と内容を述べるができる。 (2) 矯正歯科治療における歯科衛生士の役割の概要について述べるができる。	教科書1. のP2-6, 9-12を精読する 予習0.5時間、復習0.5時間	認知(想起)
2	9/29 (金) 2限	梶原	ユニット2 不正咬合による障害 [講義]	1) 生理的障害、心理的障害について理解する。	(1) 不正咬合であることに対するリスクについて説明することができる。 (2) 矯正治療のベネフィットとリスクを説明できる。	教科書1. のP6-9を精読する 予習0.5時間、復習0.5時間	認知(想起)
3	10/6 (金) 2限	梶原	ユニット3 成長発育(1) [講義]	1) 成長発育の概要を理解する。 2) 顎顔面頭蓋の成長発育を理解する。	(1) 成長発育の定義、パターン、評価を記述することができる。 (2) 顎顔面頭蓋の成長発育を説明することができる。	教科書1. のP13-20を精読する 予習0.5時間、復習0.5時間	認知(解釈)
4	10/13 (金) 2限	梶原	ユニット4 成長発育(2) [講義]	1) 歯・歯列の成長発育について理解する。	(1) 歯の発生、乳歯列、混合歯列、永久歯列を説明することができる。 (3) 霊長空隙、発育空隙、ターミナルプレーンについて説明することができる。	教科書1. のP20-22を精読する 予習0.5時間、復習0.5時間	認知(解釈)

回	授業日	授 業 担 当 者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目と必要時間	教育目標 領域
5	10/18 (水) 2限	梶原	ユニット 5 咬合 (1) [講義]	1) 咬合について理解する。 2) 正常咬合を理解する。	(1) 咬合と下顎位、顎運動を説明することができる。 (2) 正常咬合の定義と種類、上下の歯の接触関係、正常咬合の成立、および保持条件を説明することができる。	教科書1. の P23-28 を精読する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (想起)
6	10/25 (水) 2限	梶原	ユニット 6 咬合 (2) [講義]	1) 不正咬合について理解する。	(1) 歯・歯列・咬合の異常、歯列弓形態の異常、上下歯列弓関係の異常、不正咬合の分類について説明することができる。	教科書 2. の P28-33 を精読する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (解釈)
7	11/10 (金) 2限	梶原	ユニット 7 不正咬合の原因 [講義]	1) 先天的原因を理解する。 2) 後天的原因を理解する。	(1) 全身的原因 (遺伝的・環境的要因)、局所的原因 (顔面形態、歯の形態・数の異常、舌の形態異常) を説明することができる。 (2) 全身的原因 (内分泌系疾患、栄養障害)、局所的原因 (歯の交換の錯誤、永久歯のう蝕・喪失、歯周疾患、不良習癖、鼻咽腔疾患、小帯の異常顎関節の異常、口腔腫瘍、外傷、不良修復物) を説明することができる。	教科書 2. の P33-37 を精読する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (想起)
8	11/17 (金) 2限	梶原	ユニット 8 矯正診断 [講義]	1) 診断資料について理解する。	(1) 診断資料の種類、資料採得、資料の計測、分析診断法について説明することができる。	教科書 1. の P38-52 を精読する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (解釈)
9	11/24 (金) 2限	梶原	ユニット 9 矯正力と組織反応 [講義]	1) 矯正力とその作用様式、組織反応を理解する。	(1) 適切な矯正力、歯の移動様式を説明することができる。 (2) 矯正力の作用様式 (大きさ、作用時間、作用、分布、作用方向) を説明することができる。 (3) 歯の移動に伴う組織反応を説明することができる。	教科書 1. の P53-60 を精読する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (想起)
10	12/1 (金) 2限	梶原	ユニット 10 矯正用器材 [講義]	1) 矯正用材料・器械器材を理解する。	(1) 矯正治療に用いる材料の種類・特徴を説明することができる。 (2) 矯正治療に用いる器械・器具の種類と用途を説明することができる。	教科書 1. の P127-138 を精読する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (想起)
11	12/8 (金) 2限	梶原	ユニット 11 矯正装置 (1) [講義]	1) 矯正装置の種類と構造を理解する。	(1) 固定式、半可撤式、可撤式矯正装置を説明することができる。	教科書 1. の P64-79 を精読する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (想起)
12	12/13 (水) 2限	梶原	ユニット 12 矯正装置 (2) [講義]	1) 不正咬合と矯正装置の関係について理解する。	(1) 不正咬合別に用いる矯正装置を説明することができる。 (2) 機能的矯正装置、顎整形力を用いる装置、歯列弓拡大装置を説明することができる。	教科書 1. の P29-37、64-77 を精読する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (解釈)
13	12/22 (金) 2限	梶原	ユニット 13 保定 [講義]	1) 保定の意義と方法を理解する。	(1) 保定の必要性、種類を説明することができる。 (2) 保定装置 (器械的保定装置の種類と構造) を説明することができる。	教科書 1. の P61-63、77-79 を精読する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (解釈)
14	1/12 (金) 2限	梶原	ユニット 14 口腔習癖 [講義]	1) 不正咬合と口腔機能・口腔習癖との関連を理解する。	(1) 不正咬合と口腔機能 (摂食、嚥下) の関連を説明することができる。 (2) 口腔習癖の種類、原因、予防、治療法 (器具と訓練) を説明することができる。	教科書 1. の P21-22、35-37、76-77、173-181 を精読する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (想起)
15	1/19 (金) 2限	梶原	ユニット 15 歯科衛生士の役割 [講義]	1) 矯正治療における診療補助と口腔衛生指導を理解する。	(1) 診療補助を説明することができる。 (2) 口腔衛生指導を説明することができる。	教科書 1. の P11、113-118、138-172 を精読する 予習0.5時間 復習0.5時間	認知 (解釈)

歯科予防処置論（講義）Ⅰ

開講時期： 1年次前期
 授業時間数： 10コマ；20時間1単位
 受験資格要件： 2/3（7コマ）以上の出席
 科目番号： DH011221
 評価責任者： 松尾忠行
 授業担当者： 力丸哲也、松尾忠行、森沙耶香
 泉喜和子、井上庸子、高木未沙稀
 川尻 望、岡崎晴菜、奥村明日香

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として根拠や理論に基づいた口腔保健管理を実施するために必要な齲蝕予防法や歯周病予防法に関する情報や知識を理論的に分析・考察するための科学的思考力を修得する。

2. 教育方法

講義・演習・グループワークを行う。大学病院および歯科医院において、歯科衛生士および歯科医師として患者の口腔保健管理に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席になる。授業は予習していることを前提に開始する。レポート課題は締切期日を守る。本授業を理解する上で、口腔衛生学Ⅰ、歯科予防処置実習Ⅰ等の知識が必要であり、本授業は口腔衛生学Ⅱ、歯周病治療学、歯科予防処置実習Ⅱの理解に不可欠である。

[単位修得に必要な授業外学修時間：25時間]

5. 評価方法

[総括的評価] 定期試験：記述試験（80％）平常評価：レポート・観察記録・授業態度（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等）（20％）

[フィードバック] 試験結果（成績）は、試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

1. 「歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論」 医歯薬出版、2023年
2. 「新フッ化物で始める虫歯予防」 筒井昭仁等、医歯薬出版、2019年
3. 「歯科衛生学シリーズ 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学」 2023年

7. 参考書

1. 「最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論第2版」 合場千佳子等、医歯薬出版、2018年
2. 「口腔衛生学-口腔保健統計を含む-第4版」 荒川浩久等、学建書院、2020年
3. 「歯科衛生士国試対策集 2024 対応」 歯科衛生士国試対策研究会、クインテッセンス出版、2023年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標（GIO）	行動目標（SBOs）	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	4/11 (火) 1限	力丸	ユニット1 歯科予防処置総論 [講義]	1) 歯科衛生士法における歯科予防処置の範囲と業務内容を理解する。	(1) 口腔の健康管理に関心を持ち、歯科予防処置の概念と内容を述べるができる。 (2) 歯科予防処置の法的位置づけについて述べることができる。	教科書1. のP2-5、P11-13を精読する (2.5時間)	認知 (想起)
2	4/13 (木) 1限	松尾 岡崎 奥村	ユニット4 う蝕予防の基礎知識1 (う蝕の原因と進行) [講義]	1) う蝕の原因と進行について理解する。	(1) う蝕の定義、分類、原因、プロセスについて説明することができる。	う蝕の分類、原因を記載すること (2.5時間)	認知 (想起)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
3	4/13 (木) 2限	松尾 岡崎 奥村	ユニット4 う蝕予防の基礎 知識2 (う蝕のリスク 評価と予防方 法) [講義]	1) う蝕のリスク評価 から対象者を把握し、 必要な予防法を理解 する。	(1) う蝕のリスクを判断 することができる。 (2) 対象者のリスクに合 わせた予防法の説明をする ことができる。	う蝕のリスク評価 を記載すること (2.5時間)	認知 (想起)
4	4/14 (金) 2限	森 岡崎 奥村	ユニット2 歯冠及び歯根の 形態理解[講義]	1) 正常な歯・歯周組 織と口腔の機能につ いて理解する。	(1) 正常な歯・歯周組織 と口腔の機能について図示 し、説明することができる。 (2) 歯種の分類と名称を 理解し、記号に置き換える ことができる。 (2) 口腔内を観察し、ス ケッチやチャートに記載す ることができる。	教科書1「口腔の 基礎知識 P16-22」 を精読し、「歯・歯 周組織の構造 P16-22」および教 科書3「歯の形態 P72-109」をまとめ る(2.5時間)	認知 (解釈) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
5 6	4/19 (水) 1限 4/19 (水) 2限	森 力丸 岡崎 奥村 泉 井上	ユニット2 歯冠及び歯根の 形態理解[演習]	1) 正常な歯・歯周組 織と口腔の機能につ いて理解する。	(1) 正常な歯・歯周組織 と口腔の機能について図示 し、説明することができる。 (2) 歯種の分類と名称を 理解し、記号に置き換える ことができる。 (2) 口腔内を観察し、ス ケッチやチャートに記載す ることができる。	教科書1「口腔の 基礎知識 P16-22」 を精読し、「歯・歯 周組織の構造 P16-22」および教 科書3「歯の形態 P148-179」をまと める(5時間)	認知 (解釈) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
7	4/26 (水) 1限	力丸 岡崎 奥村	ユニット3 歯周病予防の基 礎知識1 (歯周病の原因 と進行) [講義]	1) 歯周病の原因と進 行について理解する。	(1) 歯周病の定義、分類、 原因、プロセスについて説 明することができる。	教科書1.のP28-32 を精読し、まとめ る (2.5時間)	認知 (想起)
8	4/27 (木) 1限	力丸 岡崎 奥村	ユニット3 歯周病予防の基 礎知識2(歯周 病のリスク評価 と予防方法) [講義]	1) 歯周病のリスク評 価から対象者を把握 し、必要な予防法を理 解する。	(1) 歯周病のリスクを判 断することができる。 (2) 対象者のリスクに合 わせた予防法を説明するこ とができる。	教科書1.のP37-43 を精読し、まとめ る (2.5時間)	認知 (想起)
9	5/2 (火) 3限	川尻 岡崎 奥村	ユニット5 歯科用器具の取 り扱い [講義]	1) 歯科用器材・器具 の取り扱いを理解す る。	(1) 適切な歯科用器材(ミ ラー・探針・ピンセット)の 操作を説明できる。 (2) 歯科用器材(ミラー・ 探針・ピンセット)の管理を 説明できる。	教科書1.のP139~ 144、P220~222を 精読する (2.5時間)	認知 (想起)
10	5/18 (木) 1限	川尻 岡崎 奥村	ユニット6 手用スケーラー の種類と操作法 [講義]	1) 手用スケーラーの 種類と操作法を理 解する。	(1) 手用スケーラーの種 類と特徴を説明できる。 (2) シックルスケーラー の操作法を説明できる。	教科書1.のP 186-195を精読す る(2.5時間)	認知 (想起)

歯科予防処置実習 I

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 20 コマ；40 時間 1 単位
 受験資格要件： 4/5 (16 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011223
 評価責任者： 川尻 望
 授業担当者： 松尾忠行、力丸哲也、泉喜和子
 後藤加寿子、井上庸子、黒木まどか
 南レイラ、高木未沙稀、岡崎晴菜
 奥村明日香

1. 一般目標

本授業は将来、歯科衛生士として多様な対象者を支援するために必要な齲蝕予防法や歯周病予防法に関する情報や知識を、理論に基づき論理的分析・考察する能力を修得する。また、歯および口腔の疾患を予防し健康な状態を維持・増進するための問題発見・解決能力を習得し、歯科予防処置技術を以って解決するスキルを身につける。

2. 教育方法

講義・演習・実習・小グループ学習
 歯科医療機関において歯科医師あるいは歯科衛生士として診療に携わった実務経験を活かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、配布資料、PC+プロジェクター、DVD、各種実習器材

4. 学修方法

授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席になる。授業は予習していることを前提に開始する。レポート課題は締切期日を守る。本授業を理解する上で、歯科診療補助論 I・実習 I、歯科保健指導論 I・実習 I、歯科予防処置論 I・実習 II の理解に不可欠である。

[単位修得に必要な授業外学修時間：20 時間]

5. 評価方法

[形成的評価] ミニテスト、レポートなど
 [フィードバック] 不十分な部分についてコメントを付して返却し、場合によっては再提出を求める。
 [総括的評価] 記述試験 (70%)・客観試験 (ミニテスト) (10%)・課題レポート (10%) 授業参加状況 (予習・復習の実施状況等) (10%)
 [フィードバック] 試験結果のフィードバックは採点后、答案を返却するとともに正解例を掲示する。

6. 教科書

1. 「歯科衛生シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版 2023 年
2. 「新フッ化物で始める虫歯予防」医歯薬出版 2019

7. 参考書

1. 「最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第 2 版」医歯薬出版 2017
2. 「口腔衛生学-口腔保健統計を含む-第 4 版」学建書院 2020

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (G10)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1 2	5/11 (木) 1, 2 限	南 高木 後藤 井上 川尻 岡崎 奥村	ユニット 2 マネキンの取り扱い [実習]	1) マネキンの取り扱いおよび歯牙模型の取り扱いを理解する。	(1) 適切にマネキン操作ができる。 (2) 適切に歯牙模型の使用、管理ができる。	教科書 1. の「口腔の構成要素 P16-27」、「基本設定 P185-188」を精読する。 (2 時間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
3 4	5/12 (金) 1, 2 限	川尻 力丸 泉 黒木 高木 岡崎 奥村	ユニット 3 歯科用器具の取り扱い [実習]	1) 歯科用器材・器具の取り扱いを理解する。	(1) 適切な歯科用器材 (ミラー・探針・ピンセット) の操作を実施できる。 (2) 歯科用器材 (ミラー・探針・ピンセット) の管理を実施できる。	教科書 1. の「歯面の付着物・沈着物 P139-144」を精読し、受講後まとめる。 (2 時間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
5	5/18 (木) 2限	川尻 井上 南 森 高木 岡崎 奥村	ユニット 4 手用スケーラーの基本 操作1 (机上訓練) カーブドシックルタ イプスケーラー・ミラ ー・探針の操作 [実習]	1) 手用スケーラ ーの種類と操作法 を理解する。	(1)シックルスケーラーを適切に 操作できる。 (マネキン模型上)	教科書 1. の 「手用スケーラ ーの種類、把持 法、操作の基本 P186-201を精 読し、受講後、 部位別設定をま とめる。 (11時間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
6	5/23 (火) 3限	川尻 力丸 井上 黒木 高木 岡崎 奥村	手用スケーラーの基 本操作2 (マネキン実習) カーブドシックルタ イプスケーラー・ミラ ー・探針の操作 下顎 前歯部 [実習]				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
7	5/25 (木) 1限	川尻 力丸 井上 黒木 高木 岡崎 奥村	手用スケーラーの基 本操作3 (マネキン実習) カーブドシックルタ イプスケーラー・ミラ ー・探針の操作 上顎 前歯部 [実習]				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
8	5/25 (木) 2限	川尻 力丸 井上 黒木 高木 岡崎 奥村	手用スケーラーの基 本操作4 (マネキン実習) カーブドシックルタ イプスケーラー・ミラ ー・探針の操作 左下臼歯部 [実習]				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
9	5/30 (火) 3限	川尻 力丸 井上 黒木 高木 岡崎 奥村	手用スケーラーの基 本操作5 (マネキン実習) カーブドシックルタ イプスケーラー・ミラ ー・探針の操作 右下臼歯部 [実習]				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
10 11	6/1 (木) 1限 6/1 (木) 2限	松尾 高木 岡崎 奥村	手用スケーラーの基 本操作6 (マネキン実習) カーブドシックルタ イプスケーラー・ミラ ー・探針の操作 下顎全顎1 [実習]				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
12 13	6/2 (金) 1,2限	川尻 力丸 黒木 井上 高木 岡崎 奥村	手用スケーラーの基 本操作7 (マネキン実習) カーブドシックルタ イプスケーラー・ミラ ー・探針の操作 下顎全顎2 [実習]				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
14	6/6 (火) 3限	川尻 力丸 黒木 井上 高木 岡崎 奥村	手用スケーラーの基 本操作8 (マネキン実習) カーブドシックルタ イプスケーラー・ミラ ー・探針の操作 左上臼歯部 [実習]				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
15 16	6/8 (木) 1,2限	松尾 高木 岡崎 奥村	ユニット1 口腔内における臨床 検査1 [講義・演習・グルー プワーク]	1) 口腔内の臨床 検査について理解 する。	(1) う蝕活動性試験の意義と目的 について説明できる。 (2) う蝕活動性試験の種類と特徴 について説明できる。 (3) う蝕活動性試験の術式を説明 できる。 (4) う蝕活動性試験を適切に実施 できる。 (5) カリオグラムを作成できる。	う蝕活動性試験 の目的、種類と 特徴および術式 を記載する。 (2時間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
17 18	6/9 (金) 1,2限	力丸 黒木 井上 川尻 高木 岡崎 奥村	口腔内における臨床 検査2 [講義・演習・グルー プワーク]			う蝕活動性試験 の目的、種類と 特徴および術式 を記載する。 (2時間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
19	6/13 (火) 3限	川尻 力丸 黒木 井上 高木 岡崎 奥村	手用スクレーラーの基 本操作9 (マネキン実習) カーブドシククルタ イブスクレーラー・ミラ ー・探針の操作 右上臼歯部 [実習]		実技試験日程： 6月 日()1,2限		認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
20	6/20 (火) 3限	松尾 岡崎 奥村	口腔内における臨床 検査3 (カリオグラム・ペリ オスクリーン) [講義・演習・グルー プワーク]		授業評価アンケート実施	う蝕活動性試験 の目的、種類と 特徴および術式 を記載する。 (1時間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)

歯科予防処置実習Ⅱ

開講時期： 1年次後期
授業時間数： 20コマ；40時間 1単位
受験資格要件： 4/5（16コマ）以上の出席
科目番号： DH011224
評価責任者： 井上 庸子
授業担当者： 松尾 忠行、堀部 晴美
力丸 哲也、泉 喜和子
南 レイラ、森 沙耶香
川尻 望、黒木まどか
井上 庸子
岡崎 晴菜、奥村明日香

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として多様な対象者を支援するために必要な齲蝕予防法や歯周病予防法に関する情報や知識を理論に基づき論理的分析・考察する能力を修得する。また、歯および口腔の疾患を予防して健康な状態を維持・増進するために問題発見・解決能力を修得し、歯科予防処置技術を以って解決するスキルを身につける。

2. 教育方法

講義・演習グループワーク

大学病院、歯科医院において、歯科衛生士および歯科医師として患者の口腔保健管理に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC+プロジェクター 各種実習器材

4. 学修方法

授実習には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。実習中は、重要点など記録すること。実習後は、アクティブラーニングとして事後学習（復習）を行い、技術を修得すること。レポート課題は、締め切り期日を守ること。授業は定刻に始まるので遅刻は欠席になる。本授業を理解する上で、口腔解剖学、口腔生理学、歯科予防処置論Ⅰ・実習Ⅰ、保健指導論Ⅰ・実習Ⅰの知識が必要であり、本授業は歯周病治療学、歯科予防処置論Ⅱ・実習Ⅲ・実習Ⅳ、歯科保健指導論Ⅱ・実習Ⅱ・実習Ⅲの理解に不可欠である。[単位修得に必要な授業外学修時間：20時間]

5. 評価方法

[形成的評価] ミニテスト、レポート

[フィードバック] レポートは、不十分な部分についてコメントを付して返却し、場合によっては再提出を求める。ミニテストは次の回の講義時に答案を返却し、模範解答を示す。

[総括的評価] 記述試験（80%）・実技試験（10%：ユニット1）、授業参加状況（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等授業への貢献度）（10%）

[フィードバック] 以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1. 『歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論』 医歯薬出版 2023年
2. 『新フッ化物で始める虫歯予防』 医歯薬出版 2019年
3. 『口腔衛生学-口腔保健統計を含む-第4版』 学建書院 2022年

7. 参考書

1. 『最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論』 第2版 医歯薬出版 2022年
2. だれでもバッチリ撮れる！口腔内写真撮影 歯科衛生士臨床のための Quint study club クインテッセンス出版株式会社 2008年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	9/21 (木) 3限	黒木 南 川尻 森 高木	ユニット1 手用スケーラーの基本操作1 (マネキン実習) キュレットスケーラー [講義]	1) キュレットスケーラースケーラーの種類と操作法を理解する。	(1) キュレットスケーラーの種類と特徴を説明できる。 (2) キュレットスケーラーの操作法を説明できる。	教科書1 の「手用スケーラー」 P.186-192、「キュレットスケーラー」P.192-195、「部位別操作」P.196-201、「ミラーテクニック」P.220-222、を精読する。 (0.5時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
2	9/22 (金) 3限	黒木 泉 南 川尻 奥村 岡崎	ユニット1 手用スケーラーの基本操作2 (マネキン実習) キュレットスケーラー 下顎前歯部 [実習]	1) キュレットスケーラースケーラーの種類と操作法を理解する。	(1) キュレットスケーラーの種類と特徴を説明できる。 (2) キュレットスケーラーの操作法を説明できる。 実技試験日程: / () 担当者: 黒木、	教科書1 の「キュレットスケーラー」P.192-195、「部位別操作」P.196、「ミラーテクニック」P.220-222をまとめる。 (1時間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
3	9/22 (金) 4限	黒木 泉 南 川尻 奥村 岡崎	ユニット1 手用スケーラーの基本操作3 (マネキン実習) キュレットスケーラー 上顎前歯部 [実習]				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
4	9/26 (火) 3限	黒木	ユニット1 手用スケーラーの基本操作4 (マネキン実習) キュレットスケーラー 左下臼歯部 [実習]				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
5	9/26 (火) 4限	黒木 泉 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット1 手用スケーラーの基本操作5 (マネキン実習) キュレットスケーラー 右下臼歯部 [実習]				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
6	9/28 (木) 3限	黒木 南 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット1 手用スケーラーの基本操作6 (マネキン実習) キュレットスケーラー 左上臼歯部 [実習]				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
7	9/28 (木) 4限	黒木 南 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット1 手用スケーラーの基本操作7 (マネキン実習) キュレットスケーラー 右上臼歯部 [実習]				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
8	9/29 (金) 3限	黒木 泉 南 川尻	ユニット1 手用スケーラーの基本操作8 (マネキン実習) キュレットスケーラー 全顎1 [実習]				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
9	9/29 (金) 4限	黒木 泉 南 川尻 奥村 岡崎	ユニット1 手用スケーラーの基本操作9 (マネキン実習) キュレットスケーラー 全顎2 [実習]				認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
10	10/20 (金) 3,4限	井上 泉 南 川尻	ユニット2 口腔内カメラ [講義・実習]	1) 口腔内規格写真用カメラの取り扱いを理解する。 2) 顔面・口腔内規格写真について理解する。	(1) 顔面・口腔内写真の撮影と管理を実施できる。 (2) 顔面・口腔内規格写真について説明できる。	教科書1 のP.168-170、 参考書1のP.92-95 参考書3のP.16-35 を精読する。 受講後、撮影した写真を並べ資料としてまとめる。 (1時間)	認知 (想起) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
11	10/24 (火) 3,4限	井上 泉 力丸 川尻 奥村 岡崎					
12	10/27 (金) 3,4限	井上 堀部 泉 黒木 川尻 奥村 岡崎	ユニット2 口腔内カメラ [実習]				13
14	10/31 (火) 3,4限	松尾	ユニット3 口臭測定 [講義・実習]	1) 口臭測定の意義について理解する。	(1) 口臭の検査法(官能試験、口臭測定器)について列挙できる。 (2) 官能試験の方法を説明できる。 (3) 口臭測定器(オーラルクロマ)の測定方法を説明できる。	口臭検査法および官能試験、オーラルクロマの測定方法を記載すること 教科書3 P.90-92 (1時間)	
15							
16	11/21 (火) 3限	松尾 奥村 岡崎	ユニット4 フッ化物応用1 フッ化物洗口 [実習]	1) フッ化物洗口について理解する。	(1) フッ化物によるう蝕予防法を説明できる。 (2) フッ化物洗口について目的、方法を説明できる。 (3) フッ化物洗口を実施できる。	フッ化物洗口法の目的、方法を記載すること 教科書2 P.13-28 教科書1 P.241-247 (1時間)	認知 (解釈) 情意 (受入) 精神運動 (模倣)
17	12/14 (木) 4限	川尻 奥村 岡崎	ユニット5 フッ化物応用2 フッ化物歯面塗布 [講義]	1) フッ化物歯面塗布について理解する。	(1) フッ化物によるう蝕予防法を列記できる。 (2) フッ化物歯面塗布について目的、方法を列記できる。	教科書1 の P.233-241、P.253-258を精読する (0.5時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
18	1/16 (火) 2,3,4限	川尻 泉 井上 黒木 森 奥村 岡崎	ユニット5 フッ化物応用2 フッ化物歯面塗布 [実習]	1) フッ化物歯面塗布について理解する。	(1) フッ化物によるう蝕予防法を説明できる。 (2) フッ化物歯面塗布について目的、方法を説明できる。 (3) フッ化物歯面塗布を実施できる。		
19							
20					授業評価アンケート実施		

歯科保健指導実習 I

開講時期： 1 年次前期
授業時間数： 15 コマ；30 時間 1 単位
受験資格要件： 4/5 (12 コマ) 以上の出席
科目番号： DH011235
評価責任者： 南レイラ
授業担当者： 後藤加寿子、石井綾子、南レイラ
森沙耶香、川尻 望、高木未沙稀
岡崎晴菜、奥村明日香

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として個人を対象に、根拠や理論に基づいた口腔保健管理を行うために必要な情報や知識を収集し、論理的に分析、考察するために必要な科学的思考力を修得する。

2. 教育方法

講義・演習・相互演習・グループワーク・発表等のアクティブラーニングを行う。
病院歯科開業医等において、歯科衛生士として行った歯科保健指導の実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、配布資料、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席となる。授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。授業を受講するに当たり、下記予習項目に記載の学修を行うこと。また、授業後は、配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。事前・事後学修（予習・復習）を怠らず、また、授業中は真摯に臨み、理解できないことはその場で質問を行い解決すること。グループワークや発表等のアクティブラーニングについては、グループで協力して資料を作成し、発表に備えること。レポート課題を提示された場合には、期日までに仕上げる。

本授業を理解する上で、口腔衛生学、口腔微生物学、口腔組織学等の知識が必要であり、本授業は主要 3 科目の理解に不可欠である。
[単位修得に必要な授業外学修時間：15 時間]

5. 評価方法

[形成的評価] ミニテスト、レポート

[フィードバック] 不十分な箇所にはコメントを加え、再提出を求める場合もある。基本的にミニテストは、前回学修した内容の復習として授業開始直後に、また、学修した内容の確認として授業終了時に実施する。内容の振り返りは、その時間、または、次の回の講義時に行う。

[総括的評価] 定期試験：記述試験 (70%)、ミニテスト・レポート (10%)、観察記録・授業態度 (発問・質疑・グループワークでの発言や協力等) (20%)

[フィードバック] 試験結果 (成績は) 試験終了後に掲示する。

6. 教科書

1. 歯科衛生シリーズ 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版 2023 年
2. 「最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 第 1 版」医歯薬出版、2013 年

7. 参考書

1. 「最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第 2 版」医歯薬出版、2018 年
2. 「歯科衛生士テキスト 口腔衛生学-口腔保健統計を含む- 第 4 版」学建書院、2018 年
3. 「歯科衛生シリーズ 歯科材料」医歯薬出版、2023 年
4. 「歯科衛生士国試対策集 2024 年対応」歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版、2023 年
5. 「歯科衛生学辞典」永末書店、2019 年

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	4/17 (月) 4限	南	ユニット1 定義と法的な位 置づけ [講義]	1) 歯科保健指導の 定義と歯科衛生士の 役割について理解す る。	(1) 歯科保健指導の内容について 述べるができる。 (2) 生活行動と保健行動の違いに ついて説明できる。 (3) 歯科保健指導で果たす歯科衛 生士の役割を説明できる。 (4) 個人・集団に対する歯科保健 指導技術について説明できる。	教科書 1. P2-8 を精読する。 (1時間)	認知 (想起) 態度 (受入)
2	4/18 (火) 3限	南 奥村 岡崎	ユニット2 歯科保健指導 実施のための 基礎知識1 行動変容 [講義]	1) 行動変容のステ ップを理解する。	(1) 行動変容に関連する理論に ついて説明できる。 ・健康信念モデル ・社会的認知理論 ・変化のステージモデル	教科書 1. P88-98 を精読する。 教科書2. P10-22 を精読する。 (1時間)	認知 (想起) 態度 (受入)
3	4/26 (水) 2限	南 奥村 岡崎	ユニット2 歯科保健指導 実施のための 基礎知識2 食生活指導 [講義]	1) 食生活指導の基 礎を理解する。 ・食生活および食習 慣の把握 ・咀嚼と食品	(1) 近年の食生活の特徴と問題点 を述べるができる。 ・肥満者の増加 (BMI による 評価) ・適切な脂肪、塩分摂取量 ・野菜・食物繊維、カルシウ ムの不足 (2) 栄養素の働きを説明できる。	教科書 1. P44- 67を精読する。 教科書2. P4-10 を精読する。 (1時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
4	4/27 (木) 2限	南 奥村 岡崎	ユニット2 歯科保健指導 実施のための 基礎知識3 食生活指導 [講義]	1) 食品とう蝕の関 係性を理解する。	(1) 砂糖とう蝕の関連性を説明で きる。 ・Keyes の3つの輪、Newbrun の4つの輪 (2) 咀嚼の仕組みと効用を説明 できる。 (3) 代用甘味料について分類でき る。 (4) う蝕予防のための食品摂取法 について提案できる。	教科書 1. P67-84 を精読する。 教科書2. P26を精 読する。 参考書2. P44-47、 P52-53を精読する (1時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
5 6	5/17 (水) 1,2限	南	ユニット4 各種口腔清掃 用具の基礎知 識1,2 [講義・演習]	1) 手用歯ブラシお よび歯磨剤について 理解する。	(1) 歯ブラシの種類と特徴につい て説明できる。 ・手用歯ブラシ ・電動歯ブラシ、音波ブラ シ、超音波ブラシ (2) 歯磨剤について説明できる。 ・フッ化物配合歯磨剤 (3) 洗口剤の基本的用法並びに 効果的使用法について説明でき る。	教科書1. P268- 278、243-249を精 読する (1時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
7	5/24 (水) 1限	南 高木	ユニット4 各種口腔清掃 用具の基礎知 識3 [講義・演習]	1) 補助的清掃用具 について理解する。	(1) 歯ブラシの種類と特徴、適応 について説明できる。 ・デンタルフロス ・歯間ブラシ ・タフトブラシ	教科書1. P278-281 を精読する (1時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
8	5/31 (水) 1限	南 石井	ユニット5 各種口腔清掃 用具の操作法 1 [演習・AL]	1) 各種ブラッシング 法の特徴を理解す る。 2) 補助的清掃用具 の操作法を理解す る。	(1) 各種ブラッシング法の特徴に ついて説明できる。 ・毛先を使用する方法 ・脇腹を使用する方法 (2) 各種補助的清掃用具を操作で きる。 ・デンタルフロス ・歯間ブラシ ・タフトブラシ	教科書1. P270-278 を精読する。 参考書2. P39-42を 精読する。 (1時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
9	5/31 (水) 2限	南 石井	ユニット5 各種口腔清掃 用具の操作法 2 [演習・AL]	1) 各種ブラッシング 法の特徴を理解す る。 2) 補助的清掃用具 の操作法を理解す る。	(1) 各種ブラッシング法の特徴に ついて説明できる。 ・毛先を使用する方法 ・脇腹を使用する方法 (2) 各種補助的清掃用具を操作で きる。 ・デンタルフロス ・歯間ブラシ ・タフトブラシ	教科書1. P270-278 を精読する。 参考書2. P39-42を 精読する。 (1時間)	認知 (想起) 態度 (内面化)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
10 11	6/28 (水) 1,2 限	南 後藤 石井 岡崎	ユニット 6 歯科衛生計画 の手法 1 口腔清掃法の 指導の要点 [演習・AL]	1) 各種ブラッシング法ならびに補助的清掃用具の操作法を伝える技術を理解する。	(1) 各種ブラッシング法ならびに補助的清掃用具の操作法について指導案の作成ができる。 ・毛先を使用する方法 ・脇腹を使用する方法 ・各種補助的清掃用具	ユニット5の内容をまとめる (2 時間)	態度 (反応) 情意 (受入)
12 13	7/12 (水) 1,2 限	南 石井 森 奥村 岡崎	ユニット 6 歯科衛生計画 の手法2 口腔清掃法の 指導の要点 [演習]	1) 各種ブラッシング法ならびに補助的清掃用具の操作法と操作上の注意点を理解する。	(1) 各種ブラッシング法ならびに補助的清掃用具の操作することができる。 ・毛先を使用する方法 ・脇腹を使用する方法 ・各種補助的清掃用具 (2) 各種ブラッシング法ならびに補助的清掃用具の操作上の注意点を説明することができる。	ユニット5の内容をまとめる。 ユニット 6 の指導案の内容をまとめる。 (2 時間)	認知 (想起) 精神運動 (模倣) 情意 (内面化)
14	7/13 (木) 1 限	南 川尻	ユニット 3 歯科衛生過程 1 [講義]	1) 歯科保健指導の流れを理解する。	(1) 歯科衛生過程の基本的な考え方を説明できる。 ・歯科衛生過程の6つの構成要素 (2) 情報収集の目的や得られる情報について説明できる。 ・主観的情報と客観的情報 (3) 歯科衛生診断について説明ができる。 ・歯科衛生診断のタイプ ・優先順位(プロブレムリスト)	教科書 1.P98-113を精読する。 (1 時間)	認知 (想起) 情意 (受入)
15	7/13 (木) 2 限	南 川尻	ユニット 3 歯科衛生過程 2 [講義]	1) 歯科保健指導の流れを理解する。	(4) 歯科衛生計画について説明できる。 ・目標と計画の立案 (5) 歯科衛生介入(計画の実施)について説明できる。 ・歯科衛生介入時の記録の取り方 (6) 歯科衛生評価について説明できる。 (7) 歯科衛生過程の書面化について説明できる。	教科書 1.P113-117を精読する。 (1 時間)	認知 (想起) 情意 (受入)

歯科保健指導実習Ⅱ

開講時期： 1年次後期
 授業時間数： 15コマ;30時間 1単位
 受験資格要件： 4/5(12コマ)以上の出席
 科目番号： DH011236
 評価責任者： 石井 綾子
 担当教員： 石井 綾子、南 レイラ、森 沙耶香
 奥村明日香、岡崎 晴菜

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として対象者が抱える問題を発見・解決するための根拠や理論に基づいた口腔保健管理の手法を活用し、対象者に合わせた口腔の健康管理が実践できる能力を修得する。なお初年時教育として、レポートの書き方、実習での心構えなどの学修を行う。

2. 教育方法

講義・演習・実習・グループワーク・アクティブラーニング、発表を行う。
 歯科医療機関において歯科医師あるいは歯科衛生士として診療に携わった実務経験を生かした実践教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、DVD、PC、プロジェクター

4. 学修方法

授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修(予習)を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守ること。授業は定刻に開始するので遅刻は欠席になる。本授業を理解するうえで、歯科予防処置論、口腔衛生学、解剖学、保存修復学の理解が必要である。
【単位修得に必要な授業外学修時間：15時間】

5. 評価

[形成的評価] レポート 保健指導用媒体資料
 [フィードバック] 不十分な部分についてコメントを行う。必要に応じて再提出を求める。
 [総括的評価] 記述試験(70%) レポート・授業態度・グループワークでの発言や参加(30%)
 [フィードバック] 以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。
 尚、詳細は各ユニットの初日に説明する。

6. 教科書

1. 歯科衛生学シリーズ 「歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版 2023年
2. 「最新歯科衛生士教本」 口腔保健管理 第2版 医歯薬出版 2018年

7. 参考書

1. 「最新歯科衛生士教本」 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版 2018年
2. 「最新歯科衛生士教本」 歯科材料学 第2版 医歯薬出版 2018年
3. 「歯科衛生士国試対策集 2024年対応」 歯科衛生士国試対策研究会編、クインテッセンス出版 2023年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1 2	10/5 (木) 3,4限	石井	オリエンテーション ユニット1-1 歯科衛生過程 中の歯科衛生ア セスメントの手 法 講義・演習	1) 歯科衛生アセスメントのための情報収集と情報処理を理解する。	(1) 情報収集の目的や得られる情報を説明できる。 ・情報収集の目的と項目 ・情報収集のポイント (2) 医療面接の目的を説明できる。 ・問診と医療面接の違い ・医療面接の目的 ・治療への動機づけ	教科書1. P77-82を精読し、情報収集の項目、共感的態度、傾聴について調べる。 2時間	認知 (想起) 精神運動 (模倣)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
3 4	11/2 (木) 3,4限	石井	ユニット2-1 歯科衛生過程の中 の歯科衛生診断の 手法 講義・演習	1) う蝕と歯周病の リスクを理解する。 2) リスクを基にした 指導の立案法を理 解する。	(1) う蝕と歯周病の リスクに応じた指 導が立案できる。 指導案の作成 ・う蝕の成り立ち と予防法 ・歯周病の成り 立ちと予防法	教科書1. P25- 32、口腔衛生学 P41-89を精読し、 う蝕と歯周病に ついてまとめる。 1時間	認知 (早期) 精神運動 (模倣)
5 6	11/7 (火) 3,4限	石井	ユニット3-1 歯科衛生アセス メントの手法 口腔内の評価法1 (分析のためのデ ータ収集) 講義・演習	1) 口腔内の汚れと 歯肉の炎症の評価 法を理解する。	(1) ブラークの付 着状態についての 各種評価法を説 明できる。 ・OHI、OHI-S ・PCR (2) 歯肉の炎症 の評価法を説明 できる。 ・PMA 口腔清掃状態の 指標を説明でき る。 (PCR、OHI、 OHI-S) (3) 汚れの染色 について説明可 い。 (4) う蝕経験に 関する指標につ いて説明できる。	教科書1. P101- 107をまとめる 1時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
7 8	11/17 (金) 3,4限	石井	ユニット3-3 歯科衛生診断の 手法 口腔内の評価法3 講義・演習	2) ブラークコン トロールの手法 を理解する。	(1) 自分の口腔 内を観察できる。 (2) 染色剤の取 り扱いを実施可 い。 (3) 自分の口腔 清掃状況を評価 できる。 (4) 自分の口腔 清掃状況を客観 評価できる。	ユニット3-1の 評価法を理解す る。 1時間	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
9 10 11	11/28 (火) 2,3,4限	石井	ユニット4 歯科衛生診断お よび介入の手法 3人1組による相 互実習 実習	1) 対象者の口腔 内を理解する。 2) 口腔保健管理 におけるセルフ ケアとプロフェ ッショナルケア を理解する。	(1) 患者の口腔 内を観察できる。 (2) 患者の口腔 清掃状況を把握 できる。 (口腔内写真含 む) (3) 患者のブラ ッシング法を観 察できる。 (4) 患者の口腔 清掃状況を評価 できる。	これまでに学 んだ内容をまと める。 3時間	情意 精神運動 (コントロール)
12 13	12/7 (木) 3限 12/8 (金) 3限	石井	ユニット5 歯科衛生アセス メントの手法 口腔からの情報 分析 講義・演習	1) データの評価 方法を理解する。 2) 口腔保健管理 のための記録 の作成法を理 解する。	(1) 口腔内観 察・口腔清掃状 況などの情報か ら患者にあった 口腔衛生指導案 を作成できる。	評価に必要な データを揃える。 2時間	精神運動 (コントロール)
14 15	1/19 (金) 3,4限	石井	ユニット6 歯科衛生介入 実習	1) 口腔内の変 化を理解する。	(1) 前回収集 したデータと比 較して、変化を 述べることで きる。 (2) 口腔衛生 指導案を元に、 口腔衛生指導 を行うことが できる。	再評価の結果 をまとめる。 2時間	精神運動 (コントロール)

歯科診療補助論（講義）Ⅰ

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 10 コマ；20 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3（7 コマ）以上の出席
 科目番号： DH011241
 評価責任者： 森 沙耶香
 授業担当者： 南 レイラ、川尻 望
 堀部 晴美、井上 庸子
 高木未沙稀、森 沙耶香
 岡崎 晴菜、奥村明日香

1. 一般目標

将来、多様な対象者を支援し、高度な歯科医療に対応するために、専門職として歯科診療の補助に関する必要な知識・技術を修得する態度、および論理的思考の基礎を修得する。

2. 教育方法

講義・演習・グループワークを行う。

総合病院、高齢者施設、開業医等における歯科医師・歯科衛生士としての実務経験に基づいて、臨床の場で生かせる実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

授業は定刻に始まるので、遅刻は欠席となる。授業には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。授業中はノートを取る。授業後は、教科書や配布プリント等で講義内容の確認をその日のうちに行うこと。レポート課題は、締め切り期日を守る。

本授業を理解する上で、歯周保存修復・歯内治療学、歯科補綴学等の知識が必要であり、本授業は歯科予防処置実習、歯科診療補助実習、歯科保健指導実習の理解に不可欠である。〔単位修得に必要な授業外学修時間：25 時間〕

5. 評価方法

〔形成的評価〕確認テスト、レポートなど

〔フィードバック〕不十分な部分についてコメントを付して返却し、場合によっては再提出を求める。確認テストは模範解答を示す。

〔総括的評価〕記述試験（80%）・客観試験（確認テスト）・課題レポート・観察記録・授業参加状況（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等）（20%）

〔フィードバック〕試験結果（成績）は試験終了後に掲示する。尚、詳細は講義の中で説明する。

6. 教科書

1. 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第 2 版 医師薬出版 2018 年

7. 参考書

1. 「歯科衛生学シリーズ歯科予防処置論・歯科保健指導論」 医歯薬出版 2023 年

2. 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士概論 医歯薬出版 2012 年

3. 新歯科衛生士教育マニュアル 歯科臨床の基礎と概論 クインテッセンス出版 2016 年

4. 「歯科衛生士国試対策集 2024 年対応」 歯科衛生士国試対策研究会編 クインテッセンス出版 2023 年

5. 新歯科衛生士教育マニュアル 歯内療法 クインテッセンス出版 2018 年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 〔授業方法〕	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
1	4/14 (金) 1 限	南	ユニット 1 診療補助総論 定義と法的な位置 づけ 〔講義〕	1) 歯科診療補助の 概念と歯科衛生士法に おける法的位置づけに ついて理解する。	(1) 歯科診療補助の業務内容と法的 解釈を説明できる。 (2) 診療の補助で行う医療職種とそ の業務について説明できる。 (3) 保険医療制度での補助行為に関 する業務概要について説明でき る。	教科書 1 の P2-6 を精読する (2.5 時間)	認知 (想起)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
2	5/19 (金) 1限	森	ユニット2 医療安全と感染予防 1 感染予防対策 [講義]	1) 医療安全と感染予防対策について理解する。	(1)医療安全の概念とその対策を説明できる。 (2)インシデント・アクシデント報告の目的を具体的に述べるができる。 (3)歯科医療における感染症の概念とその対策を説明できる。 (4)スタンダードプレコーションを具体的に説明できる。	教科書1のP7-12、P18-27を精読する (2.5時間)	認知 (想起)
3	5/19 (金) 2限	森	ユニット3 医療安全と感染予防 2 医療廃棄物の取り扱い [講義]	2) 医療廃棄物の取り扱いを理解する。	(1) 医療廃棄物の分類と分別を説明できる。	教科書1のP44-49を精読する (2.5時間)	認知 (解釈)
4	5/26 (金) 1限	森	ユニット4 医療安全と感染予防 3 滅菌・消毒 [講義]	1) 滅菌と消毒を理解する。	(1)滅菌と消毒の定義が説明できる。 (2)滅菌、消毒、洗浄の方法について説明できる。	教科書1のP32-43を精読する (2.5時間)	認知 (想起)
5	5/26 (金) 2限	森	ユニット5 医療安全と感染予防 4 薬品・歯科材料の管理 [講義]	1) 歯科薬品や材料の管理を理解する。	(1)歯科薬品や材料の適切な管理を説明できる。	教科書1のP96-98を精読する (2.5時間)	認知 (解釈)
6	6/7 (水) 1限	川尻	ユニット6 衛生材料の取り扱い 綿栓作成 [講義・演習]	1) 根管処置用器材の取り扱いを理解する。 2) 衛生材料の取り扱いを理解する。	(1)歯科衛生材料について概説できる。 (2)根管処置用器材の取り扱いについて説明できる。 ブローチ綿栓を作製できる。	参考書5のP82-93を精読する (2.5時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
7	6/14 (水) 1限	森	ユニット7 診療室で扱う歯科材料 印象材 [講義]	1) 印象材の特徴、種類、用途を理解する。	(1) 印象材の特徴、種類、用途を説明できる。	教科書1のP192-202を精読する (2.5時間)	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
8	6/27 (火) 3限	南	ユニット8 医療安全と感染予防 4 歯科診療における基礎知識 1 診療設備 [講義・演習]	1) 歯科診療室の環境、設備について理解する。	(1) 歯科診療室の環境・設備について説明できる。 (2) 歯科用チェアユニットの各部の名称と使用の注意点について示すことができる。	教科書1のP50-56を精読する (2.5時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
9	7/4 (火) 3限	南	ユニット3 診療室で扱う歯科材料 7 (各種合着材・接着剤) [講義]	1) 各種合着材や接着剤の特徴、種類、用途、操作法を理解する。	(1)合着材や接着剤の特徴、種類、用途、管理を説明できる。 (2)合着材や接着剤の練和を実施できる。 (3)仮着材の特徴、種類、用途を説明できる。 (4)仮着材の練和を実施できる。	教科書1のP222-233を精読する。 参考書7のP79～81、85～89を精読する (2.5時間)	認知 (解釈)
10	7/7 (金) 1限	森南	ユニット1 医療面接 1 患者誘導から医療面接まで [講義]	1) 歯科診療室における患者対応を理解する。	(1) 歯科診療室における患者対応を実施できる。 (2) 医療面接の目的を説明できる。 (3) 医療面接を実施できる。	教科書1のP57-62を精読する 参考書1のP121-127を精読する (2.5時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)

歯科材料学

開講時期： 1年次前期
 授業時間数： 15コマ；30時間1単位
 受験資格要件： 2/3（10コマ）以上の出席
 科目番号： DH011243
 評価責任者： 松尾 忠行
 授業担当者： 川口 稔

1. 一般目標

本授業では臨床で使用されるさまざまな歯科材料について、その所要性質や物理・化学的な性質を学ぶ。これらの基礎的知識を習得することによって、臨床の場における適切な歯科材料の取り扱い方法を論理的に分析・考察する科学的思考力を習得する。そして習得内容に立脚した専門的知識を発展させ、他職種との協働・連携が可能な歯科衛生士のリーダーを目指す。

2. 教育方法

講義を行う。必要に応じて実際の材料や器具を用いて示説を行う。

3. 教育教材

教科書、配布プリント、PC+プロジェクター

4. 学修方法

毎回視覚素材を含むプリントを配布するので、各自で授業内容を記録したノートと相互活用すること。本授業では多くの種類の材料に関して解説するため、必ず前回の授業内容の上、次回の授業に臨むこと。さらに授業終了時に次回の授業内容の概要を説明するので、次回の授業では、指示された内容に関するをしていることを前提に開始する。本授業は歯科診療補助実習の理解に不可欠である。
 [単位修得に必要な授業外学修時間：15時間]

5. 評価方法

[形成的評価] ミニテスト

[フィードバック] ミニテストの結果に基づき、理解が不十分な部分についてコメントを付して返却する。

[総括的評価] 記述試験（80%）・客観試験（ミニテスト）（10%）・授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（10%）

[フィードバック] 試験結果のフィードバックは採点后に解答例を開示し、今後の関連科目の学習に必要な注意点を掲示する。

6. 教科書

1. 「歯科衛生学シリーズ 歯科材料」医歯薬出版 2023年

7. 参考書

1. 「イラストと写真でわかる歯科材料の基礎」永末書店 2017年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	4/14 (金) 3限	川口	ユニット1 歯科材料の 種類 [講義]	1) 金属、無機、有機材料の 違いを理解する。	(1) 金属材料の特徴を説明 できる。 (2) 無機材料の特徴を説明 できる。 (3) 有機材料の特徴を説明 できる。	それぞれの材料の特徴を比較 してまとめること (1時間)	認知 (想起)
2	4/21 (金) 3限	川口	ユニット2 歯科材料の 基本性質 (1) [講義]	1) 材料の力学的性質を理解 する。 2) 材料の物理的性質を理解 する。	(1) 材料の機械的性質を説 明できる。 (2) 材料の比重や熱的性質 特徴を説明できる。	材料の機械的性質と熱的性質 の特徴を表す用語についてま とめること (0.5時間) 化学的性質について (0.5時間)	認知 (想起)
3	4/28 (金) 3限	川口	ユニット3 歯科材料の 基本性質 (2) [講義]	1) 材料の化学的性質を理解 する。 2) 材料の生物学的性質を理 解する。	(1) 材料の硬化反応や腐食 を説明できる。 (2) 口腔内での安全性を説明 できる。	材料の化学的性質と生物学的 性質の特徴を表す用語につい てまとめること (0.5時間) 印象材について (0.5時間)	認知 (想起)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
4	5/12 (金) 3限	川口	ユニット4 印象材 (1) [講義]	1) 印象材の種類を理解する。 2) ハイドロコロイド印象材の特徴を理解する。	(1) アルジネート印象材の特徴を説明できる。 (2) 寒天印象材の特徴を説明できる。	ハイドロコロイド印象材の特徴を表す用語についてまとめること (0.5時間) ゴム質印象材について (0.5時間)	認知 (想起)
5	5/19 (金) 3限	川口	ユニット5 印象材 (2) [講義]	1) 合成ゴム質印象材の特徴を理解する。	(1) シリコンゴム印象材の特徴を説明できる。 (2) 連合印象を説明できる。	シリコンゴム印象材の特徴を表す用語についてまとめること (0.5時間) ゴム質印象材について (0.5時間)	認知 (想起)
6	5/26 (金) 3限	川口	ユニット6 印象材 (3) [講義]	1) その他の印象材の特徴を理解する。	(1) ポリエーテルゴム印象材の特徴を説明できる。 (2) 非弾性印象材を説明できる。	非弾性印象材の種類と特徴をまとめること (0.5時間) 石こうについて (0.5時間)	認知 (想起)
7	6/2 (金) 3限	川口	ユニット7 模型材 [講義]	1) 模型材の種類と特徴を理解する。	(1) 石こうの種類と特徴を説明できる。 (2) レジン系模型材の特徴を説明できる。	石こうの種類と特徴をまとめること (0.5時間) 合着材について (0.5時間)	認知 (想起)
8	6/9 (金) 3限	川口	ユニット8 合着材と接着材 (1) [講義] [ミニテスト]	1) 歯科用セメントの種類を理解する。 2) 歯科用セメントの特徴を理解する。	(1) 歯科用セメントの種類を説明できる。 (2) 歯科用セメントの所用性質を説明できる。	セメントの種類をまとめること (0.5時間) 合着材について (0.5時間)	認知 (想起)
9	6/16 (金) 3限	川口	ユニット9 合着と接着材 (2) [講義]	1) セメントの特徴を理解する。	(1) リン酸亜鉛セメントを説明できる。 (2) ポリカルボキシレートセメントを説明できる。 (3) グラスアイオノマーセメントの特徴を説明できる。	個別のセメントの種類をまとめること (0.5時間) 接着材料について (0.5時間)	認知 (想起)
10	6/23 (金) 3限	川口	ユニット10 合着と接着材 (2) [講義]	1) 接着の概念を理解する。 2) 接着性レジンセメントの特徴を理解する。	(1) 歯科での接着の重要性を説明できる。 (2) 接着性レジンセメントの特徴を説明できる。	レジンセメントの特徴をまとめること (0.5時間) 修復材料について (0.5時間)	認知 (想起)
11	6/30 (金) 3限	川口	ユニット11 成形修復材 (1) [講義]	1) 成形修復の概念を理解する。 2) 成形修復材の種類を理解する。	(1) 成形修復材の所用性質を説明できる。 (2) 成形修復材の種類を説明できる。	コンポジットレジンの特徴をまとめること (0.5時間) 重合方法について (0.5時間)	認知 (想起)
12	7/7 (金) 3限	川口	ユニット12 成形修復材 (2) [講義]	1) コンポジットレジンの特徴を理解する。	(1) コンポジットレジンの特徴を説明できる。 (2) 硬化方法及び接着技法を説明できる。	コンポジットレジンの特徴をまとめること (0.5時間) グラスアイオノマーセメントについて (0.5時間)	認知 (想起)
13	7/14 (金) 3限	川口	ユニット13 成形修復材 (3) [講義]	1) 充填用グラスアイオノマーセメントの特徴を理解する。	(1) グラスアイオノマーセメントの特徴を説明できる。 (2) 硬化方法及び接着技法を説明できる。	グラスアイオノマーセメントの種類をまとめること (0.5時間) 仮封材について (0.5時間)	認知 (想起)
14	7/21 (金) 3限	川口	ユニット14 仮封材 [講義]	1) 仮封材の特徴を理解する。	(1) 仮封材の種類と所用性質を説明できる。 (2) 仮封材の操作方法を説明できる。	仮封材の種類をまとめること (0.5時間) 技工材料について (0.5時間)	認知 (想起)
15	7/28 (金) 3限	川口	ユニット15 技工用材料 [講義]	1) 間接法による修復物作製方法を理解する。 2) CAD/CAMを理解する。 3) 技工用材料の種類を理解する。	(1) 間接法について説明できる。 (2) CAD/CAMによる修復物作製方法を説明できる。 (3) ワックスや合金について説明できる。	間接法で用いられる材料の種類をまとめること (1時間)	認知 (想起)

歯科診療補助実習 I

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 20 コマ；40 時間 1 単位
 受験資格要件： 4/5 (20 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH011244
 評価責任者： 森 沙耶香
 授業担当者： 南 レイラ、堀部 晴美、泉 喜和子
 後藤加寿子、黒木まどか、石井 綾子
 井上 庸子、高木未沙稀、川尻 望
 森 沙耶香、岡崎 晴菜、奥村明日香

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として歯科診療の補助を実施するために、必要な知識・技術を修得する。なお初年時教育として、レポートの書き方、実習での心構えなどの学修を行う。

2. 教育方法

講義・実習・グループワークを行う。
 歯科医療機関において歯科医師あるいは歯科衛生士として診療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、PC+プロジェクター 各種実習器材

4. 学修方法

実習には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を行っていることを前提とする。実習中は、重要点など記録すること。実習後は、アクティブラーニングとして事後学習（復習）を行い、技術を修得すること。レポート課題は、締め切り期日を守る。授業は定刻で開始する遅刻は欠席となる。本授業を理解する上で、歯科材料学の知識が必要である。

[単位修得に必要な授業外学修時間：20 時間]

5. 評価方法

[形成的評価] 確認テスト、レポート
 [フィードバック] 不十分な部分についてコメントを行う。場合によっては再提出を求める。
 [総括的評価] 記述試験 (70%) 課題レポート (20%) 授業参加状況・授業態度 (10%)
 試験結果 (成績) は、試験終了後に掲示する。
 [フィードバック] 以上を総合的に評価し、定期試験終了後に掲示する。
 尚、詳細は講義の初日に説明する。

6. 教科書

1. 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版 医歯薬出版 2020年

7. 参考書

1. 「歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論」 医歯薬出版 2023年
2. 「新歯科衛生士教育マニュアル 歯科臨床の基礎と概論」 クインテッセ出版 2015年
3. 「歯科衛生士国試対策集 2024年対応」 歯科衛生士国試対策研究会編 クインテッセ出版 2020年
4. 「新・歯科衛生士教育マニュアル 保存修復」片山 直、小松正志、松尾敬志 編集 クインテッセ出版 2018年
5. 「新・歯科衛生士教育マニュアル 歯内療法」笠原悦男、林 宏行、吉田隆一 編集 クインテッセ出版 2020年
6. 「歯科衛生学シリーズ 歯科材料学」医歯薬出版 2023年

回	授業日	授 業 担 当 者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標(GIO)	行動目標(SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
1	6/7 (水) 2限	森 後藤 川尻 高木 奥村 岡崎	ユニット1 診療室で扱う歯科 材料1 (印象材) ペースト練和 [実習]	1) 印象材の特徴、種 類、用途を理解す る。	(1)印象材の特徴、種類、用途 を列記できる。 (2)各種印象材の練和と管理を 実施できる。 (3)印象採得とその対応を実施 できる。	ペースト練和法を復 習する。 (1時間)	認知 (想起) 精神運動 (模倣)

回	授業日	授業者 担当者	ユニット番号 項目名 授業方法	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目と 必要時間	教育 目標 領域
2	6/14 (水) 2限	川尻 力丸 森 高木 奥村 岡崎	ユニット 2 衛生材料の取り扱い (綿栓作成) [講義・演習]	1) 根管処置用器材の 取り扱いを理解する。 2) 衛生材料の取り扱い を理解する。	(1) 歯科衛生材料について説明 できる。 (2) 根管処置用器材の取り扱い を説明できる。 (3) ブローチ綿栓を作製でき る。	参考書6のP82-93を 精読する。 (1時間)	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
3	6/15 (木) 1,2限	森 後藤 井上 南 高木 奥村 岡崎	ユニット1 診療室で扱う歯科 材料2 (印象材) ペースト練和 [実習]	1) 印象材の特徴、種 類、用途を理解す る。	(1) 印象材の特徴、種類、用途 を列記できる。 (2) 各種印象材の練和と管理を 実施できる。 (3) 印象採得とその対応を実施 できる。	ペースト練和法を復 習する。 (1時間)	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
4							
5	6/16 (金) 1,2限	森 泉 石井 南 川尻 奥村 岡崎	診療室で扱う歯科 材料3 (印象材) 粉末練和 [実習]	1) 印象材の特徴、種 類、用途を理解す る。	(1) 各種印象材の練和と管理を 実施できる。 (2) 印象採得とその対応を実施 できる。	粉末練和の印象材の 復習を行う。 (2時間)	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
6							
7	6/22 (木) 1,2限	森 後藤 石井 南 川尻	診療室で扱う歯科 材料4 (印象材) 上顎トレー盛り [実習]			上顎トレー盛りの復 習を行う。 (2時間)	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
8							
9	6/23 (金) 1,2限	森 泉 後藤 井上 南	診療室で扱う歯科 材料5 (印象材) 下顎トレー盛り [実習]			上顎トレー盛りの復 習・下顎トレー盛り の復習を行う。 (2時間)	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
10							
11	6/30 (金) 1,2限	森 泉 黒木 井上 川尻	ユニット 3 歯科診療における 基礎知識1 手指消毒、鉗子・ 撮子の取扱 [実習]	1) 手指の消毒を理解 する。 2) 滅菌・消毒器材の取 り扱いを理解する。	(1) 各種消毒・滅菌方法につい て列記できる。 (2) 手指消毒やグローブの装 着・脱着が実施できる。 (3) 歯科用器材に応じた滅菌・ 消毒・洗浄を実施できる。	教科書 1. のP28-43 を精読する。 (2時間)	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
12							
13	7/5 (水) 1,2限	南 泉 後藤 井上 森 奥村 岡崎	ユニット4 診療室で扱う歯科 材料6 (カルボキシルセメント) [実習]	1) 各種合着材や接着剤 の特徴、種類、用 途、操作法を理解す る。	(1) 合着材や接着剤の特徴、種 類、用途、管理を説明でき る。 (2) 合着材や接着剤の練和を実 施できる。 (3) 仮着材の特徴、種類、用途 を説明できる。 (4) 仮着材の練和を実施でき る。	講義プリントを精読 する。 (2時間)	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
14							
15	7/6 (木) 1,2限	南 力丸 後藤 井上 森 奥村 岡崎	ユニット4 診療室で扱う歯科 材料7 (酸化亜鉛エポキシセ メント) [実習]			講義プリントを精読 する。 (2時間)	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
16							
17	7/7 (金) 2限	南 森 泉 後藤 黒木 奥村 岡崎	ユニット 5 医療面接1 患者誘導から医療 面接まで [演習]	1) 歯科診療室におけ る患者対応を理解す る。	(1) 歯科診療室における患者 対応を実施できる。 (2) 医療面接の目的を説明で きる。 (3) 医療面接を実施できる。	教科書 1 のP57-62を 精読する。参考書1 のP121-127を精読 する。 (1時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
18	7/19 (水) 1,2限	堀部 奥村 岡崎	ユニット 6 歯科診療における 基礎知識1 共同動・バキュー ムテクニック I [講義・演習]	1) 歯科診療における 共同動作を理解する。 ポジショニング・ラ イティング) バキューム操作・フォ ーハンデッドデンテ イストリー)	(1) 共同動作の概念を述べること ができる。 (2) 適切なポジショニングを示 すことができる。 (3) 適切なライティングを示す ことができる。 (4) バキュームの基本動作を説 明できる。 (5) フォーハンデッドデンティ ストリーについて説明でき る。 【授業アンケート】	教科書 1 の P 63-67 を精読する (3時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
19							
20	7/20 (木) 1限	堀部 川尻 森 奥村 岡崎	歯科診療における 基礎知識2 共同動・バキュー ムテクニック II [実習]				

歯科診療補助実習Ⅱ

開講時期： 1年次後期
 授業時間数： 20コマ；40時間 1単位
 受験資格要件： 4/5（16コマ）以上の出席
 科目番号： DH011245
 評価責任者： 南 レイラ
 授業担当者： 力丸 哲也、堀部 晴美、松尾 忠行、
 泉 喜和子、後藤加寿子、井上 庸子、
 黒木まどか、石井 綾子、川尻 望、
 森 沙耶香、高木未沙稀、南 レイラ、
 北村 強志、岡崎 晴菜、奥村明日香

1. 一般目標

将来、歯科衛生士として科学的根拠に基づいた歯科診療の補助を実施するために、必要な知識・技術を修得する態度、および論理的思考の基礎を修得する。

2. 教育方法

講義・実習・グループワークを行う。

大学病院等において、歯科医師、歯科衛生士として治療に携わった実務経験を生かした実践的教育を行う。

3. 教育教材

教科書、プリント、配布資料、PC+プロジェクター、各種実習器材

4. 学修方法

実習には、指定教科書と配布プリント等を必ず持参すること。下記予習項目に記載された教科書の該当箇所を読むなど、事前学修（予習）を怠らないこと。実習中は、重要点など記録すること。実習後は、アクティブラーニングとして事後学習（復習）を行い、技術を修得すること。レポート課題は、締め切り期日を守る。実習は定刻に始まるので、遅刻は欠席になる。本授業を理解するうえで、歯科材料学、歯科補綴学、保存修復学の理解が必要となる。
 [単位修得に必要な授業外学修時間：5時間]

5. 評価方法

[形成的評価] 確認テスト、レポート

[フィードバック] 不十分な部分についてコメントを付して返却し、場合によっては再提出を求める。

[総括的評価] 記述試験（70%）、実技試験（20%）、小テスト・レポート・授業態度（発問・質疑・グループワークでの発言や協力等）（10%）

[フィードバック] 試験結果のフィードバックは採点后、掲示する。

6. 教科書

1. 「最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 第2版」 医歯薬出版、2018年

7. 参考書

1. 「歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論」 医歯薬出版、2023年

2. 「最新歯科衛生士教本 歯科衛生士概論」 医歯薬出版、2018年

3. 「新・歯科衛生士教育マニュアル 歯科 臨床の基礎と概論」 クインテッセンス出版、2018年

4. 「歯科衛生士国試対策集 2024年対応」 歯科衛生士国試対策研究会編 クインテッセンス出版、2023年

5. 「新・歯科衛生士教育マニュアル 保存修復」 クインテッセンス出版、2020

6. 「新・歯科衛生士教育マニュアル 歯内治療」 クインテッセンス出版、2020

7. 「最新歯科衛生士教本 歯科材料学」 医歯薬出版、2023年

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	10/3 (火) 3限	南 堀部 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット1 歯科診療における基礎 知識 1 診療設備 (ユニット操作) [演習]	1) 歯科診療室の環境、設備について理解する。	(1) 歯科診療室の環境・設備について説明できる。 (2) 歯科用チェアユニットの操作を実施できる。	教科書 1. のP50-56 を精読する (0.5時間)	認知 (想起) 精神運動 (模倣)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
2	10/6 (金) 3.4限	堀部 後藤 泉 南 森	ユニット2 歯科診療における基礎 知識2 (共同動作) 共同動作の概念 ポジショニング ライティング [実習]	1) 歯科診療におけ る共同動作を理解 する。 (ポジショニング・ ライティング)	(1)共同動作の概念を示すこと ができる。 (2)適切なポジショニングを実 施できる。 (3)適切なライティングを実施 できる。	教科書1.のP63-67を 精読する (0.5時間)	認知 (想起) 精神運動 (模倣)
3							
4	10/10 (火) 3限	堀部 奥村 岡崎	ユニット2 歯科診療における基礎 知識3 (バキュームテ クニック) [講義]	1) 歯科診療におけ る共同動作を理解す る。 (バキューム操作・ フォーハンドデッドデ ンティストリー)	(1)バキュームの基本動作を説 明できる。 (2)フォーハンドデッドデンティ ストリーについて説明でき る。	教科書 1の P67-69. P71-77を精 読する (0.5時間)	認知 (想起)
5	10/12 (木) 3.4限	堀部 後藤 井上 南 森 奥村 岡崎	ユニット2 歯科診療における基礎 知識3 (共同動作①) バキュームテクニック の基本動作 3人1組 [実習]	1) 歯科診療におけ る共同動作の基本 を理解する。 (バキューム操作・ フォーハンドデッドデ ンティストリー)	(1)バキュームの基本動作を実 施できる。 (2)フォーハンドデッドデンティ ストリーの基本動作を実施 できる。	第4回の内容を復習 する (0.5時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
6							
7	10/13 (金) 3.4限	堀部 泉 南 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット2 歯科診療における基礎 知識3 (共同動作②) 切削時のバキュームテ クニック 3人1組1人目 [実習]	1) 歯科診療におけ る共同動作を理解 する。 (バキューム操作・ フォーハンドデッドデ ンティストリー)	(1)切削時におけるバキューム の動作を実施できる。 (2)フォーハンドデッドデンティ ストリーの共同動作を実施 できる。	教科書1.のP67-69. P71-77を精読する 11~14回の振り返り をする (0.5時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
8							
9	10/17 (火) 3.4限	堀部 泉 南 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット2 歯科診療における基礎 知識4 (共同動作②) 切削時のバキュームテ クニック 3人1組2人目 [実習]				
10							
11	10/19 (木) 3.4限	堀部 井上 南 川尻 森 奥村 岡崎	ユニット2 歯科診療における基礎 知識4 (共同動作②) 切削時のバキュームテ クニック 3人1組3人目 [実習]				
12							
13	10/20 (金) 3限 ・ 10/27 (金) 3限	石井 後藤 黒木 森	ユニット3 診療室で扱う歯科材料6 (印象材) (マネキン印象採得) [実習]	1) 印象材の特徴、 種類、用途、操作 法を理解する。	(1)印象材の特徴、種類、用途 を説明できる。 (2)各種印象材の練和と管理を 実施できる。 (3)印象採得とその対応を実施 できる。	教科書1のP192- 202を精読する。 (0.5時間)	認知 (解釈) 精神運動 (コントロ ール)
14	11/9 (木) 3限	森	ユニット4 診療室で扱う歯科材料7 (仮封材) [講義]	1) 仮封材の特徴、 種類、用途を理解す る。	(1)仮封材の特徴、種類、用 途、管理を説明できる。 (2)仮封材の目的を説明できる。	教科書1のP244- 250を精読する (0.5時間)	認知 (解釈)
15	11/10 (金) 3.4限	南 井上 後藤 黒木 森 北村 奥村 岡崎	ユニット5 診療室で扱う歯科材料8 (接着剤) [実習]	1) 各種合着材や接 着剤の特徴、種類、用 途、操作法を理解す る。	(1)合着材や接着剤の特徴、種 類、用途、管理を説明でき る。 (2)合着材や接着剤の練和を実 施できる。 (3)仮着材の特徴、種類、用途 を説明できる。	教科書1のP222- 233を精読する (0.5時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
16							
17	11/14 (火) 3.4限	森 泉 黒木 南 川尻 奥村 岡崎	ユニット6 診療室で扱う歯科材料7 (仮封材) [実習]	1) 仮封材の特徴、 種類、用途を理解す る。	(1)仮封材の特徴、種類、用 途、管理を説明できる。 (2)各種仮封材の操作を実施で きる。	教科書1のP244- 250を精読する 第14回の講義ブリ ントを精読する (0.5時間)	認知 (解釈) 精神運動 (模倣)
18							

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
19	12/1 (金) 3.4 限	南 森 松尾 力丸 泉 後藤 井上 黒木 石井 川尻	ユニット7 医療面接2 医療面接から報告まで	1) 歯科診療室における患者対応を理解する。	(1) 歯科診療室における患者対応を実施できる。 (2) 医療面接の目的を説明できる。 (3) 医療面接を実施できる。	教科書1のP57-62を精読する 参考書1のP121-127を精読する (0.5時間)	認知 (解釈) 精神運動 (コントロール)
20							

物理学

開講時期： 1年次前期
 授業時間数： 9コマ；18時間 1単位
 受験資格要件： 2/3（6コマ）以上の出席
 科目番号： DH012305
 評価責任者： 松尾 忠行
 授業担当者： 川口 稔

1. 一般目標

日常臨床のさまざまな場面で物理現象が利用されている。本授業では高等学校で物理学を履修していなくても理解できるように、身近な物理現象を通じて基本的な物理学の考え方を理解する。これらの基礎知識を体系的に理解することで、豊かな教養と人間性を体得するとともに主体的な問題解決能力を身につける。そして歯科医療に関わる専門的な知識や技術を学ぶ上で必要となる物理学的知識を論理的に分析・考察する科学的思考力を修得する。

2. 教育方法

講義を行う。

3. 教育教材

配布プリント

4. 学修方法

毎回講義内容に基づいた練習問題プリントを配布するので、予習と復習に活用すること。本授業では基本的事項を中心として解説するため、必ず前回の授業内容を復習の上、次回の授業に臨むこと。さらに授業終了時に次回の授業内容の概要を説明するので、次回の授業では、指示された内容に関して予習していることを前提に開始する。本授業は歯科材料学講義の理解に寄与するところが大きい。 [単位修得に必要な授業外学修時間：27時間]

5. 評価方法

[総括的評価] 記述試験（90%）・授業参加状況（予習・復習の実施状況等）（10%）

[フィードバック] 試験結果のフィードバックは採点后に解答例を開示し、今後の関連科目の学習に必要な注意点などを掲示する。

6. 教科書

なし。講義実施時に応じた練習問題と資料プリントを配布する。

7. 参考書

なし。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	4/14 (金) 4限	川口	ユニット1 歯科臨床での物理 現象 [講義]	1) 物理現象の応用例を 理解する。 2) 物理量を表す単位 を理解する。	(1) 物理量とは何かを説 明できる。 (2) 物理量の単位を説明 できる。	基本単位と組み立て単位を 比較してまとめること (3時間)	認知 (想起)
2	4/21 (金) 4限	川口	ユニット2 力学(1) [講義]	1) 物体の運動を理解す る。 2) 速さと速度の違いを 理解する。	(1) 速さと速度の違いを 説明できる。 (2) 等速直線運動を説明 できる。	物体の等速運動を表す用語 についてまとめること (1.5時間) 加速度について (1.5時間)	認知 (想起)
3	4/28 (金) 4限	川口	ユニット3 力学(2) [講義]	1) 加速度を理解する。 2) 等加速度直線運動を 理解する。	(1) 加速度の意味を説明 できる。 (2) 等加速度直線運動を 説明できる。	加速度運動を表す用語につ いてまとめること (1.5時間) 力のつり合いについて (1.5時間)	認知 (想起)
4	5/12 (金) 4限	川口	ユニット4 力学(3) [講義]	1) 物体に作用する力を 理解する。 2) 人体に作用する力の つり合いを理解する。	(1) 力の単位を説明でき る。 (2) 人体の作用する力の つり合いを説明できる。	力のつり合いについてまと めること (1.5時間) 運動方程式について (1.5時間)	認知 (想起)
5	5/19 (金) 4限	川口	ユニット5 力学(4) [講義]	1) 力学的エネルギーを 理解する。 2) 力学的エネルギー保 存則を理解する。	(1) 力学的エネルギーの 種類を説明できる。 (2) エネルギー保存則の 実例を説明できる。	力学的エネルギーについて まとめること (1.5時間) 圧力について (1.5時間)	認知 (想起)

回	授業日	授業 担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
6	5/26 (金) 4限	川口	ユニット6 圧力 [講義]	1) 圧力の単位を理解する。 2) 気圧と血圧を説明する。	1) 単位の国際表記を説明できる。 2) 空気の力を説明できる。	圧力の表し方について (1.5時間) オームの法則について (1.5時間)	認知 (想起)
7	6/2 (金) 4限	川口	ユニット7 電磁気 (1) [講義]	1) 電気量を理解する。 2) オームの法則を説明する。	(1) 電荷とは何かを説明できる。 (2) オームの法則を説明できる。	オームの法則をまとめること (1.5時間) クーロンの法則について (1.5時間)	認知 (想起)
8	6/9 (金) 4限	川口	ユニット8 電磁気 (2)	1) クーロンの法則を理解する。 2) 電磁誘導の特徴を理解する。	(1) クーロンの法則を説明できる。 (2) 電磁誘導の応用例を説明できる。	クーロンの法則をまとめること (1.5時間) 放射線について (1.5時間)	認知 (想起)
9	6/16 (金) 4限	川口	ユニット9 核物理学 [講義]	1) 放射線の種類を理解する。 2) 半減期を理解する。 3) 被曝の単位を理解する。	(1) 放射線の種類を説明できる。 (2) 半減期とは何かを説明できる。 (3) 放射線被曝の単位を説明できる。	放射線の種類と影響をまとめること (3時間)	認知 (想起)

化学

開講時期： 1 年次前期
 授業時間数： 9 コマ；18 時間 1 単位
 受験資格要件： 2/3 (6 コマ) 以上の出席
 科目番号： DH012306
 評価責任者： 松尾 忠行
 授業担当者： 谷口 卓

1. 一般目標

歯科衛生士になるために学ぶ生化学や生理学などの専門基礎科目の理解に必要な化学的基礎知識を修得する。高校で習った化学からの橋渡しを考慮しながら、化学についての基本的な項目を学ぶとともに論理的な分析や考察ができる能力を身につける。

2. 教育方法

講義を行う。

3. 教育教材

講義ごとにプリントを配布する。

4. 学修方法

高校で化学を履修していない学生は、高校教科書相当の書籍で関連部分を予習しておく。高校で化学を履修した学生は、講義までに授業内容を教科書で確認しておく。講義には必ず出席し、授業中は配布プリントに書き込みを行うこと。講義後は配布されたプリントを見直し、復習しておく。 [単位修得に必要な授業外学修時間：27 時間]

5. 評価方法

[総括的評価] 定期試験 (記述試験) (95%) および、授業参加状況 (予習・復習の実施状況等) (5%)
 [フィードバック] 採点后、試験成績を掲示する。

6. 教科書

特に指定しない。授業中にプリントを配布する。

7. 参考書

特に指定しない。

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SB0s)	予習・復習項目 と必要時間	教育 目標 領域
1	4/14 (金) 4 限	谷口	ユニット1 物質の成り立ち [講義]	1) 物質の化学的な成り立ちについて理解する。 2) 原子の構造について理解する。	(1) 混合物と純物質、単体と化合物を区別することができる。 (2) 原子核や電子について説明できる。 (3) 原子の電子配置について説明できる。	高校教科書の見直し 1.5 時間 講義の配布資料の見直し 1.5 時間	認知 (想起)
2	4/21 (金) 4 限	谷口	ユニット2 元素の周期性 [講義]	1) 周期表の特徴を理解する。 2) 周期表における元素の分類を理解する。	(1) 元素の周期律について説明できる。 (2) 典型元素と遷移元素、金属元素と非金属元素の違いについて説明できる。 (3) 周期表で互いに類似の性質を示す元素について説明できる。	前回の講義の配布資料の見直し 1.5 時間 講義の配布資料の見直し 1.5 時間	認知 (想起)
3	4/28 (金) 4 限	谷口	ユニット3 化学結合 I [講義]	1) イオンとイオン結合について理解する。 2) 金属結合について理解する。	(1) イオンの化学的性質を説明できる。 (2) イオン結合がどのように形成されるかを説明できる。 (3) 金属結合がどのように形成されるかを説明できる。	前回の講義の配布資料の見直し 1.5 時間 講義の配布資料の見直し 1.5 時間	認知 (想起)

回	授業日	授業担当者	ユニット番号 ユニット項目 [授業方法]	学修目標 (GIO)	行動目標 (SBOs)	予習・復習項目 と必要時間	教育目標 領域
4	5/12 (金) 4限	谷口	ユニット4 化学結合II [講義]	1) 共有結合について理解する。 2) 分子間で形成される結合について理解する。	(1) 共有結合がどのように形成されるかを説明できる。 (2) 水素結合やファンデルワールス力がどのように形成されるかを説明できる。 (3) 分子間力の特徴について説明できる。	前回の講義の配布資料の見直し 1.5 時間 講義の配布資料の見直し 1.5 時間	認知 (想起)
5	5/19 (金) 4限	谷口	ユニット5 溶液と濃度 [講義]	1) 溶液の濃度を示す様々な単位について理解する。	(1) 溶液、溶質、溶媒について説明できる。 (2) 溶質と溶媒の量から溶液の濃度を計算できる。 (3) 溶液の濃度を様々な単位を用いて示すことができる。	前回の講義の配布資料の見直し 1.5 時間 講義の配布資料の見直し 1.5 時間	認知 (想起)
6	5/26 (金) 4限	谷口	ユニット6 溶液の性質 [講義]	1) 気体と液体の関係について理解する。 2) 浸透圧やコロイドについて理解する。	(1) 液体に溶解する気体の質量が圧力と温度によって変化することを説明できる。 (2) 溶液の濃度と浸透圧の関係について説明できる。 (3) コロイドの化学的性質について説明できる。	前回の講義の配布資料の見直し 1.5 時間 講義の配布資料の見直し 1.5 時間	認知 (想起)
7	6/2 (金) 4限	谷口	ユニット7 酸と塩基 [講義]	1) 酸と塩基の定義について理解する。 2) pHの意味と計算方法について理解する。 3) 緩衝液の性質について理解する。	(1) 酸・塩基の化学的性質について説明できる。 (2) 水素イオン濃度とpHとの関係について説明できる。 (3) 緩衝作用について説明できる。	前回の講義の配布資料の見直し 1.5 時間 講義の配布資料の見直し 1.5 時間	認知 (想起)
8	6/9 (金) 4限	谷口	ユニット8 有機化合物 I [講義]	1) 有機化合物の構造について理解する。 2) 有機化合物の性質について理解する。	(1) 構造式から有機化合物の命名ができる。 (2) 代表的な有機化合物の名称と化学的性質について説明できる。 (3) 高分子化合物の合成反応について説明できる。	前回の講義の配布資料の見直し 1.5 時間 講義の配布資料の見直し 1.5 時間	認知 (想起)
9	6/16 (金) 4限	谷口	ユニット9 有機化合物 II [講義]	1) 生体高分子の構造について理解する。 2) 生体高分子の性質について理解する。	(1) アミノ酸・タンパク質の構造や化学的性質について説明できる。 (2) 脂質の構造や化学的性質について説明できる。 (3) 糖質の構造や化学的性質について説明できる。	前回の講義の配布資料の見直し 1.5 時間 講義の配布資料の見直し 1.5 時間	認知 (想起)

福 岡 医 療 短 期 大 学

〒814-0193 福岡市早良区田村二丁目15番1号

電 話 092 (801) 0439

F A X 092 (801) 4473